

# 選定委員会の会議の議事録

# 第1回 選定委員会の会議の議事録

委員委嘱及び任命、諮問の受諾、事務局説明、委員長選出  
選定委員長職務代理者の指名、調査員の推薦、調査員調査内容の検討

## 会議録

### 1 日時

令和5年5月8日（月）

会議開始時刻 17:00 会議終了時刻 18:20

### 2 会場

教育文化センター 4階 大会議室

### 3 出席者

#### ○選定委員会

選定委員長 横町 真紀

選定委員（学識経験者） 市川 圭造 岩西 啓子 梅本 優子 岡部 美代恵

尾上 利美 貴志 雅代 北山 圭子 坂本 雅城

三宅 秀夫 宮本 信吾 湯川 泰成

選定委員（学校代表） 前田 いさ

選定委員（保護者代表） 津名 洋平 中井 亜希

#### ○教育委員会

教育長 阿形 博司

#### ○教科用図書採択事務局

事務局長 利根 功一（教育局長）

事務局次長 前北 博文（学校教育部長）

事務担当課長 岩本 信哉（学校支援課長）

西谷 宣昭（学校教育課長）

竹内 圭（教育研究所長）

事務局員 北林 直樹（教育研究所専門教育監補）

岩崎 朝蔵（教育研究所専門教育員）

### 4 令和5年度和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員の委嘱及び任命

○委嘱及び任命状授与

○あいさつ（阿形教育長）

### 5 諮問

和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会様

「令和6年度に和歌山市立小学校及び義務教育学校前期課程で使用する教科用図書の選定について（諮問）」

令和6年度に和歌山市立小学校及び義務教育学校前期課程で使用する教科用図書の選定について、理

由を添えて次のとおり諮問します。

#### 1 諮問理由

教科書は、学校における子供の学習用として供されるものであり、市が育てたいと願う子供の像を実現するために重要な役割を果たすものです。

そのため、教育委員会は、教科書の採択権者として市の子供の実態に鑑み、教育基本法及び学習指導要領に示された内容を踏まえ、確かな学力を身に付け、豊かな人間性を育成するための教科書を責任を持って採択せねばなりません。

このことを踏まえ、選定委員会では、教科等の指導についての高い専門的見地から、又学校教育に対する保護者の立場から、育てたい子供像を共通理解しながら、すべての教科書について調査研究のうえ、内容についてご審議いただきたいと考えます。

具体的には、次の総合的な観点から、又教科ごとの指導内容に即した観点についてご審議のうえ、答申をいただきますようお願いいたします。

(1) 和歌山市教育委員会「学校教育指針」に示す「めざす子供像」の実現

(2) 教育基本法及び学習指導要領に示されている教育の目的・目標等の実現

①教育基本法で明確にされた教育の理念を踏まえた「生きる力」の育成

ア 知・徳・体の調和がとれ、生涯にわたって自己実現をめざす自立した人間の育成

イ 公共の精神を尊び、国家・社会の形成に主体的に参画する国民の育成

ウ 我が国の伝統と文化を基盤として国際社会を生きる日本人の育成

②知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力等のバランス

③豊かな心・健やかな体の育成

(3) 教科の指導内容に即した教科書会社ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な審議

また、ご審議の際、補助とする資料の作成にあたる調査員の指名及び調査内容の指示についても、お願いいたします。

以上が中心にご審議をお願いしたい事項であります。学校代表、保護者代表、学識経験者という様々なお立場・観点から選定委員の皆様で、本市の子供たちの学習に供する教科書について、活発なご審議をお願いいたします。

令和5年5月8日

和歌山市教育委員会

教育長 阿形 博司

#### 6 議事

○事務局説明

○選定委員長選出

○選定委員長職務代理の指名

#### 横町選定委員長

それでは、開催要項に従って議事を進めていきます。まず、調査員の推薦を行います。教科用図書採択に関する条例第11条の規定により、選定委員会に教科用図書に係る専門の事項の調査研究を行わ



せるため、調査員を置くことができるとあります。また、調査員は、学校教育及び教科指導に関する専門の知識を有する校長、教頭、教諭等のうちから、選定委員会の推薦に基づき、教育委員会が任命するとあります。別紙資料1に案がありますので、ご覧いただき、ご検討ください。

#### 横町選定委員長

ご覧いただけましたか。それでは、案のとおり議決してもよろしいでしょうか。それでは案のとおり推薦することと議決します。続いての議事、調査内容の検討を行います。ただいま議決した調査員に対して依頼する調査資料の作成における調査項目、内容について検討していただきます。別紙資料2に案がありますので、ご覧いただきご検討ください。それでは一度目をお通しください。

#### 横町選定委員長

見ていただけましたでしょうか。それでは、別紙資料2の内容につきまして、ご意見等ございませんでしょうか。ご質問等ありましたら、どうぞよろしくお願いします。

#### 市川選定委員

調査の観点のその他の部分について質問します。たくさんの方の観点の中にSDGsがあります。SDGsはどのような学習にもかかわってくるような内容です。特に社会科などは頻繁に登場します。その他の中でのどの観点も含み、網羅するような観点になってしまうような気がします。SDGsの中で、特にここを重視していますとか、そういう考えで資料を作成してもらおうということなのでしょうか。

#### 竹内教育研究所長

SDGsのことは現行の教科書でもかなり書かれています。小学校の場合だと特に環境的な意味合いのことが多くなると思うんですけど、そのあたり、環境学習的なことや地域学習とか、そういうところを中心に捉えていただけたらなという考えでお願いしているところです。

#### 横町選定委員長

よろしいですか。

#### 市川選定委員

はい。

#### 横町選定委員長

他にご質問等、ございませんでしょうか。

#### 市川選定委員

観点の内容が箇条書きになっていますが、これらは必須ということで、調査資料の中で必ず表記されなければいけないということですか。

#### 竹内教育研究所長

そうですね。基本的にこの観点については、満たしてほしいということです。

#### 市川選定委員

そうですね。そしたら、自分が教科書を見るときに、パッと難しいなって思ったのは、他教科との関連なんです。例えば、社会科を例にすると、学習を進める際に、他教科との関連ということをそれほど重視しません。発達段階に応じるということで生活科の学習との関連は考えますが、それ以外となりますと、例えばどのような具体的な例がありますか。

#### 竹内教育研究所長

具体的に、先ほど生活科の話がされたんですけど、生活科の中でもいろいろ、最初の自己紹介で、あいさつカードを作ったりするときだったら、国語的な意味合いで、文字に書くとか、文章の成り立ちとか、そういうところにも関わってくるし、それと、音楽であっても、いろいろ楽器の演奏だけじゃなくて、発表会をするときの招待状、そういうのも国語科との関連であったりとか。また、図工でカードを書くときにも、それプラス算数の図形的なことと絡めてとか、いろいろ教科の特性があると思うんですけど、幅広い意味で他教科との関連と捉えてもらえたらなと考えています。

#### 市川選定委員

ピンポイントで考えずに、大きな意味でつながりを意識するということなのですね。

#### 竹内教育研究所長

そうですね、大きな捉えで考えていただけたら。

#### 市川選定委員

分かりました。

#### 尾上選定委員

すみません、一つだけ。今の内容の取り扱いのところの、一番下の和歌山市の目指す子供像に適切した内容になっているのか、というところについてなんですけども、この資料の36ページに、目指す子供像って、将来の和歌山市を創造できる人を育てるっていう、大きな目標が掲げられていて、その下に、豊かな心とか、確かな学力とか、健やかな体、よりよい社会の形成者になるための力を育むっていうふうに、細かな、それを構成する要素が書かれてるんですが、そのすべての要素を満たしているのかどうかということについて判断して資料を作成するのか。それとも、総じて、創造できる人を育てるような内容になってますという形にするのか、個別にどこまで、資料として作成する必要があるのかということをお聞かせいただければと思います。

#### 竹内教育研究所長

学習指導要領、さらにそこから市の振興計画、和歌山市の学校教育指針という形で、すべて学習指導

要領を基にして、和歌山市の方針というものを立てています。だから、目指す子供像がかなり網羅された形になっているので、全体を包む形で捉えて、必須項目として捉えていただければと思います。

#### 横町選定委員長

よろしいですか。

#### 尾上選定委員

はい、ありがとうございます。

#### 宮本選定委員

すみません、補充、発展のところに書かれてある、デジタル教材を活用しやすくなっているか、というところなんですけれども、この表現だったら、デジタル教材を推し進めるようにと捉えられるのだけど、学習指導要領の図工科の中には、デジタル教材は教科の特性として、慎重に考えるべきだ、というようなことが、項として挙げられています。もちろん、入れていたらいいんだけども、やみくもに入れたら、図工科の場合は諸感覚を使って、体を使って表現していくという教科のねらいと反してしまうことになるので、その辺の表現を変えていただけたほうが、誤解されないのかなと思います。

#### 竹内教育研究所長

この項目は、今回初めて追加された項目で、二次元コードというのがほぼすべての教科の教科書についています。そこで二次元コードを使って読み取ったときに出てくるもの、教材というのが、かなり差があるものもあるので、その内容について、その単元で使いたいものであるのかどうかというので、今回追加させてもらったんですけど、文章のところは委員にご指摘いただいたとおり、もう少し検討していきたいなと思っております。

#### 横町選定委員長

よろしいですか。他に、それぞれの教科等で気になる箇所とかございますでしょうか。

#### 中井選定委員

すみません。ユニバーサルデザインって何なんでしょうか。検索したらたぶん出てくると思うんですが、ユニバーサルデザインに関する配慮があるかというのが、ちょっと分からないんです。

#### 竹内教育研究所長

はい。今、発達にいろいろな課題があるとされるお子さんがたくさんいらっしゃるので、文字の大きさや色であったり、写真の配列であったり、そういうのが、誰にとっても見やすいよう工夫がなされているというのが、ユニバーサルデザインに配慮するという扱いになっています。本日配らせてもらった資料の41ページのところをご覧いただいたら、取り組みの例として出させていただいた、ルビやフォントとか色の配列とか、そういうのが主な配慮という形になっています。

#### 中井選定委員

はい。ありがとうございます。

#### 岡部選定委員

すみません。今、竹内所長が言ってくださったところの上を読んだら、さっきのデジタル教科書については、学習者用デジタル教科書の考慮について、教科書採択は紙の教科書を決定する行為であり、調査検討の対象は紙の教科書であることが基本であることって書いてるんですけど、これはじゃあ、このデジタル教材を活用しやすくなっているかという観点とちょっと矛盾はしてこないんですか。ここの、外国語の考慮の一事項とすることができることって、外国語については書かれてるんですけど。

#### 竹内教育研究所長

今回ここに入れさせてもらったデジタル教材と、デジタル教科書があるんですけど、先ほど言わせてもらったような、二次元コードから読み取るような補足的な形で付けられているデジタル教材ということで、評価項目として入れさせていただいています。

#### 尾上選定委員

今のに関連して、41ページのところに小学校の外国語のデジタル教科書に関して載ってるんですが、紙の教科書に加えて、デジタル教科書の両方について調査するという事なんですか。

#### 竹内教育研究所長

そうです。おっしゃっていただいたように、外国語だけデジタル教科書というものがあるんですけども、まだこちらにも届いてなくて。基本は紙のほうで選定していただくという形で。業者からいつ届くか問い合わせはしてるんですけど、はっきりとまだ。間に合うかどうかにもよってくると思うので、基本は紙ということをお願いしたいと思います。

#### 尾上選定委員

基本は紙で。はい。分かりました。

#### 横町選定委員長

どうでしょうか。他、もうございませんでしょうか。それでは、ご協議いただいた内容、ちょっと保留のところも少しご検討いただくところもあったかと思うんですけども、提案の内容どおりとさせていただきたいと思います。こちらの調査内容につきましては、教育委員会で決定したあと、調査員に指示することといたします。

それでは次に、本日最後の議事、答申資料様式の検討を行います。別紙資料3をご覧ください。答申及び答申資料作成の形式です。このことについて、事務局から説明があります。

#### 岩崎専門教育員

それでは別紙資料3をご覧ください。12名の、教育に関する学識経験を有する者である委員の皆様

には、諮問内容に沿った答申及び答申資料の作成をお願いしたいと考えております。この答申資料には、教育基本法の理念、学習指導要領の趣旨、和歌山市学校教育指針に示す目指す子供像の観点からという項目と、教科の指導内容に即した発行者ごとの特色と工夫についての専門的・具体的な観点から、という項目から記述することとなっています。

#### 横町選定委員長

それでは、今、事務局からご説明がありましたが、答申及び答申資料の形式について、少し見ていただきまして、ご意見等ございましたらお願いいたします。

#### 横町選定委員長

いかがでしょうか。答申及び答申資料の形式について、ご意見等ございませんでしょうか。

#### 尾上選定委員

資料2には、A4、1枚、10.5ポイント、明朝体と記載があるんですが、資料3については、文字の大きさとかフォントとかというのがもし事前に決まっていれば、教えていただければと思います。

#### 竹内教育研究所長

基本、資料2と同じようなフォントサイズを考えています。

#### 尾上選定委員

はい、分かりました。

#### 横町選定委員長

他、いかがでしょうか。ご意見ご質問、ございませんか。

#### 中井選定委員

すみません。この資料は簡条書きで書くんですか。それとも論文のように長文で書くんですか。論点をまとめて簡条書きに書いていくのか。観点からという2点を取り上げてますが、それを文章的な感じで意見を述べるのか。この書き方は、提出するときどのようにすれば。

#### 竹内教育研究所長

ありがとうございます。基本的に、今おっしゃっていただいた下の大きな枠のところは簡条書きのような形で書いていただくのを想定しております。

#### 横町選定委員長

特色とか工夫が一目で分かりやすいようにということですね。簡条書きで。

#### 市川選定委員

基本、資料2のほうは必須と書いていて、これは調査員が必ず調べる内容で、選定委員はそれを参考にして、教科書の特徴をここにまとめるということですよ。

竹内教育研究所長

そうです。

市川選定委員

例えば、先ほど話題になったデジタル教材などは、図工の選定委員が答申資料の中でその教科書の特徴として記述しないことに問題はないということですね。デジタル教材のことだけでないのです。先ほど僕が言ったように、他教科との関連というような内容について、社会科の答申資料を作成するときに、特徴として特に重視しなくてもいいのです。調査員は調査書の中で必ず挙げなければいけないが、選定委員は他のことを特徴として挙げて答申資料を作成してもいいのです。

竹内教育研究所長

はい。調査員には全てそれで書いていただいて、選定委員でまとめていただく際に、際立った特徴を挙げていただきます。

市川選定委員

網羅するというわけではないですよ。それはそれでいいという。分かりました。

宮本選定委員

誤解されないように。デジタル教材で言ったけれども、図工はデジタルがいらなくて言うてんじゃないで、その扱い方がどうなっているかということを表してくれたら、そのほうがいいのかな。ただ、推奨しているんじゃないで、どんなふうに使っているかということが、ここでの論点になるような書き方で書いてくれたらいいなと思います。

横町選定委員長

調査員から挙がってくる、そのときには必須項目については、みんな網羅して挙がってくるかもしれないんですけども、我々選定委員でこれをまとめる際には、必須項目全てじゃなくて、市川委員が言われたみたいに、特色が分かるような形でまとめていくということですよ。

竹内教育研究所長

はい。

梅本選定委員

今のことに関連して。前回のときからデジタル教材が入ってきて、そのときはこの項目がなかったんだけど、この5年間の中で、それを活用する先生たちも多いのかなとかいうことだと思うんですけども。実際、その他のほうが、言い方悪いけど分からないけど、重要なポイントがすごく多いから、例えば、

まとめの段階のところではデジタル教材において、習熟について活用しているであるとか、家庭学習のときにできそうとか、そういう感じで書いたほうが、デジタル教材の中身というのは、そうたいして紙の教科書よりもずば抜けて優れた点で書いているということは、まあないと思うので、こういう段階で活用するときには活用的ですよ、みたいな、そんな記述ぐらいかなと私も思っているんですけども。

#### 横町選定委員長

他、いかがでしょうか。まとめるときに気になるような場所とかございませんでしょうか。よろしいですか。それでは、別紙資料3の形式で、答申及び答申資料を作成していくということを議決します。本日、予定された議事は以上です。これで終了といたします。

## 第2回 選定委員会の会議の議事録

音楽、国語、保健、道徳 調査審議



## 会議録

### 1 日時

令和5年6月9日（金）

会議開始時刻 17:30 会議終了時刻 20:00

### 2 会場

教育文化センター 4階 大会議室

### 3 出席者

#### ○選定委員会

選定委員長	横町 真紀			
選定委員（学識経験者）	市川 圭造	岩西 啓子	梅本 優子	岡部 美代恵
	尾上 利美	貴志 雅代	北山 圭子	坂本 雅城
	三宅 秀夫	宮本 信吾	湯川 泰成	
選定委員（学校代表）	岩本 浩志			
選定委員（保護者代表）	津名 洋平	中井 亜希		

#### ○教科用図書採択事務局

事務局長	利根 功一	（教育局長）
事務局次長	前北 博文	（学校教育部長）
事務担当課長	岩本 信哉	（学校支援課長）
	西谷 宣昭	（学校教育課長）
	竹内 圭	（教育研究所長）
事務局員	北林 直樹	（教育研究所専門教育監補）
	岩崎 朝蔵	（教育研究所専門教育員）

### 4 議事

#### 横町選定委員長

それでは始めます。お忙しいところ、お集まりいただきまして、ありがとうございます。本日は15名の委員の方々に出席をいただいております。過半数の出席がございますので、和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書の採択に関する条例第10条第3項の規定により第2回和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会を開催します。本日は、音楽、国語、保健、道徳の順に四つの教科・種目について調査審議をしていただく予定となっております。その前にこの会の進め方と答申及び答申資料のまとめ方について協議いたします。和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書の採択に関する条例第10条第5項の規定により、各教科・種目の調査審議に先立ち、各教科・種目調査員に調査資料の提供とその説明を求めたいと考えます。各教科・種目調査員の会議への出席をご承認いただけますか。

選定委員一同

はい。

横町選定委員長

それでは、ご承認いただいたということで、各教科・種目調査員代表に調査結果の報告を求め、質疑応答を行うこととします。調査員退室の後、選定委員の皆様で、教科書の内容について調査審議をお願いします。続いて答申及び答申資料のまとめ方についてですが、本日、教科・種目ごとに調査審議いただいた内容を選定委員会答申資料としてまとめ、第5回選定委員会においてそのまとめを確認・決議し、それをもって答申としたいと考えております。事務局から選定委員会答申資料作成について補足説明はありますか。

岩崎専門教育員

本日を含めた3回の選定委員会の後、各教科種目の学識経験者である12名の選定委員の方には、ご自身で調査していただいた内容及び調査員の報告、さらにこの後の選定委員会での調査審議結果についておまとめいただき、答申を添えて、本日お配りした資料1にてご提出いただきます。

横町選定委員長

以上、答申および答申資料のまとめ方については、よろしいでしょうか。

選定委員一同

はい。

横町選定委員長

ご承認いただきましたので、各教科種目の調査審議に移ります。当選定委員会では、先日、阿形教育長から受諾した諮問を受け、全ての教科書について調査研究のうえ、内容について審議することとなっています。ついては、当選定委員会の責務は、採択権者である教育委員会に対し、各教科の指導内容に即した教科書会社ごとの特色と工夫についての専門的、具体的な審議結果を答申として取りまとめ報告することです。また、今回調査研究する全ての教科書は文部科学大臣の検定を経たものであるということから、法令、学習指導要領の内容、趣旨に合致したものとなっています。したがって、当選定委員会においては、どの教科書が適切であるかということを協議することを目的としていないと認識しています。以上の点についてご理解ご協力をお願いします。

—音楽—

---

横町選定委員長

それでは本日の開催要項どおり、まず、音楽の調査員に入室していただき、調査内容の報告をしていただきます。

高岡調査員

音楽調査員の吹上小学校、高岡佐知です。教育出版、教育芸術社の教科書について、調査結果をご報告いたします。音楽は、教育出版と教育芸術社の2社となります。

では初めに、教育出版からご報告いたします。こちらは6年生の教材です。全学年共通して、題材名が左ページに縦書きされ、左上に学習のめあてが表示されています。右ページ写真下の青い方位磁石の絵は「まなびナビ」と呼び、この題材をどのように学習するか筋道が示されています。学習指導要領で共通事項となっている音楽を形作っている要素、音楽の元は各ページ共通して右ページ上に配置されています。また各学年の巻末には「音楽ランド」という地域や学校ごとのカリキュラムに柔軟に対応できるように、選択可能な教材が多く掲載されていて、その分量は6年生では実質88ページのうち、18ページを占めています。その他に「ショートタイムラーニング」というタイトルで、2年生では算数の九九と外国語に関連した歌が掲載されています。さらに各学年の文部省唱歌などの共通教材では、折り込み3ページの写真を掲載しているのが教育出版の特徴です。最後に今回の教科書では、2社とも二次元コードがたくさん配置されています。教育出版では楽譜を大切にするという特徴が、鑑賞曲の動画に表れています。動画を再生いたします。これは3年生の鑑賞曲「アルルの女」からのものですが、旋律の楽譜が音楽とともに色付けられていき、旋律の動きがよく分かるように配置されています。その他、教育出版は動画が多く用いられています。ただ、調査の過程では、動画の再生は通信環境に影響を受けることが分かりました。教育出版については以上です。

次に教育芸術社の特徴を説明いたします。まず教育出版と同様、学習目標を各題材の左端に縦書きし、めあてを左ページ上に示しています。さらに教育芸術社では、題材の下に「〇〇することができるかな」と、児童に呼び掛けるような書き方にして、学習の見通しを持たせるとともに、主体的に取り組めるよう配慮されています。指導事項の系統性を重視し、スモールステップを大切に、各ページで活動文を「見つける」「考える」「表現する」という、児童の思考の流れに沿うようにしているのも特徴です。そして題材の最後には、学習のまとめを配置し、目標の達成を児童自身が振り返ることができるようになっています。共通事項は各ページ右下にまとめられています。その他、社会科と関連させ、日本の古典芸能の歴史を年表で示したり、現代的課題となっている著作権について説明したりしています。著作権のページにある二次元コードからは、JASRACの児童向け学習サイトにアクセスできます。また教育芸術社では外国籍の児童など、さまざまな人の人権に配慮し、登場するキャラクターの肌、瞳、髪の色も多様にしてしています。教育芸術社では、ほぼ全てのページ右上に二次元コードが配置されていて、ほぼ全ての曲の旋律を聞くことができるのも特徴です。操作ができる部分をお見せしたいと思います。このように、児童は一人一台端末を自分で操作して、音楽づくりの創作活動ができるようになっているのが大きな特徴です。また、これはプログラミング教育とも関連しています。説明は以上です。

#### 横町選定委員長

ありがとうございました。委員の方々から、ご質問はありませんか。

#### 北山選定委員

しっかり調べていただいた報告をありがとうございます。教育芸術社の教科書は、従来から題材を構成することに特徴があると思うんですが、その辺について、もう少し調査された点、お話しいただければありがたいです。

#### 高岡調査員

教育芸術社は従来どおり、題材をまとめて構成しています。歌唱、器楽、鑑賞曲を1セットにして題材構成をしております。教育出版の場合には、それはちょっと重点的に配置している部分もございます。それが、ちょっと違いかなと思います。

#### 北山選定委員

ありがとうございます。

#### 市川選定委員

先ほどの教育芸術社の、楽器をパンパンパンとしていた、あれ。実際、子供がどんな活動するかもうちよつと説明していただけたら。

#### 高岡調査員

創作をするときに、子供たちは楽器を選びます。リズムを選びます。そして、本来でしたら、自分で楽器を奏でて、完成した曲を鳴らすんですけども、それを一人一台端末上で1人で確かめながら、創作することができます。書くことよりも、こう指を置くことでリズムを確かめることができるので、手軽に正確な音楽を聴くことができると言えると思います。楽器を変えたら、同じリズムでも、音色が変わるということができます。学年が上がると、それを組み合わせてもう少し長い旋律を作ることもできるようになっています。

#### 市川選定委員

こういうのは、前の教科書にはあったんですか。

#### 高岡調査員

いえ。現在の教科書も同じような内容はあるんですけども、このように子供たちが操作できるようにはなっていません。

#### 市川選定委員

教育出版に似たようなものは。

#### 高岡調査員

ありません。

#### 市川選定委員

ないですか。分かりました。

#### 北山選定委員

教育出版の音楽づくりで、特に二次元コードから読み取ってできる特徴的なものっていうのはないわけですか。

#### 高岡調査員

音楽づくりに関しては、教育出版と教育芸術社では、扱っている分野が違います。教育出版の場合には、即興で作るといような、やや難度の高いものが創作に入っていました。

#### 尾上選定委員

教育出版は外国語科と算数の九九の歌とビンゴの歌があったかと思うんですが、教育芸術社は何かそういう他の教科と関連付けたような歌だとか、そういったものはあるんでしょうか。

#### 高岡調査員

外国語の歌というよりも、外国の歌は入っていましたけども、九九の歌とかは入っていませんでした。

#### 尾上選定委員

例えばどんな歌が入ってますか。

#### 高岡調査員

外国語の歌は、4年生に。

#### 尾上選定委員

「Sing a rainbow」ですね。だいたいどの学年も、一つか二つぐらいずつ何かが入ってるということですか。

#### 高岡調査員

そうですね。

#### 中井選定委員

教育出版ですが、先ほど音楽一つのメロディーで、6年生だったら18ページはありました。二次元コードを読み取ったらそれが一つ載っていて、音楽の、何か考えることを重視しているのかな。教育芸術社はそういうのがなかったんですか。

#### 高岡調査員

はい。

#### 中井選定委員

教育芸術社の説明は、社会と音楽やピンポイントに楽器の説明であったりとか、歴史の説明に特化して、音楽の歴史のお勉強っていうか、音楽を奏でる勉強の教材になってるかと思いましたが、そう

いうのではないのでしょうか。

#### 高岡調査員

デジタルコンテンツの扱いについては、教育出版はどちらかというと教師が教える補助教材的な素材の音楽、楽器の音色を示したりっていうところが多かったです。教育芸術社は、子供自らがこの曲を学ぶためのデジタルコンテンツになるので、シンプルに旋律を聞くことができるようなものになっています。そこが大きな違いかなと思います。

#### 横町選定委員長

ほかにご質問はございませんか。ご質問がないようでしたら、調査員には退室していただきます。ありがとうございました。

#### 横町選定委員長

それでは調査審議に移ります。皆さんには、教科書についての調査研究をお願いしていたところです。ただいまの調査員の報告や、各自お調べいただいたことから、各社の特徴について、ご意見をいただきます。

#### 市川選定委員

今の説明を聞いて、北山委員にちょっとお伺いしたいんですけど、説明を聞く中で、自分の印象ですが、大きく言うと、教育出版は、楽譜っていう言葉、おっしゃってましたよね。音楽的な価値みたいなのを重視している。教育芸術社は、子供が活動する、音楽的な活動をする中で、子供主体の学習を目指していると。大まかに言うとそう聞こえたんですが、いかがでしょうか。

#### 北山選定委員

そうだと思います。やっぱり特徴的なところは、教育出版は同じように題材で構成してるんですが、題材というのは、何曲かをまとめて一つの学習のテーマに沿って学習を進めていくという考え方なんですけれども、それもどちらも組んでるんですけども、教育芸術社の場合は、そこに先ほど説明があったように、音楽のもととかその共通事項、学んでいかなければいけないような要素を核にして題材を組んでいます。その一つの題材の塊の中に、聴く教材とか歌う教材とかつくる教材とかをはめ込んで一つの題材にしてというのが、教育芸術社の大きく捉えた題材構成というふうに言えるかなと私はみました。教育出版も、この教科書で初めて、この学習のマップを入れられて、題材の構成をされてるんですけども、それが即、その学びのもとになるところに題材を構成してるかというところではなくて、先生が先ほどおっしゃられたように、曲であるとかそういうところで組んでいるような感じは受けます。それともう一つ、共通教材といって、必ず教えましょうという曲が1年生から6年生まで何曲かあるんですけども、それも教育出版は、その題材構成の外にあるわけです。題材と題材の間に季節の歌として入れ込んでいます。教育芸術社は、それも学習の題材の中に入れて、例えばリズムとかハーモニーとかという、音楽を形づくっている要素で学ぶところに共通教材も入れて、一つの組み立てをしてるところが、大きく特徴的かなと私は思いました。だから、先ほど、スモールステップであるとおっしゃ

やられてましたけど、そういうことも踏まえて、段階を追ってちょっとずつ学んでいくというところがあるのかなと捉えました。ですから、先ほどお勉強と捉えられていたのは、そういう部分があるのかなというようには思います。でもどちらの教科書も、後半に、歌集のように。教育出版の場合は音楽ランドといって、何曲も楽しい曲が入ってるんですが、教育芸術社も終わりのあたりに楽しい曲が入っています。選択可能であるということは、どちらも言えるかなと思いました。

#### 岩本選定委員

歌唱とか、器楽とかは、曲は違っても、だいたい活動としては似てるんですけど、音楽づくりの点で、コンセプトが両社全然違うように僕は思っています。先ほどもちょっと言っていましたが、教育出版は即興的な活動を重視していて、教育芸術社は先ほどあったように、きちっとしたものを組み合わせていて、題材の学ぶべきところとつながっていきやすいような音楽づくりの活動だなというふうには思いました。それは大きくコンセプトが違うかなっていう感じです。

#### 横町選定委員長

ありがとうございます。他にご意見はございませんでしょうか。

#### 中井選定委員

小学校の音楽の勉強で、授業では子供たちに何を教えるんでしょう。っていうのが、私たちはペンと鉛筆なんて音楽室に持っていったかなっていうぐらいで、楽譜と音楽教室、先生がいて、一緒に音を奏でて、音を耳で聴いてっていうふうな体験型でした。今だったら、ノートと鉛筆を持って行って、まず学ぶ姿勢があって、そこに音楽が付いてくるというふうな形なので、音大で習うような音楽の専門みたいな分野も入ってきますし。

#### 岩本選定委員

ものすごい難しい。

#### 北山選定委員

非常に、音楽教育の根幹に関わることになるかなと思うんですけど、音楽科の中には表現って言う領域と、鑑賞っていう領域があるんです。鑑賞というのは音楽を聴いて、自分が感じたりとか、気付いたりしたことを、もしペンを使うとすれば、そういうことを書いたりとか、曲が上がったり下がったりしてるねとか、繰り返してるねとかいうことを、ひょっとしたら書いたりすることもあるかもしれませんが、心情的な部分とか、知覚、知るとかいう部分で、鑑賞というのを行ってると思います。表現は歌うこと、楽器を演奏すること、そして音楽をつくること、この三つの分野に分かれてるんです。聴いたことを生かして、あの曲だな、大きくなってきたらかっこよかったよね、とかスケールが大きくなったよね、じゃあ僕たちも演奏するときは、ここはこうやって、やっぺいこうとかいうように、鑑賞と表現を一体的に、知ったことや、感じたことを表現でも表していこうというような作りになっています。その場面で、書いたりとか、楽譜に写したりとかということが必要な場合は、もちろんそういうことの学習活動もとりおこなうことは多々あるかなとは思いますが、やっぱり音楽を感じる心であるとか、歌詞か

ら受けるイメージを膨らますことであるとかという感性を豊かに育てていきたいということが、それぞれの指導者の思いとしては、あるのではないかなと思います。そういう考えでいくと、鑑賞と表現が行ったり来たりすることで、音楽的な豊かな力を付けていくというふうな捉え方をして、教科書も作られているんじゃないかなというふうには思います。

#### 中井選定委員

難しいな。音楽もね、変化してきてますし。

#### 岩本選定委員

音楽を愛好する、心情を育てるっていうのが今のそれぞれの一番元になっているところです。今、北山委員がおっしゃってくれたように、その曲を聴いて、例えば曲を聴いたり、歌ったりしたときに、感じる感情って、人それぞれなんで、正解はないんですけども、例えば何かの楽器の音がしたねっていうのは、それ以外ないというか、疑いようのない事実なので、そういう普遍的なものを聴き取りながら、音楽ってこうやってできてるんやとか、同じ節が繰り返されてきたとか、じゃあ同じの僕が作る時も、同じの2回やってみようとか、3回目変わったとか、そんなことを聞いたりやったりしていく中でも、もちろん書くこと、自分で書いたりメモしたりっていうぐらいの程度は必要だと思います。そんな活動を繰り返していくことで、より音楽を聴く力が深まっていく、味わっていけるというふうになるといいなというのが、そういうことを考えて、音楽活動は進んでいくのかなと思います。よろしいですか。あんまり答えになってない気はしますが。

#### 横町選定委員長

他にございませんか。ないようですので、ただいま、ご審議いただいた内容を調査審議結果としてまとめることと決議いたします。

---

#### —国語—

#### 横町選定委員長

それでは続きまして、国語についての調査審議を行います。まず、調査員から、調査結果の報告をお願いします。それではよろしくをお願いします。

#### 小杉調査員

国語科調査員の砂山小学校の小杉と申します。東京書籍、教育出版、光村図書の教科書について、調査結果をご報告いたします。まず東京書籍についてです。全ての単元の始まりに、「言葉の力」という項目があり、学習のポイントを分かりやすく明示しています。巻末には、全教材分の「言葉の力」を一覧表にしたものがあり、2年生以上は全学年と比較できるように全学年の「言葉の力」を掲載しています。学習活動についての具体的で丁寧な説明が多く、見通す、取り組む、振り返りという学習の流れが確立されています。これらはスモールステップ式に着実に学力を付けていくという面や、若い先生方や経験の浅い先生方には利点となりますが、教え方が画一化され、活用する力を養うという面では課題もあると思います。2年生から6年生ではさまざまな分野で活躍している人が書いた「未来を生きる君へ」と



いう教材があります。将来の自分の姿や次の学年へのつながりを意識した、すてきな教材だと思います。単元の導入の動画や、話すこと・聞くことのモデル、特殊音節の動画や漢字の練習問題等、二次元コード等のデジタルコンテンツが多彩で充実しています。児童にとっては、文字の書き方、姿勢など、見るだけで理解できる内容が多く、そのことは個に応じた学習活動に適していますし、家庭学習、オンライン学習にも対応できます。さらには、教師の負担軽減にもつながるものと考えられます。物語や説明文、話す・聞くなどの単元における図表や写真の分量、配置は適切ですが、特に3年生以降の物語教材で、挿絵が小さくインパクトに欠けるように感じられました。また、内容面では、物語教材は道徳的なものが多く、説明文教材は学習の視点が複雑なものが多いように感じられました。以上です。

続きまして、教育出版の教科書です。各学年の冒頭に学びのとびらのページがあり、学習のめあてが確認できる一文が掲載されています。単元の最後には学習のてびきが掲載されていて、学習のめあてと振り返りを照応させ、学習の大きな流れがつかめ、学習を進める上でのガイドとなっています。教科書の冒頭に「ひろがる言葉」があり、各学年で学ぶことが3領域ごとにまとめられて掲載されています。3年生以降では、SDGsとの関連も示されています。その他にも、現代社会の問題を自らの課題と考えることのできる児童の育成のために、ESD、持続可能な開発のための教育やSDGsに関連した学習活動に取り組める工夫がなされています。指導事項や各領域の分量に偏りなく、読む・書く・話す・聞くが構成、配列されています。話すこと・聞くことの教材には、身の回りにある課題を取り上げており、児童にとって取り組む必要性を感じやすいと思われます。それゆえ、そこでの言語活動は日常の様々な場面に生かすことができ、児童にとって大変有意義な活動になるものと考えられます。ただ、特に物語教材では、児童の発達段階に応じた心に響く教材という面でややインパクトに欠ける印象があります。各単元における挿絵や写真、図表の分量、配置は適切ですが、印象としてやや小さく感じられます。5・6年生の教科書については、1冊あたりの重量が軽い、上下2冊分の教科書にしていますが、その必要性については議論の余地があるものと思われます。デジタルコンテンツ「まなびリンク」では、二次元コードを用いて、作者、筆者の情報や記念館、出身地のホームページ、NHK for Schoolの動画資料など、学習時に参照できる資料などをウェブサイトで見られるようになっていきます。以上が教育出版です。

最後に光村図書です。教科書全体を通して、単元、コラム、特設単元で構成し、知識及び技能、思考力・判断力・表現力などを組み合わせて、言葉の力を身につけるように工夫されています。また各単元、教材の狙いを明確に設定しており、系統的に学習できるように工夫されています。各単元に「問いをもとう」と目標が設定されていて、これまでの学習や学習の流れも例示されているので、児童にとっては学習の見通しができ、自ら学ぼうとする姿勢を育む工夫がなされています。教材については、各学年の発達段階に応じた学習意欲を喚起させる身近な題材が多いと思います。内容面でも、物語教材、説明文教材ともにシンプルなものも多く、特に低学年の児童にとって教材に入り込みやすくなっています。例えば1年生の乗り物の単元や動物の単元、2年生のタンポポの単元等です。それゆえ、学習展開の自由度が高く、経験を積んだ教員には経験を生かした多様な学習展開が可能であると考えられます。ただ、児童に付けたい力を着実に身に付けさせるためには、豊かな実践力が必要だと思われます。掲載されている挿絵や写真、資料については、学年に応じて児童の興味・関心を引き、掲載されている数も十分であり、特に物語教材の挿絵は、大きさなども含めて効果的に配置されています。デジタルコンテンツについては、動画やワークシートだけでなく、難語句や児童に親しみのない言葉の説明や写真の提示などでデジタル教材を活用できます。全ての学年の教科書の冒頭に「国語の学びを見わたそう」、巻末に「本

の世界を広げよう」と「言葉の宝箱」が掲載されています。6年生の「卒業するみなさんへ」では、6年間の国語学習で身に付けた力を確かめ、どんな場面で力を生かすのかを考える単元が用意されています。それらを通して6年間の学びのつながりを意識でき、他教科の学習に活用できる本が紹介されているなど、カリキュラム・マネジメントの面でも有意義な構成になっています。以上です。

#### 横町選定委員長

ありがとうございました。それでは各委員の皆さんからご質問はございますか。

#### 宮本選定委員

3社共通の教材で探したところ「大造じいさんとガン」が3社共通なんですけども、光村図書は、何年前っていうあの前文が入ってて、あとの2社は、前文は省略してるようなつくりになっているのは、やっぱりあれですか。物語の学習のねらいが違うから、省略してる教科書と省略してない教科書があるんでしょうか。

#### 小杉調査員

学習のねらいは同じだと思うんですけど、調査員の中でもその話は出ました。やはり前文があるほうが、物語のなかに入り込みやすい。まずその場面で、大造じいさんってどんな人なんかなってのがイメージできますので。いきなり文章で始まるよりはあったほうがいいのではって話をしました。

#### 宮本選定委員

2社は想像するっていうようなことが学習のねらいの中に入ってるんで、もしかしたらその前文が入ってたら想像の妨げになるからなんかなって勝手に思ってたんですけども、そうでもないわけですね。

#### 小杉調査員

そうですね。大造じいさんのことを想像するのは、別にその部分ではないと思うんですけど。狩りの仕方とか、そこら辺のことだと思うんですけど。

#### 湯川選定委員

光村図書には、話すこと・聞くことの領域においてペアやグループでの活動できる単元が各学年5単元以上あると。ただ、あとの2社についてはそういう分量は少ないわけですか。

#### 小杉調査員

そうです。そこは学習活動の流れの例示として出しているところだけを、教科書に載っているところだけを見たら光村図書が多かったということです。展開は、このとおりするというのが基本だと思うんですけど、先生方の経験値とかそういうところで変わってくると思うんですけど。教科書どおりに進めていくという中では、光村図書が多かったです。他の2社は比較的そういうグループ学習とかいうのは。

#### 湯川選定委員

新しい先生というか、なりたての先生にとったら、そういう対話的な学習が取り上げやすい教科書になってるということですか。

#### 小杉調査員

資料にも書いてるんですけど、経験のない先生にはどちらかというと東京書籍の方が、結構スモールステップ式に教科書どおりきちっと進めていったら、いわゆる学力面も確実につけることができるのかなってような思いはあります。調査員の先生もそれは話していました。ただ、融通をきかせづらいついか、多様な教え方という意味では、やはり光村図書とかの方が、いろんな教え方ができるのかなってような話は出ました。

#### 貴志選定委員

湯川委員が、話す・聞く領域においてペアやグループでの活動ができるとおっしゃったところ。これは各学年5単元以上と書いているところですよ。これは、話す・聞く領域が5単元以上あるっていうことではなくて、ペアとかグループでの活動できるところが5単元ということですか。

#### 小杉調査員

そうです。学習活動の例示として、物語でも説明文でも、こんな授業の流れでやってくださいという流れを各単元で最後に書いてるんですけど、そこでそういうグループとかペア学習のところがあるというところですよ。

#### 貴志選定委員

続けてよろしいですか。挿絵の話ですけども、東京書籍は、特に3年生以上で挿絵が小さくてインパクトに欠けると。教育出版も5、6年生がやや小さい。

#### 小杉調査員

そうです。

#### 貴志選定委員

特に東京書籍は、3年生以降で3年も4年も5年も6年も小さいという感じですか。

#### 小杉調査員

全体の印象ですけど、その大きさを測ったわけでもないです。ただ特に同じ教材でいったら、6年生の「海の命」では、明らかにちょっと違う。見ていただけたらと思うんですけど。光村図書は結構全面、半面というんですかね、1ページを使って出しているところが何ページかあるんですけど。たぶん見ていただけたら分かると思います。ひとまわりかふたまわりぐらいちょっと東京書籍のほうが小さくなってるといいたいな感じです。挿絵が。それも議論になったんですけど、大きなほうがいいとは限らない

というか、小さくても、そこから、先ほどもお話出てたか分からないですけど、想像力を。あまり挿絵が大きかったら挿絵のほうに印象がいつてしまつて、想像力が働かないということもあるので、一概に大きかったらいい、小さかったら駄目つていう話ではないとは思つます。

#### 岩西選定委員

東京書籍のなかに「言葉相談室」つていうのが所々出ているんです。その内容を見たときに、子供たちの言葉には語彙が非常に少なくつて、すごいよねとか、表現の仕方がすごかつたねつていうような、ざつくりつていう傾向がありますよね。それについて、言葉集めをしたり、あるいは、しつこいよねつていう言葉について、しつこいつていうのはどうつていう言葉なのかなつていうふうにつて、言葉を捉えつて話し合つたりつていうような単元があるんです。それ見たときに、今の子供たちに、何気なく言つた言葉で人を傷つつける場合もあるんで、そういう言葉を捉えつて学習するつていうことも大事だなつていうふうにつて思ったんです。で、東京書籍は、2年生以上につてそういうのが入つてはいるんですけども、他社にもこういうところあるんでしようかね。教えていただけたら。

#### 小杉調査員

結局、先ほどスモールステップ的につていう話をさせてもらったんですけど、その間の単元つていうんですか、大きな単元と単元の間にあるんですけど、その辺の充実度は、やはり東京書籍のほうがあると思つます。他社も全然それがないつていうわけではないんですけど。結構そこら辺を丁寧に、授業できちつと最初からやつておさえていつたら、その辺の力がつていくつていうのが感じられました。

#### 岩西選定委員

ありがとうございます。

#### 岡部選定委員

今、岩西委員がおつしゃつたように、私も東京書籍6年生の教科書で、例えば言い換える、騒がしいつていうのを賑やかとかつていうふうにつて、相手に対する配慮とかで言い換えるつていう、その単元はいいなつて思ったんですけども。語彙指導の充実つていう点では、例えば光村図書も最初に言葉の準備運動つていうふうにつて、グループ活動からステップで入つていつて、あと使える言葉を文にするためにつてか。「季節の言葉」も、日本の伝統、月とか、そういうことを捉えつてとても丁寧に、語彙指導の充実つていうところでは私は光村図書も丁寧かなつて思ったんです。今のもそうなんですけど。あと、東京書籍の、先ほど小杉調査員が画一化されるつていうふうなこともおつしゃつていて、ノート指導も最初のほうにつてごく丁寧に各学年の段階に忠じたノートの見本みたいなのがありました。あれも、教える側としたら子供たちがいつでも振り返れる、参考にできると思つたんですけども、ある意味このノートの取り方でなくつてはいけなつていうふうな指導になるのではないかなつていう不安もありますよね。丁寧にとても教えやすい反面、画一化されてしまうのではないかなつていう。そういうことつて調査の中で何かお話が出ていたら教えていただきたいです。あと、東京書籍の、6年生の最後の「ヒロシマのうた」を読んだときに、読みたいと思つたのに、あとはここから見れますつていうふうな。物語に入り込もうとしたときに、あとは二次元コードからつてなつたときに、ちよつと私は残念でした。紙で読みたかつたなつて。あ

これは紙面の都合か何か、理由は分からないんですけども、そのところを6年生の最後にもっていったところもご意見が出ているようであれば教えていただきたいなと思います。

#### 小杉調査員

まず、最初の、画一化っていうのは、それはもちろん調査員のなかでも話が出ていて、そこが、先ほどもちょっと言ったんですけど、経験の浅い先生方や若い先生方にはある意味やりやすい。ただやっぱり経験積めば積むほどちょっと融通がきかなくなってくるという、そういう意見はだいたい皆さんおっしゃっていました。あと、その「ヒロシマのうた」のところですけど、あまりそういう話題にはならなかったんですけど、あれは付録みたいなもので主教材ではないということもあるので、デジタルコンテンツの使用を促進するという意味でもそうなっているのかなと思いました。ただ、ちょっと話は逸れるかもしれないですけど、戦争教材という面では光村図書が充実してるかなとは思いました。

#### 岡部選定委員

平和教材ということね。

#### 小杉調査員

そうですね。平和教材ですね。

#### 岡部選定委員

教育出版は、それよりもまだちょっと少なかったようには感じました。

#### 小杉調査委員

そうですね。

#### 岡部選定委員

でも現代的。

#### 小杉調査委員

言語活動とかSDGsとか、現代社会の問題については比較的多くありましたね。

#### 岡部選定委員

教育出版のパンフレット作りで濱口梧陵さんが取り上げられていたのは、和歌山県民としては嬉しかったです。

#### 小杉調査員

そうですね。皆さん評価されてました。

#### 三宅選定委員

まとめた資料を読んでいて、東京書籍のところに、特別支援教育の知見もあると。特別支援学級の子供さんは、主に国語や算数は個別に勉強するんで、たぶんどの教科書会社もそういうのは工夫されてると思うんですけども、東京書籍のこの具体的なそのことを書いた部分の説明と、他の教科書にもやっぱりこういうところありますよというのがもしあれば教えていただけたらと思います。

#### 小杉調査員

やっぱりどの社も特別支援教育に配慮してるというのはありました。特に、分かりやすい字を書いたりとか、表の配置とか絵の配置とかそういうのも配慮してますっていうような感じはどの社もだいたい共通しています。その中で、東京書籍で載せさせてもらったのは、デジタルコンテンツがかなり豊富だったので、座り方や筆順なども全て二次元コードでやったらできるので、そういう面で特別な支援が必要な子供にも有効なのではないかという話になりました。

#### 貴志選定委員

ノートの書き方の件ですけども、確かに東京書籍はこんな感じに書くんですよって指導が入っております。でも光村図書も入っているんですよ。教育出版はなかったように思うんですけども。また光村図書と東京書籍は違う形でのノートの書き方ということで、各学年の4月の初めに入っていたかなと思います。それと、確か「海の命」は教育出版の教科書には載っていませんでしたよね。

#### 小杉調査員

はい。

#### 貴志選定委員

比べてくれたように、光村図書と東京書籍では確かに東京書籍の挿絵がちょっと小さいかなと思ったんですが、物語文とか説明文の最初のこのページは光村図書よりも東京書籍のほうが大きい。見開きの2ページになっていて、ここではこんな学習をするんだなと、ぱっと分かる感じを受けました。

#### 小杉調査員

そのとおりだと思います。

#### 横町選定委員長

他、ご質問はございませんか。ご質問がないようでしたら、調査員には退出していただきます。ありがとうございました。

#### 横町選定委員長

それでは調査審議に移ります。皆さんには教科書についての調査研究をお願いしていたところです。ただいまの調査員の報告や各自お調べいただいたことから、各社の特徴についてご意見をいただきます。

#### 市川選定委員

和歌山市は光村図書をずっと使っていました。前回の採択で東京書籍になった。今の説明の中では、どちらかといえば東京書籍は若い教員も指導しやすいというようなお話もあったかと思います。ベテランには光村図書がいいというようなお話もあったかと思います。私は実際授業してないんで分からないんですけど、この3年間、実際は東京書籍を使って授業をしてきました。じゃあ、そのなかで、先ほど出てきた画一化とか融通がきかないというのは、実際そういうことは先生たちは感じられてるんですかね。

#### 貴志選定委員

確かに東京書籍は筋道がはっきりしてますし、こういう目的で、こういうめあてで、そして活動、学習はこういう流れでやったらこのめあてを達成できるんじゃないかって指導書にもあります。でも画一的とかそういう意見は、私はあまり聞いたことはないような気がします。

#### 梅本選定委員

関連しているようなんですけども、他教科でいうと、算数科でも東京書籍は内容的に難しいところもあるんだけど、板書であるだとか、それから考え方とかも、例えば他社だったら二つぐらいの例があるのが、三つぐらい細かく書いてあったりとかする。だからやっぱり今の若い先生方とか経験の浅い先生方に焦点を当てているという面もあるだろうと思うし。結局、どの教科書を採択しても、やっぱり授業をする先生次第で画一的になるものでもあるし、そうでないものもある。だから画一というよりも、どの年代の先生でも指導をしやすくするために作られているというふうに見えるかなというように思います。他方、私も光村図書を見たら、自分が新採のころに載っていたお話なんかはまだ残っていて、東京書籍や教育出版は特に物語文なんかは新しいのが入っている。説明文でも、例えば「じどう車くらべ」のようなものだけれども、違うものを採用しているということがあってと思います。光村図書は王道といえますか、物語文だったらこれがいいなとか、ちょっと民話的なものであればこれっていうのが、すごく長く掲載されているところがあるので、その辺のところではいろんな年代の先生方に、これはちょっと自分に馴染みがあるっていうので指導しやすいということもあるのかなとも思います。最後に一つ、光村図書のこだわりと言いますか、本当に定番のというのが揺るがずに、挿絵も揺るがずに。あいうえおを言ってる女の子の顔なんかもう何十年もあの子の顔で来てるっていうのかな。他社は入れ替えたりしているところがあると思うので、その辺のところはどうなのかなと思う。算数や英語なんかって、どんどんそういうところが変わってくるじゃないですか。その辺はどんな感じなんですかね。

#### 貴志選定委員

そうですね。私も4年ぶりに光村図書の教科書を見まして、ああ懐かしいなあという気持ちになります。例えば今の東京書籍でも、最初の物語文、2年生だったら、「風のゆうびんやさん」とか4年生だったら「こわれた千の楽器」とか、いろいろ新しいのが入ってきて、それが今の子供たちに合っている面も多いのかなあと感じます。特徴として、例えば光村図書は、まさに国語の教科書という感じなんです。どういうことかといったら、教育出版とか東京書籍は、説明文でヤドカリとかイソギンチャクとか、お花のこととか、地域の魅力を伝えようなど、社会科や理科、生活科、総合に関連したようなものが多いかなと思うんです。光村図書は「アップとルーズで伝える」みたいな新聞記事的なことや、説明文でも、何て言ったらいいんでしょうか、古典的な感じの説明文が多かったなって思いました。

#### 宮本選定委員

僕、先週ある学校の国語の研究授業の助言に行っていました。そのときに面白かったのは、光村図書推しやとか東京書籍推しやとかっていう話が出てたんです。先生方の中でも、光村図書が良かったなっていう先生もあるし、東京書籍がええなっていう先生もあるし。ただ、さっきから話が出てるように、例えば「大造じいさんとガン」やったら、昭和54年からあったし、古いやつやったら昭和46年からずっと教材が続いてるわけなんです。でもその物語を、料理するというか、どんどん学習指導要領が変わってるから、このねらいでこの物語を料理するというふうに変わっていったるはずなんやけども。ただ、古い教材やったら古い教え方でええっていうふうに、現場の先生が取ってる先生もいてるんじゃないかなというような。それぞれ意識次第やと思うんですけども。そんな点で、光村図書はさっきからお話しに出てたように、いろんな点で扱いやすいというか、慣れている。けれど、逆に言ったらそういう落とし穴というか、古いねらいのまま教えてしまうっていうようなところは、ちょっと気を付けなあかんのかなと思います。

#### 貴志選定委員

すいません。先ほどに加えて。また最初の画一的という言葉に戻るんですけども。この4年間、私も国語の授業を何度か見せてもらったんですが、年配の先生も若い先生も、東京書籍の教科書を使ってそれぞれに工夫しながら、同じ教材であってもいろいろなやり方で授業をされていたという、そういう授業も見せてもらったこともあります。それを加えておきます。

#### 中井選定委員

今、話を聞いていたら、先生方の授業の進め方、工夫の仕方の部分でのご審議されていて、よく分かりました。保護者からしたら、今の中学受験や高校、大学の受験でも、記述式での解答が求められていて、国語の問題でも算数や社会の問題でも、実際に中学受験ですごく多いです。読む力は強化してくださって、「うちどく」というのも和歌山市でも推進してくれてますよね。でもどうしても書く力、記述式が全体的に低いんです。今、子供たちはすぐインターネットで調べられますよね。私自身も漢字が書けないけども、検索してすぐに分かるような時代なので、この3社の中で記述する力につながるような工夫をしているのはどこも同じなんでしょうか。国語の授業で子供たちの書く力を養うことを重視した教科書会社ってどこなんでしょうか。

#### 貴志選定委員

国語は、読むという分野と、話す・聞く、それから書くという分野に分かれていまして、もちろん書く力を育む教材も各社で用意しています。3社ともだいたい分量は同じぐらいかなと思います。その中で、各社とも子供たちの興味や関心をひくような単元とか題材を使って、こんなこと書いてみませんかというような、低学年であれば自分の身の回りのこと、それから高学年になれば、今、問題になっている自然環境問題とか、そんなことを調べて書いてみませんか、というような取り組みがあります。だから、子供が、書きたいな、こんなことが今問題になっているからちょっと調べて書いてみようかなという、そういう工夫は3社ともあるかなと思います。



#### 横町選定委員長

皆さんの手元にある補助資料の3番のところを見ていただいたら、書くという單元について各社で何ページぐらい割いてますよというのが分かるようにしていただいているので、これも参考になるかなと思います。

#### 岡部選定委員

今のだと、例えば光村図書の6年生の教科書だったら「デジタル機器と私たち」っていうことで、情報モラルについて自ら考えて、それを発信する、提案する文章作りをしようとか。東京書籍だったら、資料を二つ提示されてあって、その資料から読み取ったこと、関連付けたことを自分たちで発信しようっていう、社会科とか総合的な学習と関連付けてとか。貴志委員もおっしゃっているように、パンフレット作りとかグラフから読み取ったことを言葉と資料を組み合わせで発信しようとかっていう、いま課題となっているといわれている、資料から情報を取り出して自分でまとめるというところを学習するって教材は、どこの出版社の教科書にもありました。

#### 岩本選定委員

単純な質問で申し訳ないんですが、総ページ数なんですけど、光村図書の1年生だったら、上下合わせると、だいたい264ページなんですけども、東京書籍は316ページぐらいあるのかなと思うんです。逆に6年生になると、296ページに対して光村図書は312ページっていう、ページの各学年の割り当てに結構差があるように思うんですけど、そのあたり、影響はあったりしますか。1年生でしたら300ページは分量が多いなとか。いやいや、これぐらいは別にとか。中身も関係してくる話やけど、あまりにも差があるなと思ったので、何かその違いはあるのかなと思ったんです。

#### 梅本選定委員

印象でいうと、東京書籍って本文にプラスしてトピック的な、季節の何とかがあってというのがあったので、その分ページが多いんじゃないかなと思います。他のいわゆる物語文や説明文ではそんなに差はないけど、間に入っているそういうのが東京書籍は多いなと感じました。

#### 横町選定委員長

他にございませんか。ないようですので、ただいま、ご審議いただいた内容を調査審議結果としてまとめることと決議いたします。

---

#### 保健

#### 横町選定委員長

それでは続きまして、保健についての調査審議を行います。まず、調査員から、調査結果の報告をお願いします。

#### 大西調査員

保健調査員の芦原小学校、大西秀樹です。

#### 清水調査員

西和佐小学校、清水智史です。

#### 岩崎調査員

野崎西小学校、岩崎裕子です。

#### 貴志調査員

今福小学校、貴志優太です。

#### 大西調査員

東京書籍、大日本図書、大修館書店、文教社、光文書院、Gakken の教科書について調査結果を報告いたします。まずはじめに東京書籍です。この教科書は、3、4年生45ページ、5、6年生77ページで1冊となっています。この教科書は3、4年生の7ページを見ていただくと分かるように、1気づく・見つける、2調べる・解決する、3深める・伝える、4まとめる・生かす、という学習過程となっています。学習目標を達成するために、課題をつかむところから、個人思考、グループや全体での話し合い活動、まとめ、振り返りまでスモールステップで教科書に書き込めるようになっていきます。学習の課題を見開きの左上に明記しており、問題解決していくことができるように、ワークシート形式の教科書で、空欄に書き込んで進めていくことができます。深い学びを目指したステップ3深める・伝えるが各単元に設定されているのも特徴です。それぞれの章のはじめに、理科、社会、家庭など他教科との関連を明記しています。また、ページ42のようにスキルマークがあり、身に付けてほしいスキルを取り上げています。また、1時間の授業で4ページから5ページの取り扱いになっています。資料が充実しており、2ページを見てみると、資料の目次があります。また動画について、4年生の思春期に現れる変化では、資料で性と自分らしさが記載されており、二次元コードから3分強の動画を見ることができます。その中身は、どの性別の人を好きになるかは、人それぞれというような内容になっています。東京書籍は特にデジタルへの対応を意識しており、二次元コードが中学年、高学年合わせて28あります。資料でスポーツ選手の体験談や経験談が書かれていることで、身近に感じる工夫がされています。また資料で、熱中症の予防と手当てでは、ASUKAモデルについても記載されています。現代的な課題については、例えばマタニティマークなどの支え合いのためのマークを紹介していたり、多様性、共生社会への配慮がされていたりする扱いになっています。

2社目は、大日本図書です。この教科書は、3、4年生45ページ、5、6年生69ページで1冊となっています。学習目標を達成するために「つかもう」「考えよう」「話し合おう」「活かそう」の学習展開となっており、問題解決的な学習や言語活動の充実を図っています。言語活動の充実という点では、1時間の学習で2から3箇所、書く活動が入っています。また、単元の終わりに知識及び技能を定着させるための問題を設定しています。学年のまとめとして、自己評価と実践化の形でまとめています。12ページのように、欄外なんですけれども、学習内容に関連した英語のことわざを紹介するなど、英語への興味を高めることができるようにし、また、他教科や他の学年に関連した題材を適宜扱い、該当箇

所にマークで示しています。構成としては、多くが見開きの2ページを1時間で完結できるようにできています。また、デジタル化への対応という点では、二次元コードを読み取ると演習問題をしたり、動画を見たりすることができます。チャイルドラインにつながることができ、気軽に悩みを相談できるようにもなっています。二次元コードを読み取って、「たのしい保健ウェブ」に行くと、動画やまとめの問題に行くんですけども。問題は、穴埋めのような形になっています。資料については、単元最後に「もっと知りたい!」という形で定義しています。また、4年生の体の発育発達では、身長伸びを目盛りで線を引き、作業時間を短縮できるようになっているのも特徴の一つです。思春期における体の中の変化、33ページで初経や精通が起こったときのインタビューが2例紹介されています。また、体育の体ほぐしや表現の内容が導入で紹介されていたり、心の発達では、いろいろな不安や悩みについて5例紹介されています。25ページでは、3、4年生の体の発育、発達でも、導入で1歳頃の赤ちゃんの手型と4年生になった自分の手の大きさを比べることで、自分の成長を分かりやすく、すぐに実感できる導入となっています。保健とSDGsの、どの目標と関わりが深いのかも記載されていますし、本市の人権教育にもつながるジェンダーについて記述があり、5、6年生の17ページにジェンダーについて記載されています。一番右下の、この文です。

続いて、3社目は大修館書店です。3、4年生49ページ、5、6年生73ページで1冊となっています。内容の取り扱いとしては、学習目標の達成のために3ステップとなっています。また、問題解決的な学習展開とするために「課題をつかもう」のあとに「きょうの課題」を提示して分かりやすくしています。1時間の学習の最後に設けた「まとめ、生かそう、伝えよう」では、自分の生活を見直すなどして、自己の課題を修正できる活動を適宜設定しています。単元ごとに学習を振り返ってみようがあり、知識、技能や、主体的な態度、実践化などに視点を置いています。このときに各活動が設定されています。特徴的なこととして、導入でアスリートなどの有名人を取り上げて、学習を展開できるようになっています。記述は少なめで視覚的に分かりやすいんですけども、12ページの上の4行のように、大切な言葉の太字部分のインパクトが少し薄いのかなと思います。本教科書の独自のものとして、単元のラストにデジタル教材としてクイズがあります。ただ、中身は3択になっており、すごく簡単な問題にはなっています。1時間の学習活動のなかに、話し合おう、考えようという共同学習の働き掛けがされています。他者との対話を通して自分の考えを広げたり深めたりできるようにしています。1時間を見開きで完結できるようにしており、資料については適時資料を提示する形となっています。学習の流れが提示されており、児童が学習の見通しを持てるようにレイアウトされています。また、金子みすゞさんの詩などを掲載しており、発展的な学習やジェンダーのほうに、性別とか、そういうところにもつながるようなイラストが描かれたりしています。章の最後になんですけども、5、6年生、72ページを見ていただくと分かるように、学習を振り返ってみようのページを設けて、学んだことを現在や将来の生活に生かすことができるようにしています。現代的な課題としては、スマホゲーム依存が現代社会で問題になっていることも取り上げられています。今ご紹介したような、多様性の尊重、金子みすゞさんの作品のような記載があり、男女の役割を固定したり、国籍や障害の有無などに基づく差別や偏見につながらないように注意しています。

続いて4社目は、文教社です。この教科書は、3、4年生37ページ、5、6年生83ページとなっています。学習過程は「本時のMenu」「Mission1」「Stage1」とか「学習のまとめ」「Complete」などの学習過程となっており、英語表記となっています。問題解決については、話し合う活動もありますが、

考えたことや全体やグループで深めていくというよりも、個人を見つめることが中心の単元が多くなっている、そんな学習活動が多くなっているのが特徴です。また、単元のまとめとして、私の何とか宣言というのが必ずあり、学習してきた内容を振り返りながら、こうしたいなど、自分の生活の中で、より実践へとつなげていけるように記述し、そのことについて応援メッセージを友達からももらうようになっています。またページ数と比較して、書く活動は少なく、17ページのように「もう一歩先の自分へ」というところだけ記述で、あとは丸を付ける形となっています。構成、配列、分量については、見開きの2ページはなく、1単位時間の授業で4ページから6ページの扱いになっています。指導用事項に偏りはなく、学習指導要領に沿ったものになっております。二次元コードが付いており、それを読み取ることで、自社制作の動画を視聴でき、デジタルコンテンツの充実を図って、より深い情報を見ることができるようになっています。発展的な学習の部分は「もっと考えよう課」というところで扱われています。ヒヤリハットについても、二次元コードから厚生労働省のホームページへ飛ぶようになっています。資料等については、写真、図表、資料は多いと思います。安全教育への関連として、5年生の「けがの防止」では、水の事故について取り上げています。また着衣水泳についても取り上げています。現代的な課題としては、6年生の「生活のしかたと病気」では、主な生活習慣病のなかに、58ページにあるんですけども、メタボリックシンドロームについての記述があり、子供のころからも注意が必要との注意書きも書かれているのが特徴です。最後に、この会社の1番の特徴としては、第二次性徴のところ、精通のところのイラストがあるんですけども。このように、性器があって、陰茎が勃起しているような形というか、こういう形のイラストも載っています。

5社目は、光文書院の教科書です。この教科書は、3、4年生41ページ、5、6年生65ページで1冊となっています。この教科書は、単元の多くが、課題を見つける、考える、話し合う、学んだことを生かす、のコンセプトで構成されています。そして、今の自分の生活を振り返ることが導入に扱われています。1時間の学習活動に、話し合う、考えようという共同学習の働き掛けがされています。学習の最後には「生かそう」の活動があり、学習した知識を実社会や実生活で活用できる力を育てる活動が設定されています。単元の導入が4コマ漫画で、児童にとって入りやすい内容となっているのが、この出版社の特徴です。どんなことについて、これから学んでいくのか、分かりやすい内容になっています。また、学習目標の達成のために、学習の課題が分かりやすく、他の文章と差別化できるよう、黒板風の記述となっています。さらに、大切な言葉が太字で明瞭であり、単元のまとめでは、括弧に記号を入れる選択式を採用しています。特徴的なものとしては、具体例では、3、4年生の発展的な学習で、38ページでスポーツ障害を取り上げています。5、6年生では、ながらスマホや、人との接し方、距離感、SNSの使用について紹介されています。特に、18、19ページにおける人との距離感は、現代的な課題であるコミュニケーションや人間関係構築力にもつながるものであります。学習の流れが明示されており、児童が学習の見通しを持てるよう、資料がレイアウトされています。資料としては、意欲的で自発的な学びにつながるように巻頭特集ページというのがありまして、保健の学習内容が身近に感じられるように、人気のスポーツ選手やクリエイターのメッセージが掲載されています。表紙につきましても、教科書の表紙を見ていただいても分かるように、アニメ好きな子供たちにとっては、興味・関心をそそるような、そういう形になっています。本市の人権教育方針につながるエイズや、AED、感染症に関する差別について、46ページ、47ページに記述があります。

最後はGakkenです。この教科書は、3、4年生49ページ、5、6年生89ページと、ページ数は

やや多めです。学習過程は3段階となっています。この教科書は、学習目標達成のために、生活や経験を振り返ったり、実験など実践的な学習を随所に取り入れたりして、健康、安全についての基本的な内容を実践的に理解することができるようにしています。特色として、3、4年生では生活の仕方から健康課題を見出したり、より良くする方法を考えたりしています。単元の導入は、イラストや写真などさまざまなパターンで始まっています。また、単元の流れを記述し、他教科との関連を一覧で紹介しています。1時間の学習で、4から5箇所と比較的多くの各活動が設定されています。発達段階に応じた内容という点では、3、4年生の体の発育、発達で、体の変化はいつ起こったのかのインタビューが4例載っていたりして、いろいろと個人差があることを紹介しており、学習者の気持ちに寄り添えるようになっています。また、5、6年生の心の健康では、心の働きの変化の過程が2段階で示されており、それに加え19ページや21ページで、カウンセラーさんへの相談が4例載っております。こういった内容をカウンセラーさんに相談できるんだということが具体的に書かれていて、子供たちが相談しやすいきっかけというのもできるようになっています。構成としては、1時間の授業で、見開き二つ分、4ページ扱いが多いです。デジタルへの対応という点では、二次元コードで振り返りシートをダウンロードできるようになっています。また、この教科書では保健師さんのインタビューが動画で見られるようになっています。あと「けがの手当」のところでは、119番への通報の仕方をデジタルコンテンツでシミュレーションできるのも特徴です。資料については、体育や理科など他教科との関連が一目で分かるようにまとめられています。このGakkenの特徴の一つとして、学びを深めるための資料として「ほけんのはこ」例えば11ページなんですけれども、これがあるのが大きな特徴で、巻末にも資料が別添として掲載されています。

#### 横町選定委員長

ありがとうございました。それでは各委員の皆さんからご質問はございますか。

#### 湯川選定委員

6社のなかで、文教社だけがちょっと違ったイメージで学習が進められてると思うんです。他社は、スモールステップで、割と子供たちにとって学習していきやすい、何を学ぶかがよく分かる。課題もきちっと明記されている。それでいいのかも分からないんですけども、ちょっと子供たちの自由性というか、もっといろいろ考えてやりたいかもというのがこの5社。文教社はちょっと違うんですけども、その辺感じませんでしたか。全部、割ときまったかたちで進められていくような感じなんやけども。全部、指示が出て、何々しようとか。

#### 大西調査員

そうですね。文教社について言いますと、文教社はやっぱり英語表記になっているのが特徴で、子供たちがそれを見ながら進めていく形にはなっています。ミッション1、ミッション2というのが、どんなものなのかという部分は、最初入るときには、慣れるまではちょっと時間がかかるのではないかなと思うところはあります。

#### 湯川選定委員

文教社以外の5社のことが気になってるんです。5社は学習過程についてきちっと指示が出てる。こうしましょう、ああしましょうって。子供たちの思考があまり広がらない、その筋道に乗って進められていくような感じなんです。それは分かりやすくていいのかもしれないけれども、子供の学びって広がりがあって、ここではグループ学習したいよとか、指示どおりはいかんこともあると思うんよね。子供の教育っていうのは。その辺はちょっと気になるんやけども。

#### 大西調査員

そうですね。まあ3ステップ、4ステップでステップを踏みながら学習していくということで展開されている教科書が多いと思います。指示が出ているとおっしゃられましたけれども、そういうのはあるかと、感じられる部分があるかとは思いますが、子供たちだけではなくて、経験年数の浅い先生方については、これが特に参考となって展開していきやすい部分があるのかなというふうには思います。子供たちの自主性というものについては、展開のなかで工夫していくという形にはなると思います。教科書はこういうふうな記述にはなっていますけれども。

#### 中井選定委員

気になったんですけど、東京書籍の、どの性別の人を好きになるかは人それぞれ、動画が3個あるということなんですけれども、私これ見てなくて、どういうふうな内容なんでしょうか。SOGIとかLGBTとか、セクシャリティーに関わる教育なのか、どういうような。

#### 大西調査員

ちょっと流してみてもいいですか。

#### 貴志調査員

LGBTQとかについてもやっぱり載ってまして、男の子が女の子じゃなくても、どんな人を好きになってもいいんだよっていう内容の動画が、このように3分強で紹介されていました。

#### 中井選定委員

ありがとうございます。すごく良かったです。何かすごいピンポイントで、4年生に対して、こんな感じで人権をすごく大事にしているっていうところでは良かったと思います。ありがとうございます。

#### 横町選定委員長

他に質問はございますか。他に質問がないようでしたら、調査員さんには退出していただきます。ありがとうございました。

#### 横町選定委員長

それでは調査審議に移ります。皆さんには教科書についての調査研究をお願いしていたところです。ただいまの調査員の報告や、各自お調べいただいたことから、各社の特徴についてご意見をいただきます。

#### 市川選定委員

だいたい、1時間を4ページから5ページで学習するような中身になっていますよね。

#### 湯川選定委員

これは見開きで終わる。

#### 市川選定委員

のがあまりない。1社ぐらいかな。

#### 湯川選定委員

1社。

#### 市川選定委員

大日本図書が見開き1ページ。あとは見開きの2ページとか、3、4、5ページとかいうような形になってますよね。これ、なかなか珍しいと思うんですよ。普通の教科書であれば、見開きの2ページで1時間。子供がそこを開いて学習しやすいということなので、保健というのは教科書を中心に学習していくという前提があるのかなって思うんです。3～4ページ。4ページぐらい指導する内容がある。45分の中で。この4ページ、5ページを指導するというだけでずいぶん時間がかかるので、そういう意味では、保健の教科書の特徴なんかなって僕は思ったんです。じゃあ反対に、その見開きの2ページでまとまっているものというのは、どうなんですかね。授業を進める上でやっぱりしにくいんですか。補助資料みたいなのを用意しなければいけないことになるんですかね。そこら辺は、どんな印象をお持ちですか。

#### 湯川選定委員

保健って総時間数が本当に少ないですよ。3、4年生であれば、8時間程度。だからその時間でやらないといけないんで、今、市川委員が言われたように、やはりある程度、形に乗かって進めていかざるを得ない。うまく4時間消化できるんかというのはちょっと気になるんですけども。結構書く欄が多い教科書と、文教社みたいに書く欄が本当に広範囲に少しだけっていうのもある。やはり書く作業というのは本当に大事だし、時間取りますよね。その辺の書く作業を充実させて、それを話し合いだとかに持っていったらいいんですけども。その辺の兼ね合いが、大きな課題になってくるのかなと。他には、3年生の中で、パッと開いたらインパクトの強い写真、大きな写真がある。それがすごく子供にとってはインパクトがあって、学習課題にくらいついていく力になるやろうなと思いました。有名選手や、藤井さんもあったかな。その人の話していることが子供たちにとってはすごく魅力的で、もうちょっとというんなことを学ぼうという意欲につながっていくんやなど。そんなふうに見させてもらいました。

#### 横町選定委員長

他にございませんか。ないようですので、ただいま、ご審議いただいた内容を調査審議結果としてま

とめることと決議いたします。

---

## — 道徳 —

### 横町選定委員長

それでは続きまして、道徳についての調査審議を行います。まず、調査員から、調査結果の報告をお願いいたします。

### 加藤調査員

道徳の調査員、川永小学校の加藤久佳です。

### 岩崎調査員

木本小学校の岩崎直輝です。

### 伊澤調査員

名草小学校の伊澤真佐子です。よろしくお願いいたします。

### 加藤調査員

では、東京書籍、教育出版、光村図書、日本文教出版版、光文書院、Gakken の六つの教科書についての調査結果について報告します。各社、5年生の教科書で説明させていただきます。まず1冊目は、東京書籍の「新編 新しい道徳」です。この教科書の大きな特徴の一つとして、各教材の最後に「つながる・広がる」欄が設けられていることです。このページでは、関連動画が見られるようになっています。また、35教材あるうちの11教材には、コラムなどはさみ込みページがあり、このように関連内容をより詳しく学習できるようになっていたり、このページでは友達とワークできるようになっていたりします。二つ目の特徴として、巻末に考えるためのツールが3例載っていることです。184ページをご覧ください。「心情スケール」「心の地図」「心のメーター」が載っていますが、特に「心のメーター」はインターネットでの利用が可能であることに加え、付録が付いており、すぐに活用できるようになっています。また、このように教材に沿った役割演技の方法がイラスト付きで紹介されているページもあります。三つ目の特徴は、二次元コードが各教材名の下に載っていることです。一つ目の教材「泣いた赤鬼」の最初の10ページを開いてください。二次元コードから三つのコンテンツ、朗読、紙芝居、別冊ノートが利用可能です。以上です。

続いて、教育出版の「小学道徳 はばたこう明日へ」です。この教科書の大きな特徴は、まず、各教材などに学びの手引きとして3種類の型の発問が書かれていることです。一つ目の型は「考えよう」として、場面発問やテーマ発問、中心発問などの2問と「深めよう」として、終末段階で活用できる発問1問の、合計3問を型とした基本のものです。二つ目は、教材によって「考えよう」の中に「やってみよう」として、動作化や、役割演技が入っていたり、またモラルスキルトレーニングも入っていたりする教材があります。最後の三つ目の型は「問題を解決しよう」として「問題を見つける」「解決方法を考える1」「解決方法を考える2」「考えたことを生かす」の4段階の流れで学習できる発問があります。さらに、基本形の「考えよう」「深めよう」のあとに「つなげよう」として、日常生活につなげる発問や、



他教科や特別活動とつなげる発問が付いている教材もあります。次に、教材のあとにコラムがあったり、巻末に資料が付いていたりして、教材を学習したあと、児童の認識をさらに深めたり、考えを広げたりすることができるようになっていきます。例えば、教材に関連する69ページをご覧ください。人物のコラムには写真などととも二次元コードもあり、外部サイトへアクセスできるようになっています。他にも、いじめ問題、情報モラル、人権、自然保護などの特に大切にしているテーマが教材でユニット化されていたり、各教材名の近くに視点や主題のほかに、オリジナルキャラクターによる導入での問い掛けがあったりすることが、この教科書の特徴です。以上です。

## 岩崎調査員

続きまして、光村図書の特徴を3点紹介させていただきます。まず1点目は、オリエンテーションの充実です。第1教材の二次元コードを読み取ると、5年生で取り扱う22の内容項目について、アニメーションで一つ一つ紹介され、学びの期待感を持たせながら、1年間の学びを見通せる工夫がされています。また、第2教材では、教材文下部に、教材に沿って道徳の学び方が示されており、これから道徳で教材とどう向き合っているかを理解できるようになっています。さらに、対話の楽しみを味わい練習する機会を学期ごとに設けています。そうした対話することの大切さに触れることで、道徳科の学びをスムーズにスタートできると考えます。2点目は、多様な学習活動の提案です。カードを使った交流や、思考ツールを使った考え方、役割演技の提案など、教材に合わせてさまざまな学習活動が提案されています。続いて、16ページをご覧ください。「夢を実現するためには」の教材では、大谷翔平選手が実際に書いた目標達成シートを作成する活動が提案されており、興味・関心を高めるとともに、自身の生活へと学びをつなげる工夫がされています。3点目は、人物（偉人）を扱った教材の豊富さです。先ほども示した大谷翔平選手や、やなせたかしさん、手塚治虫さんのような、児童にとって身近で関心のある人物から、ナイチンゲールのような歴史上の偉人まで多数取り上げられており、多様な生き方に触れることができます。

続きまして、日本文教出版の特徴を3点紹介させていただきます。86ページをご覧ください。まず1点目は、本書では現代的課題であるいじめ問題や情報モラル問題を重要課題と捉え、人との関わりをユニット化することで集中的に学習できるように計算されているところです。これは、各学期に設定されています。役割演技や話し方の例を取り上げ、問題解決的な学習例で、考えを深められるようになっています。また、内容をさらに深めたり、他教科とも関連して学習したりできるように「心のベンチ」というコラムが設けられています。2点目は、本県の教材が3教材扱われている点です。3年生では、目の不自由な和歌山市職員の方のバス通勤を小学生たちが支えた実話を基に作られた「やさしさのバトン」。4年生では「お父さんのじまん」の中で「稲むらの火」。6年生では「エルトゥール号ー日本とトルコのつながりー」が取り扱われています。3点目は、別冊の「道徳ノート」や二次元コードです。「道徳ノート」には補助教材も含め、38教材分があります。授業内容を深めたり、振り返ったりして活用することができます。学期ごとに一番心に残った教材を振り返るページもあり、コメントを通して家庭との連携を図ることもできます。また、全教材に二次元コードが付いており、偉人、伝統と文化、国際理解などについて視覚的に考えを深める資料として、3分程度の動画やスライド、関連情報のリンクへつながるようになっています。さらに、心情メーターや思考ツールなどが活用できるようになっており、一人一台端末を活用した学習展開が期待できます。以上です。

## 伊澤調査員

続いて光文書院の「小学道徳 ゆたかな心」です。特徴の一つ目は、目次の提示の仕方です。見開きの目次で、デジタルコンテンツがある教材の下には三角のマークを入れています。二次元コードは5年生では13あり、内容は教材に出てくる人物が児童に直接話し掛けるものや景色の動画、時事ニュースなどがあり、授業に活用できるようになっています。目次の下には四つのコラム、1対話の仕方、2情報モラル、3立ち直る力、4SDGsの説明があり、これらは全学年で扱われています。例えば、148ページ3の立ち直るでは、このような立ち直り曲線が補足ページとしてあります。教材から広げて、自分の生活、生き方を振り返られるような工夫をしています。ユニットにつきましても、隣の149ページのような中表紙に、テーマと問い掛けが書かれています。二つ目は「対話の仕方」と「思考ツール」が示されていることです。6ページ、7ページになります。どの教材でどの思考ツールを使うかも明示され、効果的な活用が可能となっています。三つ目は教材提示と発問例です。10ページになります。教材の始めに、色とマークで視点と主題を示しています。ここでは、主題が「努力を支えるもの」で、導入の問い掛けで「努力を支えるものとはなんだろう」とあります。教材末の13ページには、このような鳥の形の下に発問例が四つ示され、視点の異なる発問であることから、多面的・多角的に考えるヒントとして活用できます。そして、巻末には切り取れるようになっている「学びの足あと」があり、全ての教材に一言感想を書く形式となっています。以上です。

最後に、Gakkenの「新版 みんなの道徳」です。特徴の一つ目としましては、9ページのように、四つの視点が意識できるように、自分のとびら、赤。人、黄色。社会、青。命や自然、緑と、色とマークで分け、目次と教材名近くに載せています。さらに、2ページには、現代的課題を11取り上げてマークで示し、それも目次に載せています。例えば、3の「もったいない」では、緑で「命や自然と私」の視点を示し、「地球」と「未来」へのマークで現代的課題について考える教材であることを、目次と教材の始めで示しています。教材の始めには「美しかった村がどうしてこんなことに…」と興味付けるための言葉も掲載されています。二つ目の特徴は、三つのユニットを学期に1回配置していることです。4ページになります。このように、緑色「いのち」赤色「みんな」紫色「みらいへ」で、2教材と「心のパスポート」という補足資料をユニットにしています。例えば、35ページが「いのち」のユニットですが、このようにユニットの前には中表紙があり、テーマと問い掛けが書いてあります。三つ目の特徴は、発問例です。教材末に「考えよう」と、1で教材の中心発問、2で自分を見つめ直す発問の二つの例が示されています。補足資料の「心のパスポート」が11教材の後ろにあり、教材とつなげて考えを深められるようになっています。160ページの巻末には、1年間で心に残ったこと、伝えたいことを書くページがあります。その他、災害を題材とした教材が多いこと、写真が多いことが特徴です。以上で道徳の報告を終わります。

## 横町選定委員長

ありがとうございました。それでは、選定委員の皆様方からご質問はございませんでしょうか。

## 宮本選定委員

この間、新聞に、50年教材で出てた「星野君の二墨打」がもうなくなったとありましたよね。「星野

君の二塁打」は、監督のサインを無視して二塁打を打って、試合で出られへんかったという話やったと思うんですけども、あの、ジレンマ教材っていうのかな、葛藤のある教材について、多様な価値が今、求められているのかな。その多様な価値の中で、自分が選択していくっていう力も求められているのかなと思って。道德の「手品師」は全部の会社に出てたんでちょっと見てみたら、会社によって、物語の全文と最後の「考えよう」とか、まとめのところを見たら、この授業で言ったらクローズで終わりそうやなっていうところと、ここはオープンを意識しているな、というところと、はっきり分かれていたように思うんですけども、そんな点、調査員の先生方では話に出てきたんでしょうか。

#### 伊澤調査員

そこは特に出ていないです。

#### 宮本選定委員

何か Gakken はオープンっていうような感じがしたんです。他は、例えば「手品師」でも、「約束を守る」ということイコール「誠実」っていうふうにつなげてるところが多かった。前日に電話かかってきて、それで、向こうも困ってるっていうようなお話、ほんまはもう6年生ぐらいになったら、そういう想像のつく子もあるのかな、とか思うんやけども、もうすぐにそっち側の誠実っていうところへ持っていくようなまとめのところの書きようだったので、それでええんかなとちょっと思ったりしたんで、言わしてもらいました。

#### 岩本選定委員

教科書によっては、学び方について、先ほどの「心のメーター」とか、ツールが非常に充実してる教科書と、そこら辺はあまり触れてないというか、任されている感じの教科書と2種あったと思うんですけど、そのツールが、有効的なのか。また、授業するのに型にはめられてしまうっていう、そんな心配とかは話に出なかったんですか。

#### 岩崎調査員

個人的な意見なんですけれども、自由に考えたい子もいる中で、やっぱりどう考えていいか分からんっていう子も教室にはいるので、そういった子にとったら、考え方のツールはとても有効だし、自由に考えたい子にとっても、そういったツールが全く有効ではないかという、そうでもないかなと思うので、みんながそういったツールを使って、より学びを深められるかなと思っています。

#### 北山選定委員

ノートのことなんですけれども、各社それぞれ工夫されたノートの作り方はされていると思います。例えば、光文書院でしたら、ノートは付いてなくて別売りのノートがあって、購入しないといけないみたいなんですけど、そういうのが付いている会社もある。デジタルコンテンツを読み取ると、ノートが出てくる。それでそこに記述していくというような取り組みの会社もあれば、別冊で付いている会社もあって、いろいろあると思うんですが、そのデジタルのは、読み取って、そこで打ち込むことができるんですか。私、ちょっと読んでみたんですけど、そこに文字を打ち込んで、それを写したりすることが

できるのかな、どうなのかと。一人一台端末に出てくると、それをどう活用してデジタルのノートを使うのかっていうのがちょっと分かりにくかったです。何か読んだら、それに書き込んだりとかして、それを写して、友達と考えとかを共有したりとかっていう授業を構成できるとか。それとか、それを先生が集約するときに、ペーパーじゃなくて、デジタル化したものを集約して、読み取るとかっていうようなことを書かれている分があったんです。その辺のところの扱いはいかがですか。

#### 加藤調査員

ちょっとそこまでは確認ができてないんですけども、一人一台端末を使えば、このワークシートを取り込んで、子供たち個人個人にデータを配布して、書き込んでもらって回収みたいなことはできると思うので、ちょっとどの教科書会社がそういうふうに使えようになっているか分からないんですけども、それは一人一台端末でできると思います。

#### 横町選定委員長

他、いかがでしょうか。他にご質問がないようでしたら、調査員の方々には退室させていただきます。ありがとうございました。

それでは、調査審議に移ります。皆さんには、教科書についての調査研究をお願いしていたところです。ただいまの調査員の報告や、各自お調べいただいたこととか、各社の特徴について、ご意見をいただきます。

#### 三宅選定委員

先ほどデジタル化のなかで「心のメーター」が使えるというのは、大変有効だと思いました。自分が担任をしていたころは、自分事として考えるというか、自分だったらというのは、あまり授業では扱わなかったけども、いじめが起こって、自殺が起こって、教科化される中で、やっぱり自分を大事にして行動に移していかなあかんという、道徳的心情だけじゃなくて、道徳的判断力、行動に移していく実践力が、だいぶ大事にされている。そんな中で、まず心のもの差しメーターみたいなもので、今自分はこんなふうに考えている。でも、今日勉強した中で、このように変わっていったという。個人差はあると思うんですけども、その授業の中で、自分の気持ちを振り返って見つめることもできる。そういったコンテンツがあれば、授業にも活用して、自分自身がどうかという、見つめて振り返る授業が可能かなというふうに思います。

#### 中井選定委員

東京書籍、すごくポエムが載っているんです。1年生から6年生まで全部読ませてもらったんですけども、子供たちも、5年生になったらこの言葉、6年生だったらこの言葉と、ポエム、その詩から子供たちに訴えるのがすごく充実しているんだなど。中身も、絵とか表情とか、いろんなところから見て、もっと読みたいなって、どんだのめり込んでしまうようなのが、全部の中ではここだったんです。あと、日本文教出版は、絵がすごい怖いとか、雲行きがこういうふうな感じとか、怒っている、困っている画がすごく多かったので、思春期の子供たちに道徳を教える中で、いじめとかいろんな分野を教えるいくんだろうけども、子供たちって繊細なので、絵から飛び込んでくる印象であったり価値観であった

り、そういうのがどうなのかなというところが気になる点でした。

#### 市川選定委員

今は日本文教出版ですよ。

#### 三宅選定委員

今、日本文教出版です。その前が Gakken。

#### 市川選定委員

日本文教出版には分冊みたいなのがついています。どの会社でもその分冊みたいなものは、例えば、パソコンを活用したら、ワークシートみたいなものが使える。それから、別に購入すれば買えるというようにあるんだけど、たぶんこれ、一緒に付いているということで、非常に扱いやすい。また、評価ということで考えると、ワークシートがなくてもこれに書き込んでいるので、先生たちは授業終わってすぐそれを子供と確認できるということがあると思うんだけど、実際はどうなんですかね、現場で。先生方がこの分冊というのがある方が、いろんな面で使い勝手がいいのか、それともそれほどでもないのか、というような。ただ日本文教出版がこれを付けているということは、やっぱり意味あると思うんです。そこら辺はどうですか。

#### 三宅選定委員

いろんな学校を回らせてもらって、だいたいみんな活用しています。先生は毎回授業が終わったあとは、必ず読んで、コメントを書いて返すということはされてきました。僕が教室に入って授業したときなんか、今日は書かないかと言われて、それはまたあとで担任の先生にと行って、そういうこともあったぐらい、子供たちは終わったあと自分の思いを書いて、先生に見てもらおうという意識があります。Gakken のほうは、割とあっさりというか、何もなくて、本当に文章と絵だけで割と考えさせるという、そういう意味で使いやすい。それまでだったら、自分がプリントを用意して、配って、書いて、回収というのがあったんですけども。もう一つ思うのは、やっぱり本県の教材がたくさん入っている。「やさしさのバトン」がもう既に入っているのが、この間びっくりして。去年の秋、教育委員会がある学校を通して授業をしてもらったという経緯もあって、自分も授業をしました。1回やってみて、絵本だったら長いんです。ものすごい長文で、その前に子供たちにまず読んでおいてもらって、読んで8分か10分ぐらいかかりました。授業をして、ものすごく感動的で、いいお話で、それが入っているんやなということで。やっぱり子供たちが感動できて、それが自分の思い、考えが、ああ、そういうことってすてきやな、大事やな、と思えるような教材がたくさんあることが大事。どの教科書でもあると思うんですけども。平和学習であったり、防災、震災のことであったり、やっぱり命に関わるような感動的な、そしてまた実話的なものは、ものすごく子供たちの心に響いて、考えさせる。どの教科書にもあるんですけども、多い少ないというのはあります。六つの教科書を比べたら、そんなふうには思いました。

#### 岩西選定委員

今、各教材のうしろに「考えよう」というようなコーナーで、発問のポイントのようなことが書かれ

ているんです。それぞれの出版社によって、子供たちに考えさせたり、それから振り返らせるような発問のポイントを書いている出版社もあれば、なかには、どうしてかな、なぜだろうというような、ストレートな聞き方で発問しているところもあるんです。出版社によって違う。そうしたら、指導する先生によって、教材研究をしっかりとされて発問される方と、それからこれに乗っかってそのままストレートに子供に発問して授業を流していくという方も中にはおられると思うので、そのあたりもやはり最後の考えようというところは、大事なポイントじゃないかなというふうに考えます。

### 三宅選定委員

このときはどんな気持ちでしたかとか、あまり今は聞かない。そういうふうな思いになったのはどうしてかな、というようなことを考える中で内容項目に迫った授業でないといけない。1時間で内容項目を深めていくっていうのはなかなか難しいからといって、気持ちを追って1時間、2時間続けていくわけにはいきませんので、年間35時間の中で、1時間の中できちんとした内容項目を深めていくという授業にしていかなあかんで、そういう意味では、そういった発問例があると、教師としては、特に若い先生は、こういうことを聞いていかなあかんでという一つの視点になればと思うんですけれども。

### 北山選定委員

先ほどのノートのこともそうなんですけど、自分の思いを書くとか、自分の心の変化を書くとか、すごく大事なことだなと、道徳の授業をして思うんです。だから、もちろんにここマークとか、顔の表情で自己評価をしている教科書とかも、それはそれで意味のあることでいいとは思いますが、やっぱりその心がどう動いたかとか、学習前の自分と学習後の自分、今の自分を振り返ったときに、思いを書くということができるような取り組みが日常化するような道徳の授業であつたらいいのになと思うんです。だからそういう意味で、教科書ってどういうふうに作られてるかなと。そのような観点ってすごく大事じゃないかなと自分は感じています。東京書籍さんであれば『心の力持ち』になろうということがばんと打ち出されているとか、光文書院だったらへこんでも立ち直るところをすごく強調されている。今、自分を、自分の命とか、自分が大事というところよりも、駄目だって思ってしまった、へこたれて、沈んでしまうっていう。そうじゃないんだよということを、最初から繰り返し取り上げていくということにも、道徳の価値があるなというふうに感じました。

### 岡部選定委員

先ほどの道徳のノートなんですけれども、日本文教出版の説明のときに、家庭との連携もということで、おうちの人からという欄もあるんです。保護者さんの立場で、もし子供さんが持って帰ってきて、じゃあお母さん、お父さん、ここ書いてよって言われたときにちょっと負担感があつたりだとか、逆に、子供たちはこんなふうに考えたんだと興味を持ったりできるとか、どうですか。道徳のノートを学期に1回持って帰ってきたときに、コメント書いてって子供さんが言われたときに、保護者の立場としてどんな思いで受け止められるのかというのを、率直に教えていただけたら学校としてはとってもありがたいんです。保護者さんと連携したい、保護者さんの思いも教えていただきたいということで、書いていただきたいという思いはあるんですけれども。受け手の立場ではどんなふうに感じますか。

#### 中井選定委員

私は正直困ります。文字にするのが。道徳の表現、自由さとか、その伝え方、言葉だったら娘に伝えるけれども、文字で書くと何かちょっと難しい。こんな話をしたっていう会話はするんですけども、文章で残る、文章で伝える、それを表現するとなると、何かもうがつつり、ママはこんな感じなのね、みたいな感じでとらえられると。

#### 岡部選定委員

確かに難しい。

#### 中井選定委員

道徳って子供たちの教材でもあるんですけども、これたぶん大人の教材でもありますよね。先生方もこの道徳の本を見て、熱い気持ちというか、伝えたい気持ちがこの教材から持ってこなかったら、授業展開してもうすごい何か面白くない授業になってしまう。だから先生たちが子供たちにこれを伝えたいと思えるような教材をチョイスしていただいて、それをその思いとともに子供たちに発信してもらったら、絶対に子供たちは家に持って帰ってくるので。先生がこんなこと言ってたよって、娘は絶対に言うてくるので。先生って、子供たちにとって大きな存在。先生が言っているという言葉は残るので、そういう教材、私たちが学べるような教材をチョイスして欲しいかなと思います。先ほどの質問の答えは、ちょっと困るということで、私は。

#### 津名選定委員

私は、道徳の授業のあと、子供がこんなことを学んだとか、自分なりに成長できたという話を伺える機会が多いのかなと思っています。普段は他の教科でこれを勉強したとかいうのはあまりないんですけども、道徳で子供が心を成長させてもらっているなというのはすごく思います。こんなにたくさん会社があって、そこから選ぶというのは、大変なことなんやなと思っています。

#### 横町選定委員長

他意見等ございませんか。

#### 湯川選定委員

この道徳の教材というのは、授業をする順番ってないよね。1番から番号を打ってるけども、子供たちの実態に応じてちょっと変えていくっていうのもあるよね。それはありなの。

#### 三宅選定委員

内容項目は高学年だったら22ありますので、それを1年間通してランダムに、1学期、2学期、3学期の内容項目をある程度考えてやっているとと思いますけど。例えば、思いやりを1学期でやったら、2学期にもまた思いやりが出てくるような配列にして。

#### 湯川選定委員

最近の子供の様子を見ていて、気になることがあったときに、この教材持っていったらいいなっていうときがある。そんなときに順番を入れ替えることもできるよね。

#### 三宅選定委員

それはできます。それは自由度があります。

#### 湯川選定委員

でも、経験のない先生っていうのは、順番に流すのかな。一般的に。

#### 三宅選定委員

別に順番に流さなくてもいいし、学習の中で、同じ内容項目で他の教材を持ってくることも可能です。

#### 横町選定委員長

他にございませんか。ないようですので、ただいま、ご審議いただいた内容を調査審議結果としてまとめることと決議いたします。長時間にわたり、調査審議、決議いただきました。ありがとうございます。それではこれもちまして第2回和歌山市立小学校中学校および義務教育学校、教科用図書選定委員会を終了いたします。



## 第3回 選定委員会の会議の議事録

書写、地図、外国語、家庭、算数 調査審議

## 会議録

### 1 日時

令和5年6月16日（金）

会議開始時刻 17:30 会議終了時刻 20:10

### 2 会場

教育文化センター 4階 大会議室

### 3 出席者

#### ○選定委員会

選定委員長	横町 真紀			
選定委員（学識経験者）	市川 圭造	岩西 啓子	梅本 優子	岡部 美代恵
	尾上 利美	貴志 雅代	北山 圭子	坂本 雅城
	塩谷 通功	三宅 秀夫	宮本 信吾	湯川 泰成
選定委員（学校代表）	岩本 浩志	前田 いさ		
選定委員（保護者代表）	津名 洋平	中井 亜希		

#### ○教科用図書採択事務局

事務局長	利根 功一	（教育局長）
事務局次長	前北 博文	（学校教育部長）
事務担当課長	岩本 信哉	（学校支援課長）
	西谷 宣昭	（学校教育課長）
	竹内 圭	（教育研究所長）
事務局員	北林 直樹	（教育研究所専門教育監補）
	岩崎 朝蔵	（教育研究所専門教育員）

### 4 議事

#### 横町選定委員長

お忙しいところ、お集まりいただきまして、ありがとうございます。本日は、17名の委員の方々に出席をいただいております。過半数の出席がございますので、和歌山市立小学校中学校及び義務教育学校、教科用図書の採択に関する条例第10条第3項の規定により、第3回和歌山市立小学校中学校及び義務教育学校、教科用図書選定委員会を開催します。本日は書写、地図、外国語、家庭、算数の順に五つの教科、種目について、調査審議をしていただく予定となっております。また本日の会では、和歌山市立小学校中学校及び義務教育学校、教科用図書の採択に関する条例第10条第5項の規定により、各教科、種目の調査員に調査資料の提供とその説明を求め、質疑応答を行うこととします。調査員退出ののち、選定委員の皆様で教科書の内容について調査審議をお願いします。調査審議に入る前に確認いたします。当選定委員会の責務は、採択権者である教育委員会に対し、各教科の指導内容に即した教科書会社ごとの特色と工夫についての専門的、具体的な審議結果を答申として取りまとめ報告するところで

す。今回調査研究するすべての教科書は、文部科学大臣の検定を経たものであり、当選定委員会においては、どの教科書が適切であるかということ協議することを目的としていないと再度確認したいと思います。ご理解ご協力をお願いします。

---

## 書写

### 横町選定委員長

それでは本日の開催要項どおり、まず書写の調査員に入室していただき、調査内容の報告をしていただきます。

### 田中調査員

書写調査員の、高松小学校、田中康博です。

### 北山調査員

新南小学校、北山友梨です。

### 宇治田調査員

三田小学校、宇治田乃です。

### 嶋田調査員

小倉小学校、嶋田裕子です。

### 田中調査員

東京書籍、教育出版、光村図書の教科用図書について調査結果をご報告します。はじめに東京書籍です。東京書籍の特徴は、最初のページになります。見開きで「おかしな○○」があります。これが各学年の問題提起のようなものになっており、それぞれの学習と「書写のかぎ」というものに対応していて、問題解決学習のような場面設定がされています。また「書写のかぎ」では、学習での大事なポイントがまとめられていて、巻末で一覧することができます。また書写の学び方「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」「ふり返ろう」「生活に広げよう」と提示されていて、学習に見通しが持てるようになっています。また「学びを生かそう」では、具体的な言語活動が教科とともに示されています。他にも、表紙の裏にページに小学校書写の学びがインデックスで示されており、色分けされた内容が、学習ページと同じになっています。1年生4ページから5ページをご覧ください。鉛筆の持ち方と手の置き方の写真があります。それぞれの写真が実物大に近く、真似できるようになっています。また次のページの運筆を学習するページにも、持ち方、手の置き方の写真があり、確認することができます。

次に教育出版です。どの学年にも、最初のページに各学年での学習を生かすテーマが紹介されています。1年生「みつけてみよう、かいてみよう」2年生「もっともっと、書きたいね！書いてつたえたいね！」3年生「なぜ、毛筆を学習するの。」4年生「どんなときに、手書きで書く」5年生「書いて伝えよう」6年生「世界の『書く』日本の『書く』」などです。1年生の4ページから7ページをご覧ください。正しい姿勢、正しい鉛筆の持ち方の学習では、合言葉を用いて、お箸の持ち方と鉛筆の持ち方をつ

なげて示しています。また、初めて毛筆を学習する3年生では、毛筆を学習する意義を漫画で伝えています。5年生の13ページをご覧ください。学習の始めと終わりに「書こう」というところがあり、試し書きとまとめ書きを書き込むことで、学習前後の字を比較することができます。これらは3年生以上の学年にあります。さらに、各学年の最後に学習のまとめがあり、学習してきたことから、自分のめあてを決めて学習する場面が、3年生以上の学年で設定されています。

最後に光村図書です。光村図書には「書写体操」があり、児童が書写について興味を持つことと同時に、正しい姿勢や心を落ち着かせて学習に取り組めるような工夫がされています。これらは1年生と、毛筆を初めて学習する3年生に動画付きであります。また「学習の進め方」「考えよう」「たしかめよう」「生かそう」が提示されていて、見通しを持たせる工夫がされています。また「ふりかえろう」の欄にチェックすることで、学びを確認できます。他にも、1年生には「スタートブック」3年生には「毛筆スタートブック」4年生には「SDGsブック」6年生には「書写ブック」など学年に合わせた「〇〇ブック」が設定されています。国語科の教科書に採用されている文章がお手本として掲載されており、直接書き込める箇所が多いことも特徴です。2年生16ページをご覧ください。『スイミー』の教材文が使われています。3年生48ページをご覧ください。このように、学年のまとめがすべての学年にあります。1年間の学習を振り返り、学んだことを再び意識させて課題に取り組むことができます。1年生6ページをご覧ください。右利き左利きのそれぞれに対応できるように、写真だけではなく、一つ一つに二次元コードが設けられて、動画で確認することができます。最後に水書用紙です。光村図書の水書用紙には、水書用紙が大きく、マスが入っているのも特徴になります。以上で各社の報告を終わります。

#### 横町選定委員長

ありがとうございました。それでは、各選定委員の皆様方からご質問はありませんか。

#### 岩西選定委員

詳しくご紹介していただき、ありがとうございます。学習の進め方については、3社ともよく似ているかと思うんですけども、話し合いの活動についてはそれぞれどんな特徴がありますか。

#### 北山調査員

3社ともスタートの段階でそれぞれ使ってる言葉は違うんですけども、こんなふうに進めていくという学習の進め方は同じように載っていました。教育出版には、話し合い活動とあって、グループでこういうことを話し合ってみようというテーマ、話し合いの視点が載せられてるので、書写の活動をしたあとに、グループでそのテーマに沿って話し合いができるというように設定されています。

#### 宇治田調査員

東京書籍は、各単元でこのようなマークで、話し合いのテーマが掲載されているという特徴があります。光村図書は特に毎時間という設定はないようです。

#### 岩西選定委員

分かりました。ありがとうございます。

#### 岩西選定委員

もう1点お願いします。3社とも巻末に水書用紙が付いているんですけども、実際に授業でこの水書用紙を使っただけの学習はされているんでしょうか。もしされているのであれば、どういう成果があるか、こういう長所がありますっていうのをお聞かせ願えたらありがたいんですけども。

#### 北山調査員

私が1年生を担当したときに活用したことがあるんですけども、水で書いて乾いたらまた書き直しができるので、子供たちはすごく興味を持って取り組んでいました。書き方鉛筆だったら少し筆圧が弱い子でも、自分の書いた線がくっきり見えるので、書くのが苦手という子もあるんですけども、なぞったところに線が写っていくので、気軽に、そんなに力がなくても書いていける良さはあると思います。

#### 岩西選定委員

筆はどんなのを使っていますか。水書用紙に書くときの筆。絵の具筆を使っているのかどうか。

#### 北山調査員

絵の具筆というか、形状は毛筆のこま筆みたいな形のもので。

#### 岩西選定委員

ありますよね。あれを持たせてということですよ。

#### 北山調査員

はい。軸のところに水を入れられるようになっているタイプのものです。

#### 岩西選定委員

書写の授業の研究をしているところでは購入して使っているという感じですよ。普通の学級では特にそれを購入してということは少ないんですか。

#### 宇治田調査員

1年生以外ということですか。

#### 岩西選定委員

1年生以外とか、書写を研究していない一般の学級では。

#### 北山調査員

一般の学級でも使っているところもあります。

#### 岩西選定委員

筆ペンみたいなものですよ。

#### 北山調査員

そうです。絵の具筆だったら、穂先があまりしゅっとなっていないものが多いですけど、毛先が毛筆のこま筆みたいになっていて、軽くて持ちやすいようになっています。でも、使うとなったら1、2年生が中心です。3年生になったら毛筆が始まりますので。

#### 岩西選定委員

分かりました。ありがとうございます。

#### 三宅選定委員

前、自分がいた学校でも、1、2年生は水書用紙を使って学習してたんですけども、これは東京書籍にも付いてるんですよ。

#### 北山調査員

はい、付いてます。全部。

#### 三宅選定委員

それはマスもですか。

#### 北山調査員

3社とも水書用紙は付いていますが、マスが付いているものや、運筆のようになぞれる線が付いているもの、何もなくて水書用紙だけのものもあります。

#### 宇治田調査員

教育出版は、運筆のこういうのを書いてくれているものです。光村図書はマス目があります。東京書籍が無地のものとなっております。大きさは光村図書が一番大きいです。

#### 湯川選定委員

私は左利きで、今、左利きの子って結構いますよね。その子たちの指導というのはやはり気になります。東京書籍は、左利きの子も大事に扱われていると思うのですが、その辺どうですか。

#### 北山調査員

おっしゃるように、左利きで書く子も多いので、それに合わせて、3社とも右利き用と左利き用が載ってます。でも東京書籍が一番大きく取り上げています。先ほどもありましたように、運筆のところでも、手の押さえ方も両手とも載っているというのはありました。

#### 宇治田調査員

東京書籍の写真が大きいです。光村図書にもありますが、ここに紹介されている感じです。教育出版は、大きさでいうと中ぐらいです。3社とも扱われています。

#### 湯川選定委員

指導者としてどうですか。難しさ。右利き左利き両方の子がいると、指導しにくさというのもあると思うのですが。

#### 嶋田調査員

特に毛筆は、はらいのように右利き用にできている部分もあって、筆使いによっては左だと書きにくいと思えるようなこともあります。でも最近は多様性を重んじているというか、毛筆も左利きの持ち方が掲載されているなどして、筆づかいに慣れるというような指導になっていますので、今後もそのような形ではないかなと思います。以前は、できれば右利きに、毛筆は右利きでみたいな時代もあったかと思うのですけれども、そういうのではなくなっているようです。

#### 宮本選定委員

私も湯川委員と同じで左利きなんで、左利きの指導についてどうかなと思っていたところがあったんです。東京書籍が教科書で大きく扱っているということは見て分かったんですけども、光村図書のアプリというのは、どの程度左利きの指導が出てきているのか、もし確認されていたら紹介していただけたらありがたいんですけども。

#### 嶋田調査員

二次元コードを読み取って見る動画になっています。写真だけじゃなく、どのようにして持つかというようなことが分かるように、実際に持って書いているところが動画で紹介されています。

#### 北山選定委員

2点お尋ねします。1点は、内容量で3社の比較をされていたら教えてください。3社それぞれの学ぶ量です。一つのことに対するページ数とかで比較されたものがあれば教えていただきたいと思うのが1点目です。もう1点は、市民憲章だったり競書会であったり書初会だったりに書写の時間を充てていると思うんですけども、その時間と併用していくという視点で、もしお話されていれば教えていただければありがたいと思います。

#### 嶋田調査員

3社とも内容量はよく似たもので、特にどの会社のページ数が多いということもなかったように思います。和歌山市の場合は、書写教育に力を入れてこられて、もう70何年間たっているかと思うんですけども、教科書の内容がおろそかにならない程度に時間配分を考えて、各担任が取り組まれているのが現在の様子だと思います。各学校を調査したわけではないんですけども、その中で、教科書の内容と共通して指導できるところもありますので、うまく組み合わせを進めてくれていると思います。

#### 横町選定委員長

他、ございませんか。他に質問がないようでしたら、調査員の方々には退出していただきます。ありがとうございました。

それでは調査審議に移ります。皆さんには教科書についての調査研究をお願いしていたところです。ただいまの調査員の報告や、各自お調べいただいたことから、各社の特徴についてご意見をいただきます。

#### 市川選定委員

先ほど、市民憲章や競書会があるというお話がありました。1年生なんかは特に、初めにひらがなを習いますよね。そのひらがなの文字の練習があつて、競書会があつて、この教科書があるということになります。ひらがなのれんしゅうばかりすることになります。例えば、今は教科書のワークは皆買うんですか。昔はよく買っていましたが。今はそんな時間、たぶんないんですよね。だから教科書に書き込むのですか。

#### 岩西選定委員

ワークっていうのは、書写のためのワークですか。それは買ってないのかな。

#### 市川選定委員

水書というのは以前はなくて、フェルトペンでした。フェルトペンって案外筆圧使わない。筆圧が弱い子供でもしっかり書ける。書写で、水書というのは主に何を大切にされてるんですかね。

#### 岩西選定委員

たぶん先ほどお話があつた、筆圧を体感できるということだと思うんです。それと、はらいやはねとかいうのが、鉛筆だったらはねてても止まってしまう。ぱっとはらわなくて、きゅって止まってしまう。それが水書の筆だったら、しゅっとはらうことができるので、そういう、はらいとか、はねとかを体感できるっていうのかな。それを毛筆の3年生につないでいくっていうねらいでしているんですけども、先ほど私も聞かせてもらったのは、前回ぐらいから各社出てきてるんです、この水書。でも和歌山市でいうと、非常に時間が限られた中で、確かにいいことは分かっているんだけど、それを実際に皆さん活用できているというのが先ほど聞いたかったので、質問させてもらったんです。ねらいは先ほどおっしゃったように、体感できるっていうことですよ。それを鉛筆で、はねるのよ、はらうのよ、って言っても分かりにくい。でも水書用の筆ですと、しゅっといったり、止まってびゅって、はねられるって。それが分かって鉛筆につながる。こういうことかかっていうことで、鉛筆につながる。それが3年生からの毛筆につながるっていうので、いいことは確かにいいんです。ただ時間的に難しい。入れていくのが。

#### 宮本選定委員

今の岩西委員のお話を聞いて、擬音が入ってましたよね。ぎゅっとか。教科書の中にも、すーっときて、ぴたっとか、擬音を入れてる教科書と、入れてない教科書あつたかなと思ったけれども。



岩西選定委員

入ってるのは、各社入ってます。

宮本選定委員

全部入ってましたか。

岩西選定委員

入ってます。1、2年生で入ってて、3年生も筆が始まるので入っています。

宮本選定委員

学年によって入り方が違うんだ。

岩西選定委員

はい。キャラクターを変えているというのはありますし、擬音の言葉の内容のちょっとした違いって  
いうのはありますけれども、入れています。

横町選定委員長

他、ございませんか。それでは、ただいまご審議いただいた内容を調査審議結果としてまとめるとい  
うことよろしいでしょうか。それでは、審議した内容を調査審議結果としてまとめることと決議いた  
します。

—地図—

---

横町選定委員長

続きまして、地図の調査員に入室していただきます。それでは地図についての調査審議を行います。  
まず調査員から調査結果の報告をお願いします。

笹田調査員

地図調査員の西脇小学校、笹田直紀です。

松尾調査員

木本小学校、松尾光孝です。

笹田調査員

東京書籍、帝国書院の教科書について調査結果をご報告いたします。まず、東京書籍について紹介さ  
せていただきます。内容については、お手元の資料をご覧ください。特筆すべき点について3点紹介さ  
せていただきます。1点目ですが、97、98、99ページの3ページで、日本に起こった自然災害に  
ついて示されているページがあります。このページでは、日本では自然災害が非常に多い国であるとい

うことが捉えやすくなっており、写真によって、どのような災害が起こったのかが分かりやすく示されており、このページを通して子供たちが防災学習に興味・関心を持つことができるように工夫されていると思います。2点目は、イラストや写真、またはキャラクターの吹き出しなどによって、都道府県や各国の特徴が紹介されており、子供たちにとって分かりやすい仕組みとなっているというところですね。39、40ページを見ていただきますと、愛知県の自動車工場の特徴について、キャラクターが吹き出しで紹介している部分がございます。この吹き出しの部分は、先生にとっても子供たちに地図の特色を示しやすいように工夫されています。3点目は、他教科との関連についてです。社会科をはじめ、外国語や道徳、家庭科など、さまざまな教科で活用できる要素が掲載されています。例えば81ページを見ていただきますと、日本の伝統文化について示されています。これは道徳でも伝統文化について考える内容がございますので、他教科での活用ができるかと思えます。82ページには日本の食文化、また62ページには、世界のさまざまな料理などが示されており、家庭科での活用もできるかと思えます。以上3点が、東京書籍の特筆すべき主な特徴となっております。

続いて、帝国書院について紹介させていただきます。先ほどと同様、内容についてはお手元の資料をご覧ください。特筆すべき点について3点紹介させていただきます。まず1点目は、125、126ページにSDGsについて示されたページがあります。このページでは世界が抱えている問題について示されており、持続可能な社会を目指して子供たちが積極的にSDGsに関わろうとすることができるようになっていると思います。右上や地図内を見ていただきますと、そのSDGsに関係する資料が示されているページが分かるようになっており、例えば70ページには、江戸時代のSDGsについても見るようになるようになっています。2点目は、社会的な見方、考え方を働かせられる工夫があるということです。59ページを見ていただきますと、先ほどと同様、愛知県のページがございますが、愛知県の地図上に自動車のイラストが多数散りばめられており、これを見た子供たちが、愛知県では自動車工業が盛んなんだなど自ら気付くことができるようになっております。3点目は先ほどと同様ですが、他教科との関連についてです。社会科をはじめ、外国語や国語科、音楽科などさまざまな教科で活用できる要素が掲載されており、例えば89ページを見ていただきますと、スコットランドのところに「蛍の光」やバグパイプについてのイラストがあり、曲や楽器のふるさを知ることができるようになっております。こういった面は、音楽科での活用ができるかと思えます。また92ページを見ていただきますと、「母をたずねて三千里」や「ロビンソン・クルーソー」などのイラストが載っており、物語の舞台が分かるようなつくりになっていますので、国語科等での活用もできるかと思えます。以上3点が、帝国書院の特筆すべき主な特徴となっております。

#### 横町選定委員長

ありがとうございました。それでは各委員の皆様からご質問はありますでしょうか。

#### 市川選定委員

社会科の学習をするときに、地図帳というのは、教科書を補うという要素が強かったり、子供が自分1人で学習するときに使ったりとか、そういうことが多いと思います。教科書以外で、社会科の授業では5年生6年生あたりは資料集を購入することが多いと思うんですが、最近はどうなんですか。例えば5年生が、別売りの資料集を購入するっていうことは、先生の側からどう思えますか。

#### 笹田調査員

私の学校では5年生、6年生は資料集を別で買っています。

#### 市川選定委員

全体的にどんな感じなんでしょうか。というのは、以前の地図帳よりも資料集的な中身が多くあって、ずいぶん詳しいと思うんです。だから資料が多くて、活用が十分できないんじゃないかと。例えば明らかに帝国書院の方がページ数が多い。東京書籍よりもかなり多い。だからその分、たぶん資料も多くなってるんです。そういう意味で、資料過多になっているというようなことは感じられたことはないですか。

#### 笹田調査員

個人的な意見になってしまうかもしれないですけど、もし6年生で資料集も地図帳も教科書も机上に並べて、そこから情報を選び出ささいというようなことをしたら、資料過多の部分はあるかなとは思っています。実際、地図帳で調べるというのもこちら側が結構意識しないと、子供たち自ら、よし、地図帳見ようというところまで指導できていない実態はあるのかなというのは思います。全体がどうかっていうのはちょっと分かりません。

#### 松尾調査員

ページ数が多いことについては、帝国書院は、9ページから20ページでまずは3年生や4年生の子たちが使うようなページがあって、そのあと33ページから88ページで今度は高学年の子たちが使うような地図を取り扱っているので、その分ページ数が増えていると私は考えています。

#### 岩西選定委員

東京書籍の地図帳で「マップでジャンプ」という質問みたいなクイズみたいなものがあるんですけども、問題を見て、解答はどこにあるのだろうと思って。解答を探せないんです。どこに載っているのでしょうか。

#### 松尾調査員

帝国書院にも「地図マスターへの道」というのがありまして、その答えが後ろの方にぎゅっとまとめて載ってありますよね。東京書籍の方は、少しお待ちください。

#### 岩西選定委員

問題が70問近くあって、楽しいんだけども、さて答えはと思って探してもみつからないんです。

#### 笹田調査員

帝国書院の方は、1番最初のページに詳しい使い方と問題の答えはここですというのが示されているんですけど、東京書籍の1問目に当たる問題の答えは、地図帳のページ内にはないですね。

#### 北山選定委員

すいません、私もそれ見たんですけど、載ってなかったと思います。

#### 岩西選定委員

ないですよ。後ろの方も索引をずっと調べたんですけども。楽しみながら問題に答えるけれども、正解かどうか分からないので、確認したいと思って探したんですけども、分からなかったのでお伺いしようと思ったんです。もし載ってなかったら、私と一緒に、子供たちも答え分からなかったらもういいかってなるんじゃないかなと思いました。

#### 前田選定委員

その答えなんですけど、二次元コードを読み取ると答えが出てくるのかと思います。

#### 岩西選定委員

読み取らないと答え出ないってことですよね。

#### 前田選定委員

そうだと思います。

#### 横町選定委員長

他、ご質問はございますか。他にご質問がないようでしたら、調査員には退室していただきます。ありがとうございました。

それでは調査審議に移ります。皆さんには教科書についての調査研究をお願いしていたところです。ただいまの調査員の報告や、各自お調べいただいたことから、各社の特徴等についてご意見をいただきます。

#### 湯川選定委員

今、話題に挙がっている「ホップステップ マップでジャンプ」って、なかなか面白いけれども、授業としてどう取り上げていくのかなと思いました。地図帳の学習をするという時間を取って、何問か解いていく形になるのかな。子供たちには、地図帳面白いなという、興味が出てくると思うんですけども、今まででいうと、社会科の学習をしている中で、一度地図帳をしてみようかという感じで使ってきた感じですよ。今は地図帳の活用というものがどのようになっているの。

#### 市川選定委員

地図帳の情報がとても詳しくなっています。ちょっと前までなら、例えば教科書に出てきた場所や位置関係を調べるわけです。そういうのに使っていたのですが、今はそれ以外の情報が満載という地図帳になっています。だから、授業で地図帳の情報を丁寧に扱うというようなことはもうたぶんできないんです。例えば子供が学校で自動車工場について学んだ。それを家庭とか教室で一人学習するとなると、

インターネットで検索する、教科書を見る、資料集を見る、そして地図帳も見る。このすべての情報を網羅することはできないけれど、子供が自分で調べるためにある道具の一つが地図帳です。だから、他の教科書のように載っているものすべてを網羅するという扱いはちょっと違ったものになると思います。ページ数でいうと、帝国書院が多いんです。情報量も明らかに多いです。一つの地方について見てもページ数が多い。3年生が初めて地図に関わったときに学びやすいというのをすごく考えて作っている。東京書籍は地図で学習するというようなスタイルをとっている。印象としてそれぞれの特徴はそういうところなのかなと。ひょっとしたら、学習のスタイルによって使いやすい、使いにくいって出るのかなという気はします。

#### 宮本選定委員

私も、二つの会社の違いがどこにあるのかなと思ったんです。国の領土が分かるように色分けしているところで、帝国書院はサハリンの南側の部分をどうして白く表しているかという説明が32ページに書いてありました。東京書籍も白くなっているけど、どうして白くしているかという説明を私は探せなかったんです。日本の北にあって、ここが白くなっているっていうのは、子供もどうしてかなと思うと思います。先生もそのことについて聞かれたら答えられるのかなと。やっぱりその説明、東京書籍は探せなかっただけで、もしあったならいいけど、なかったらちょっと困るのかなと思いました。

#### 市川選定委員

領土については、帝国書院の方がひと目でここには北方領土、竹島、尖閣諸島というのが分かるように載っているんです。東京書籍の方は、それぞれの地域、地方を見るときに、竹島であったり尖閣諸島であったりっていうのが出てくる。子供が、領土を全体的にパッと見たときに、なんでここ白色なんやろって課題を持つのは、こういう形の方かなとは思いますが。

#### 中井選定委員

先ほど、東京書籍の問題の答えが二次元コードで検索したら出るということがありました。一人学びを家庭や学校など多様な場所でするにあたって、例えば家庭ではどうやって二次元コードを活用するのでしょうか。いろんな家庭があって、すべての児童が携帯を持っているわけでもなく、パソコンを持っているわけでもなく、学校から与えられた一人一台端末というのは学校に保管していることもあるので、毎日それを持って帰るわけではない。そのときに次の日また学校に行ってその答えを二次元コードから調べてという形になるのでしょうか。他のすべての教科書にも二次元コードは載っているけれども、家庭学習のときにどういうふうに学校側が家庭へ求めていくのかなというのが疑問なんですけれど。

#### 市川選定委員

まず、教科書に載ってる全ての二次元コードを読み取って学習を進めるというのは不可能です。実際は、自分が興味のあるところを見るということになると思います。最近の教科書、特にこの地図帳に二次元コードが載ってるのは、日本全国で児童生徒に一人一台の端末が配付されたということからスタートしてます。和歌山市でも、ただ端末が配布されただけではなくて、持ち帰り用のかばんもあります。教育委員会は、持って帰って活用するというのを推奨してくれています。ただ、例えば1年生の子が、

荷物が多いのに毎日持ち帰りできるのか、というようなこともあります。でも高学年になれば、学校の実態、通学の距離の長い地域や近隣から通える地域で違いますが、ずいぶん持ち帰っている子供が増えています。だから家庭でも活用できるということで進んでいるんですが、実際に全員毎日持って帰るかといったら、そうではない。授業や学級の事情に応じて、今日はちょっとここの二次元コードから調べておいで、だから全員持って帰りなさいよ、というような教員の指導が入るところかなと思います。

#### 中井選定委員

これからはどんどんそう変わっていくということですか。

#### 市川選定委員

そうです。特に新型コロナの影響で家庭学習の期間が長くあったということで、子供たちもずいぶんそういうつもりにはなっているかなと思います。

#### 横町選定委員長

他、ございませんか。それでは、ただいまご審議いただいた内容を調査審議結果としてまとめるということで、よろしいでしょうか。それでは、審議した内容を調査審議結果としてまとめることと決議いたします。

---

#### —外国語—

#### 横町選定委員長

続いて、外国語の調査員に入室していただきます。それでは、外国語についての調査審議を行います。まず、調査員から調査結果の報告をお願いいたします。

#### 道本調査員

外国語調査員の有功小学校、道本美月です。調査結果をご報告いたします。まず、すべての教科書のおおむねの特徴を、7点お伝えいたします。一つ目、教科書のサイズはB5ワイド版が2社、A4版が4社です。二つ目、文字や色等において、ユニバーサルデザインをすべての社で取り入れています。三つ目、二次元コードはすべての教科書に付いています。二次元コードを読み取ることによって、音声を聞いたり、関連資料を見たりすることができ、家庭学習の補助にもなります。四つ目、4技能5領域、つまり聞く、読む、話す、この中でやり取り、発表を含め、そして書くを使う演習では、分かりやすいイラストでアイコンを付けています。五つ目、文部科学省が英語教育で進めている学習目標達成のためのCAN-DOリスト、またはそれに準ずるものを載せていて、学習の目標を明確化しています。CAN-DOリストとは、英語を使って具体的に何ができるようになったかを明確にしたものです。六つ目、6年生では、小学校生活の思い出に関する発表活動が設定されており、中学校生活または将来の夢へと発展していく構成になっています。七つ目、アルファベットの高さや形を習得するための4線の幅については、各社で微妙に違ってきます。

#### 森川調査員

まず、こちらの教科書会社の4線は、ほぼ同じ幅に設定されています。対して、こちらの教科書会社のものは、基本線と上の線が少し広めに幅がとられています。

#### 道本調査員

その使いやすさについては、できるだけ中学校の4線に近いほうがいいのかなという意見もありますが、それも様々だと思います。これら7点の特徴については、以前の教科書から踏襲されていますが、今回の改訂では現代的な課題がさらに多く盛り込まれていました。環境問題をはじめとするSDGsの問題、人種、性別、障害等の多様性に配慮した紙面構成、ICTの活用等が取り上げられています。では、教科書会社別に報告いたします。まず、東京書籍「NEW HORIZON Elementary English Course」です。2年間の児童の発達段階を考えた構成になっています。5年生は、自分から地域、地域から日本へと徐々に範囲を広げながら学習できる構成です。6年生は、日本から世界に焦点を当てた学習内容になっています。内容の特徴としては、国語、道徳、家庭科などに関連させたCLIL。CLILとは主に英語を通して、何かのテーマや教科を学ぶ学習形態が取り入れられています。会話を続ける表現例や発表に関する表現例などが單元ごとに示されており、会話や発表の質を上げる工夫が見られます。単語の発音、はじめの音と終わりの音に特化して慣れ親しむ練習が、各活動とつなげられています。また、今から例示しますが、左利き児童への配慮がされています。

#### 森川調査員

まず、右利きの場合は、教科書の左側から字をなぞり、そのまま右側に書く練習を進めていくことができます。対して、左利きの場合は、教科書の右側の字をなぞって、そのあと左側にどんどん練習していくことができるようになっています。

#### 道本調査員

続いて、2社目、開隆堂「Junior Sunshine」です。目次、各レッスンの冒頭見開きに、それぞれのゴールを示し、活動目標も併記されています。單元ごとに、5領域3観点のどれを重点的に評価するか、1年間でバランスよく計画されています。他教科との関連について表記されており、教科横断的な活動が明記されています。

#### 森川調査員

例えば、こちらはLesson4「I can draw pictures well.」の内容ですが、この右下に、SDGs、理科、特活、音楽、体育、図工と関連した活動ができると表記されています。

#### 道本調査員

「Let's say it.」というコーナーでは、あいづち表現などを記載し、よい聞き手になることも図る工夫がされています。第1巻と第2巻が接続できるように、第1巻では地域から日本、第2巻では日本から世界へと、考えを広げられるように構成されています。

3社目、三省堂「CROWN Jr.」です。自分で目標を設定することで、主体的に問題解決に向かえる内容になっています。ややレベルが高い内容になっていますが、中学校での学習につなげやすい学習構成

になっています。目標設定と問題解決についてご説明いたします。

#### 森川調査員

自分で目標を設定することができるように、Unitごとに「My Goal」が設定されています。このUnitの場合は、おすすめの場所を紹介しようとなっており、「HOP」「STEP」「JUMP」で、紹介したい場所やその場所の魅力について伝えられるので、紹介したい場所とその場所の魅力を、先に自分でめあてとして書くようになっています。

#### 道本調査員

また、社会、国語、理科など、他教科と関連させたCLILの考え方に基づく学習内容です。複式学級に対応できるように、言語活動がスパイラルに配置された指導計画が示されています。各単元2回から4回、5分程度の帯活動があったり、単元末のコーナーで1年をかけて英語の文字と音の関連を学習できたりします。

4社目、教育出版「ONE WORLD Smiles」です。レッスンごとにイメージキャラクターが単元のゴールを端的に説明しています。外国語活動とのつながりが意識されており、3、4年生での学習を振り返りながら、5、6年の外国語科に取り組める構成になっています。

#### 森川調査員

まず、巻末にあるシールをご覧ください。こちらは、「What do you want?」というやり取りをしてピザの材料を獲得し、それを使ってピザを完成させるという、4年生の活動を活用したものです。やり取りをして獲得したもののシールを教科書に貼るという活動が設定されており、外国語活動とのつながりがすごく分かりやすい構成になっています。

#### 道本調査員

また、社会、道徳、人権など、他教科との関連がよく考えられています。話す、やり取り、発表や、聞く活動は、各単元に入っていますが、各活動が精選されており、児童が取り組みやすい内容になっています。イラストや図表、写真などが多く使用されており、視覚的に理解しやすくなっています。発表している様子を動画で撮影することを目標にしている単元があり、ICTの活用も工夫されています。

5社目、光村図書の「Here We Go!」です。すべてのUnitには、学習全体の流れと単元のゴールが示されています。児童のコミュニケーション能力の向上が図れるように、既習表現を意図的に使う活動が取り入れられています。

#### 森川調査員

まず「Small Talk」というテーマを設定し、それについて英語でやり取りをするという活動が、各単元で設定されています。この単元の場合は「What food do you like?」というテーマに沿って話をする設定されています。また「Plus One」という表記もされており、例えば、やり取りをする際に「Plus One」でもう一つ質問を試みまじょうと提示されています。この場合だと「What animals do you like?」「I like dogs. Do you like dogs?」というように、好きなものを聞き返す「Plus One」の表現が紹介



されています。また、そのときの答え方も既習表現を繰り返し使える構成になっています。

#### 道本調査員

第1巻では、自分や身近な人のこと、地域のことを伝え合う活動に焦点を当て、第2巻では、日本から世界、自分の将来のことへと、順に目を向けられるような内容構成になっています。アルファベットの読み方と書き方を丁寧かつ楽しく学べるようになっており、文字指導が充実しています。

続いて6社目、啓林館「Blue Sky elementary」です。簡単なやり取りや発表の活動で学んだことを活用できるようになっています。各ステップでの学びや思考を生かし、そのUnitのゴールとなる言語活動に取り組めるようになっています。コミュニケーションを図る上で大切なこと、ジェスチャーの活用やあいづちなどが最初に示され、それらのフレーズや表現を見ながら活動が行えるように、巻末には付録シートが付いています。第1巻では世界のことを、第2巻では日本のこと、自分の町のこと、自分自身のことというように、だんだんと自分に迫っていく構成です。写真、絵図、表、児童の作品例を多く取り入れ、視覚的に理解を深めたり、興味を持たせたりするように工夫されています。

#### 森川調査員

例えば、5年生では教科書のタイトルにもあるBlue Sky、空の写真を印象的に使っています。このように写真を多く使っているのがこの教科書の特徴でもあります。続いて、6年生では世界地図が掲載されており、この教科書で取り上げられている国が緑色で表されています。

#### 横町選定委員長

ありがとうございました。それでは、選定委員の皆さま方からご質問はありますか。

#### 尾上選定委員

今日の話の中にはなかったんですが、Picture Dictionary、語彙をまとめた冊子がほとんどのところで付いているんですけども、それについて、調査員の先生方が、これはすごくいいなとか、そういうお話がもし出ていたら教えていただきたいと思います。現行の教科書では「NEW HORIZON」しか付いていなかったの。

#### 道本調査員

子供たちの持ち帰りの負担であるとか、教室での管理の問題とかいうことはさておいて、内容が大変豊富になっていることは、今回の教科書で評価できることだと話し合っております。

#### 尾上選定委員

そのPicture Dictionaryなんですけど、索引が後ろに付いているものと付いていないものがあるって、索引が付いているとだいたい単語のカテゴリーごとに配列されているんですが、カテゴリーから外れたものを調べたいときには、索引があるととても便利だと思うんですが。どちらかというのと英辞典みたいなイメージで使えるかなと思ったんですが、それについてはどうですか。

#### 道本調査員

子供たちの使いやすさからいけば、索引があると調べやすいと思います。

#### 森川調査員

教科書会社によっては、3、4年生や5年生で取り扱ったものに印をつけているので、そういった面では、どれが新しい単語なのかというのがひと目で分かるような工夫がされているのかなと思います。また、全部の Picture Dictionary に二次元コードが付いているので、自宅でも発音の確認などに活用できるようになっているのかなというふうな話もありました。

#### 道本調査員

こちらの Picture Dictionary 場合は、中学校でもよく使うよってというような単語に星印が付けてありました。以前より薄い感じで、取り外しも簡単で、持ちやすいという印象は受けました。

#### 中井選定委員

調査員の先生の発音がきれいで聞きやすかったです。小学校で英語を学習するようになって、どの教科書を採用されたとしても、先生の発音についてはどんな感じなんですか。

#### 道本調査員

教科書には音声教材が付いていますし、デジタル教科書もあります。子供たちはもちろん自分の大好きな担任が英語を話してくれるということにとっても嬉しさを覚えて、僕も話してみたいなっていうことはあると思います。ただ、以前から担任の発音を真似してしまうのはどうかという考えはあります。子供の耳はいいですから、ちゃんと聞き分けて、お手本の真似が出来るので、心配ないと思います。

#### 市川選定委員

私が勤務していた学校は、何年か続けて外国語専科の先生が入ってました。今は和歌山市内の学校での専科は3分の1ぐらいかな。半分は行ってないですか。

#### 道本調査員

行ってないですね。

#### 市川選定委員

先生の中には、英語専門という方もおられます。中学校で英語の授業をされていて、今は小学校でやっていると。そうすると、やっぱり学級担任が授業をするのと授業のつくり方や時間のかけ方が多少違いますよね。そんな中で、これは担任にとったら使いやすいとか、これは専科にとったら使いやすいとか、そういうのって教科書の特徴としてあるんですか。

#### 道本調査員

内容からして、これはおしなべてすべての先生が使いやすいだろう、これは専門的なことを知ってい

る人は嬉しいだろう、これは先生が工夫して教科書の内容に付け足して授業ができるなっていうような、そんな違いはありました。

#### 横町選定委員長

他、ご質問はございませんか。それでは他に質問がないようでしたら、調査員さんには退室していただきます。ありがとうございました。

それでは調査審議に移ります。皆さんには教科書についての調査研究をお願いしていたところです。ただいまの調査員の報告や、各自お調べいただいたことから、各社の特徴についてご意見をいただきます。

#### 尾上選定委員

先ほど調査員さんから Picture Dictionary に二次元コードが付いているっていう話があったんですけど、二次元コードの付け方もいろいろで。カテゴリー、例えば食べ物というカテゴリーの単語を選べば一つずつ再生してくれるものもあれば、食べ物というカテゴリーを最初から最後まで、ずっと連続再生しかできないというようなものもありました。学校の先生方、子供たちが自分で調べて、この単語はどう発音するのかなと知りたいのであれば、個別に再生できるほうが便利かなと思ったりもします。まだ体験版しか見られない辞書もあるので、ちょっとそのあたりが詳しくは分かりませんが、子供たちが再生するとなると、重要なことなのかなと思いました。もう一つ、英語は、学習者用のデジタル教科書も参考資料としてというのがあって、それについても拝見したんですが、各社まだ見本の状態なので、デジタル化している単元がばらばらでした。比較する対象にはちょっとならないなと思いました。

#### 湯川選定委員

ちょっとしょうもない質問だけど。アメリカとか、外国の教科書というのはこういう形なの。A4判じゃなくて。

#### 尾上選定委員

大きさですか。大きさは、いわゆる英語圏だとそれは国語の教科書ということになるので、もっと厚かったりします。でも外国語であれば薄いものもありますので、国にもよるか。例えばアメリカとかカナダとかだと、子供たちは教科書を持って帰らずに、学校に置き勉みたいなのをして、必要なときだけ持ち帰る。教科書が個人持ちじゃないところが多いので、学校に置いてある。先生方がワークシートを作って、配布して勉強しているということが多いかと思います。

#### 湯川選定委員

どうしてそんなこと言ってもらったかと言うと、ずいぶんイメージが違うんですね。A4判とこの形が。子供たちにとって不思議な力が教科書のサイズ感にあるんかな。ちょっとしょうもない感覚かもしれんけども。

#### 尾上選定委員

やっぱり外国語の教科書って、パッと見て子供たちが「わあっ！」って思えるような工夫はきっといろいろしているんだと思います。委員がおっしゃったサイズもそうですし、写真もたくさんあってという話も先ほどありましたから。興味や関心を高める工夫はすごくされていると思います、どこの会社も。

#### 岡部選定委員

外国語って、さっきの質問にもあったように、先生の発音を助ける意味でもデジタルコンテンツの動画とか、他教科に比べたらデジタルを使う頻度が高い教科なのかなと思いました。私も二次元コードでいくつか検索してみたんですけども、子供たちって、フレーズや単語を覚えるときに、例えば月なら January からずっとリズムや歌、チャンツで覚える方が、親しみがあって覚えやすいかなと思って。そしたら、同じように覚えるのも、歌いやすい感じのリズム、メロディと、ちょっとこれ難しいかなっていうのがありました。なので、教科書は紙ベースで採択するのが基本なんですけども、外国語の教科書に限っては、そのあたりも見ることがあるのかなって少し思いました。

#### 岩本選定委員

今のと関連して、外国語の時間にはペアだったりグループだったり、個人だったり集団だったり、子供たちのいろんな活動形態がありますよね。どの教科書もいろんな活動形態あるんですけども、ちょっと頻度に差があるように思うんです。ペア学習だとかグループ学習、そういった活動が多いとか、全体的な活動が多いとか、そのあたりの教科書の差みたいなものあたりしますか。

#### 尾上選定委員

各教科書で、ペアがどれぐらいで個人がどれぐらいでというのはちょっと数えてないんですけど、先ほど調査員さんからあったように、外国語は4技能5領域を3観点で評価していくということが、力を伸ばしていくといわれています。話すことが、やり取りと発表の二つに分かれていますので。だいたいどこの単元も、話すことのやり取りか発表かのいずれかは入っています。お友達と何かをするという活動と、あと話を聞いてもらうっていうのもありますので、話すことについては、たぶんどちらもバランスよくできるようにはなっているかなと。若干、発表のほうが最後の評価をとりやすいので、発表が多いかなってイメージもあるんですけど、学習のプロセスではやり取りっていうのも大事にしてるかと思います。あとは、お友達と話し合ってみてとか、グループでやってみてみたいなのは、割と学校の担任の先生が授業をされる際に、ここはじゃあペアでとか、3人グループでとかというふうに工夫してすることが結構あるかなと思いますので、それは先生方の考えで、増やしたりも減らしたりもできるかなと思います。

#### 宮本選定委員

教科書を見せてもらったら、それぞれの学習のゴールはどこの教科書会社もあると思うんですけども、そこに至るまでのスモールステップがたくさんありますね。ステップを積み上げてる間にゴールが見えないだろうなというのと、スモールステップの数があまりなく、まずやりましようっていうのと、外国語の授業はどっちが大事ですか。まずやりましようを大事にした方がいいのか、積み上げが大事なのか、どっちが大事だと思いますか。

## 尾上選定委員

委員がおっしゃるように、たぶん両方のやり方があって。まずやってみて、やってみたことの精度をどんどん上げていきましょう、みたいな形で進めている教科書会社もあれば、ブロックを1個1個積んで、最終的にブロックがちゃんと完成するようにしましょうというような進め方もあるので、たぶんどっちもありなんだろうなとは思っています。ただやっぱり、それも授業される先生が、子供たちの様子を見ながら、ブロック積んでるんだけどこのブロックちゃんと積めてないから、ここもうちょっとテコ入れしないといけないと思って授業をつくることができるかどうかですよ。トライアンドエラーで、まずやってみてどんどん進めましょとなると、子供たちの学習状況をうまく見とれない、何がいいのか分からなくなる恐れもあるかなとは思っています。だから、どちらでもいいかとは思いますが。答えになっているかどうか分かりませんが。

## 横町選定委員長

他、ございませんか。それでは、ただいまご審議いただいた内容を調査審議結果としてまとめるということで、よろしいですか。それでは、審議した内容を調査審議結果としてまとめることと決議いたします。

---

## 家庭

### 横町選定委員長

次は、家庭の調査員に入室していただきます。それでは、家庭についての調査審議を行います。まず調査員から、調査結果の報告をお願いします。

### 藤原調査員

家庭科調査員の高松小学校、藤原ゆうこです。東京書籍、開隆堂の教科書について調査結果をご報告いたします。まず2社の共通点として、3点を挙げさせていただきます。一つ目は、3ステップでどの題材も構成されています。二つ目は、家庭科の見方、考え方である四つの視点が、どちらの教科書も題材に入る際に分かりやすく示されていました。三つ目は、二次元コードにより、動画を見たり、ワークシートを活用したりできるように工夫されていました。教科書全体の分量はどちらも同じでした。

それでは、東京書籍から特徴を報告させていただきます。まず、内容の取り扱いに関してですが、日本の伝統文化に関する内容が大変充実していました。例えば、お茶の種類のところでは、茶摘み体験が取り上げられていたり、地域の汁ものが豊富に提示されていたりしました。また、特産品として日本手ぬぐいも取り上げられていました。特色として、題材10の「朝食から健康な1日の生活」のところでは、炒める調理を学習する題材のなかで、朝食の必要性が丁寧に取り扱われていました。また、題材3の「ひと針に心をこめて」では、取り上げられている作品が大変カラフルであり、児童の創作意欲につながりやすいと考えられます。またミシンの制作実習に関わっては、学校の教室が取り上げられていました。学校生活のなかで生かすモノづくりにつながると考えられます。次に、構成、配列等について報告させていただきます。2年間の題材構成について、5年生で8題材、6年生で7題材とまとめられています。例えば、掃除、整理整頓の二つが一つの「物を生かして住みやすく」とまとめられていたり、

着方・住まい方・洗濯の仕方の題材が、「夏をすずしくさわやかに」で一つにまとめられていたり。また「冬を明るく暖かく」という題材では、着方・住まい方を季節ごとの二つの題材を一つの題材にまとめられていました。また、教科書の巻頭には、衛生・安全面についての特集が載せられていました。

次に、開隆堂についての報告をさせていただきます。内容の取り扱いでは、多国籍な4人の登場人物でストーリーが展開されていました。多様性・共生社会が意識されていました。また「ほっとタイム」のコーナーでは、日本だけでなく世界のものも紹介されていました。国際理解教育につながるものだと思います。また、調理実習のスタートにあたっては、今、課題となっている食物アレルギーについて、丁寧に上げられていました。日本の食文化はもちろんなのですが、食だけではなく、日本の住生活の内容についても丁寧に特集が組まれていたのも特徴の一つだと思います。そして、写真のページが大変的確で分かりやすいのも特色だと思います。例えば、沸騰の様子であったり、加熱時間による卵の変化。これは調理実習スタートで行うものなのですが、大変分かりやすいと思います。そして、稲から米、ご飯になるまでの変容についても分かりやすい写真で提示されていました。また、「生活を支える物やお金」でのイラストがスーパーマーケットだけではなく、医療やサービス、娯楽等も示されているので、広い視野を持って学習に取り組めると考えられます。また、買い物で困ったときの具体例も載せられているので、大変現実的で分かりやすいと思います。エシカル消費についても取り上げられていました。また、1食分の調理実習が具体的に計画しやすいように載せられていたり、2年間の学習を中学校へという特集が組まれていたり、中学校の技術家庭科とのつながりを意識しやすくなっています。「すずしい住まい方で快適に」では、生活のなかでの季節を感じる音や騒音の扱いが大変丁寧に具体的なものであります。構成・配列等についてです。2年間の題材構成については、5年生で11題材、6年生で9題材にまとめられていました。食生活はベースがオレンジ、衣生活はベースがグリーン、住生活はブルー、消費生活はパープルと色分けされていました。実習の手順がその色をモチーフにして横一列に写真入りで提示されているので、大変分かりやすいと思います。報告は以上になります。

#### 横町選定委員長

ありがとうございました。それでは、各委員の皆さんからご質問はありますか。

#### 岡部選定委員

題材構成、東京書籍は5、6年生合わせて15。開隆堂は20ということで、この特徴については教科書会社がそれぞれ特徴を出してくださってるんですけども、実際調査するなかで、調査員の方々に、そのことで、この報告書の中には、同一題材で分けているので教師による裁量が大きいということも書いてくださっているんですけども、ここに書かれていること以外で、何かお話が出ていれば教えていただけたらと思います。

#### 藤原調査員

東京書籍は、割と大きくまとめられておりましたので、経験のある教員にとっては、裁量でいろいろ取り組みやすいかなというのが調査員たちの話では出ました。一方の開隆堂は、細かく単元が分かれていますので、家庭科を指導した経験が比較的少ない教員でも、教科書のとおり授業することで取り組みやすいのではないかなという意見が出ました。

#### 宮本選定委員

5年生かな、「生活を支える物やお金」という単元がありました。今の子供の親御さんって、スマホ決済がかなり多いんじゃないかな。スマホ決済については、どの教科書も扱っていますか。

#### 藤原調査員

キャッシュレスでも、プリペイドカードは少し出ていましたが、スマホ決済については出ていなかったように思います。

#### 宮本選定委員

インターネットの買い物はどうですか。

#### 藤原調査員

少し扱われていたと思うのですが、それもどちらかというと、お金と身近なものを使ってという導入の部分になりますので、詳しいいろんな買い物の仕方については、恐らく中学校の家庭科につながっていくのかなと思われま

#### 宮本選定委員

小学生はまだみんながスマホを持っていないということから、そうなっているのかな。

#### 藤原調査員

ただ、授業をする中では必ず出てくるので、いろんなキャッシュレス決済の使い方、支払い方、買い物の仕方があるねという話にはなるかと思います。

#### 横町選定委員長

他、いかがでしょうか、ご質問ありますでしょうか。他に質問がないようでしたら、調査員には退出していただきます。ありがとうございました。

それでは調査審議に移ります。皆さんには教科書についての調査研究をお願いしていたところですが、ただいまの調査員の報告や各自お調べいただいたことから各社の特徴についてご意見をいただきます。いかがでしょうか。

#### 岡部選定委員

家庭科は2社なんですけれども、調査員の方もおっしゃっていたように、どちらの教科書も学習指導要領に則った丁寧な作り方をされているということをおもいました。言語に関しても、例えば、布を裁つということ、調査資料にも書かれていたと思うのですが、これは東京書籍の特徴で書かれていたと思うのですが、それは、開隆堂にも22ページに布を裁つという、そういう家庭科で、同じはさみを使うのだけれども紙を切るのではなく、布を裁つというような、そういう言語に関しても、すごく丁寧に取り扱われています。それから、実物大の写真というところが、例えば、開隆堂の写真のと

ころにも触れてくれたんですけれども、制作ものだと、例えば25ページの、子供たちが初めて糸と針を持って、小物づくりを5年生の入り口とするんですけれども、この作品が実物大で載っていて、これに沿った形でやっていけると、実物大でということでも申し上げると、右利き用、左利き用、それからここには、千切り用とか、短冊切りしたときに千切りってほしいこんな幅でやったらいいんだよという動作とか、そういうのが示されていて、家庭科は実習を伴う教科書であるので、子供たちが見てよく分かるような資料がどちらの教科書にも掲載されています。それから家庭科の中で、学習指導要項で、日本の生活文化、伝統というところにも触れていくということもあるんですけれども、東京書籍の調査報告書にあった、日本の汁ものとか、そういうところは開隆堂の教科書にも載っていて、日本の伝統文化、そういうことも、両教科書ともとても丁寧に扱われていて、それも写真で紹介されているので、子供たちが資料として扱う分にも、とても丁寧なつくりになっていると思いました。それから先ほど宮本委員さんがおっしゃったインターネットの買い物についてなんですけれども、例えば、買い物というところではないんですけれども、両教科書ともキャリア教育の視点になって、その道のプロに聞くとか、そういうことのお話のなかで、キャリアインタビュー、消費者相談に取り組む人ということで、消費生活センターということの、そこへも相談できるようなことが紹介されているんです。その中の、この方のインタビューで、インターネットで商品を注文したのに商品が届かなかったり、1回だけ買ったつもりが2回以上商品を買ったことになってしまった人の相談も出ている。だからインターネットの買い物に対しての困りごととしてこういう例を載せて、困ったときは一人で悩まずに相談してくださいねということで、インターネットの買い物についても触れられている。そういう意味で、どちらの教科書もとても丁寧なつくりになっているなどと思います。

#### 岩西選定委員

2社ともに、持続可能な社会へのというような項目で扱ってるんですけれども、東京書籍は、持続可能な社会へ、ものやお金の使い方。先ほどから買い物について出ていたように、買い物について考えようということで、売買契約とか、いろいろな支払い方法とか、割とお金について踏み込んでいるという感じがしました。開隆堂のほうは、生活と環境の関係とか、生活と資源の関係というふうに、ざっくりとした感じになるんですけども、やはり小学校でお金について具体的に踏み込んだな、という感じがしました。それについて、どうなのでしょう。そこまで踏み込む必要があるのかな、もうやっぱり今は、そういうことが必要、小学校から必要なのかなとか、そこをちょっと教えていただきたいんですが。

#### 岡部選定委員

売買契約については、開隆堂の61ページのところでもよく取り扱われているので、小学校でも取り扱うということはやっているし、支払いについては、63ページのところで、いろいろなカードが使えるという、先ほど藤原調査員のほうも報告していましたけれども。その買物の流れ、売買契約についての買物の流れも、子供たちの視点に沿うような形で、横書きで説明されているので、お金についてもここで触れているのかなというふうに捉えているんですけど。

#### 岩西選定委員

それ、どちらの出版社ですか。



#### 岡部選定委員

開隆堂です。

#### 中井選定委員

今、岩西委員がおっしゃったそのお金のことは、保護者としてはすごくありがたいです。高校生になったら、株とか投資のことが導入されています。まだまだ日本の社会は英語とか株式投資に関してはすごく教育が遅れてると思うので。小学生もお小遣いで買い物に行ったり、スマホも家庭によっては自分で検索したり、インターネットでアプリをインストールしてどんどん進めていく子供もいるので、これはいい、これは悪いとか、これを貯めていったら利子が付くとかって、そういうところでも学ぶ材料の視点では、親が教えるとどこまでというところもあって、このように学校教育で教えていただくと、安心というか、ありがたい面はあります。

#### 横町選定委員長

他ございませんか。それでは、ただいまご審議いただいた内容を調査審議結果としてまとめるということによろしいですか。それでは審議した内容を調査審議結果としてまとめることと決議いたします。

---

#### 算数

#### 横町選定委員長

続いて、算数の調査員に入室していただきます。それでは算数についての調査審議を行います。まず調査員から調査結果の報告をお願いします。

#### 高石調査員

算数科調査員の八幡台小学校、高石順弘です。

#### 前田調査員

芦原小学校、前田敏康です。

#### 名古調査員

大新小学校、名古奈津美です。

#### 高石調査員

東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館、日本文教出版の教科書について調査結果をご報告いたします。まず、東京書籍について説明します。1年に33ページのデジタルコンテンツでは、絵グラフに色を塗るだけでなく、数え忘れや重なりを防ぐために絵の上に印を付けられるようになっています。また、動画、シミュレーション、練習問題デジタル版なども設定されており、コンテンツ数も6学年で1455と他社に比べ豊富に用意されています。1年38ページのように、数字ブロックの置き方が一列となっています。これは、啓林館以外はすべて同じです。5年下、43ページのように、

面積の学習では導入は四角形で、それから三角形への配列となっています。同じく5年下、67ページのように、割合では2本の数直線を使っています。5年下、49ページのように、既習を生かして考えることを促進する吹き出し「同じように考えると」や学習したことを基に発展的、創造的に考えることを促進する補助発問の「それなら」がキーワードとして導入され、新たな課題を見出し、解決の計画を立て、実行する力を育むページ「それなら次は」が新設されています。また、巻末オプション教材「新しい算数プラス」では、各単元の練習問題と対応した補充問題を用意し、さらに個別最適化された学びの支援として、難易度別に2種類の問題を用意し、個に応じた選択的に使うことができるようになっていきます。2年上、6ページのように、巻頭の「学びのとびら」では、ノートづくりの例を提示しています。2年下、44ページのように「今日の深い学び」では、ノートの活用の仕方を例示し、思考の可視化を重視しています。

次に、大日本図書について説明します。2年247ページのシールを11ページから15ページに貼るように、巻末にある「ひらめきアイテムシール」を「ひらめきアイテム」に貼ることで、同じ見方、考え方を使う学習内容をまとめたり、集めたアイテムを別の問題解決に生かしたりできるようになっています。2年から、アンプラグドプログラミングとビジュアルプログラミングの両方が掲載されています。1年29ページのように、随所のページの下部に二次元コードがあり、デジタルコンテンツにアクセスできるようになっています。そのコンテンツは、シミュレーションコンテンツや練習問題などさまざまなものを設けています。コンテンツ数は、6学年で1454となっています。2年123ページのように「算数たまたまばこ」や、4年80ページ、81ページの「ふくろう先生のなるほど算数教室」などで、学んだことを活用したり、日常生活から算数を探る活動を行うことができるように工夫されています。1年巻頭では、これまでの生活を思い出すページがあり、その後も身の回りのものや活動が中心となって問題が構成されています。5年72ページに、他学年でも他の問題や身の回りの生活に生かす問題が設定されています。登場キャラクターの2人が外国にルーツを持つ児童になっています。3年46ページから50ページには、日本の伝統的な遊びが取り上げられています。

次に学校図書について説明します。2年上、12ページのように、二次元コードはページ数の上に掲載されていて、適宜、活動や思考の補助になるよう、デジタルコンテンツが用意されています。3年上、89ページ、5年下、141ページのように、他者の意見を考察する場面や話し合いの場面などを多く取り扱い、写真やイラストでペア、グループ学習や4人で話し合う様子が掲載されており、意図的に対話的な学びが実現できるように工夫されています。写真とイラストの割合が多く、キーワードが黒太文字となっています。6年別冊の「中学校へのかけ橋」では中学校の内容に触れています。5年上、12ページと14ページのように、全学年を通じてめあてとまとめが明確に書かれています。3年下、2ページのように、全学年を通じて身の回りの生活や算数の学習のなかから問題を発見し、生活との関連を意識しながら学びに向かうことができるよう、単元の冒頭に「はてなを発見」のページが掲載されています。5年上、130ページのように「算数をつかって」のページではSDGsからフードロスを取り上げ、大きな数の学びにつなげ、6年104ページの「算数をつかって」では「デジタル・シティズンシップ」を取り上げ、割合の学習につなげています。連続して扱うことで身につく学習内容、例えば6年生では分数×分数から分数÷分数と、スパイラルに扱うことで身につく学習内容、例えば5年下140ページ、データから傾向を読み取る、そして6年86ページ、資料の整理、そして6年212ページ、いろいろなデータなどを選別して単元配列されています。ページの途中で項が変わるところがあります。

教科書の大きさがA Bサイズと特殊なものになっています。

次に教育出版について説明します。デジタルコンテンツ「まなびリンク」の二次元コードが随所に掲載されており、動画が視聴できるなど、視覚的に理解できるように工夫されています。掲載数は全学年で591となっています。5年75ページのようにまとめアニメーションで知識、技能のまとめを視覚的に表現しています。3年上、152ページでは表計算ソフトを活用して学ぶことができるようになっています。裏表紙の二次元コードから該当学年「まなびリンク」一覧にアクセスできるようになっています。4年上、23ページのように単元末では、単元の中心となる見方、考え方を4コマ漫画にしてまとめています。2年上、114ページ、115ページのように水のかさの単元では活動から学習を進めており、数を見つけるという体験をしながら日常生活につながるようになっています。5年177ページのように割合を求める式の言葉が他社とは違い、基準量、比較量となっています。1年77ページのように朝顔を育てる活動や、1年75ページのように、夏休み、その他冬休み、運動会、体育種目やお楽しみ会など、学校行事と関連させた題材を写真やイラストで扱っています。1年別冊はイラストが多く使用されており、その他では写真が多く掲載されています。6年107ページの円の面積の導入では、写真を使用し、正方形のピザと円のピザの大きさ比で子供たちが興味・関心を持ち学習できるよう工夫されています。3年上128ページのようにコンパスの使い方で左利き用、右利き用の動画が用意されています。

次に啓林館について説明します。1年スタートブック33ページのように10を表す数図ブロックの置き方が5・5の2列となっています。5年135ページの面積の導入では三角形から四角形への取り扱いとなっています。6年225ページ数学への扉では中学校数学とのつながりを記載しています。中学校数学とのつながりを踏まえ、発展的、統合的な事柄を「算数ポケット」などで適宜取り上げています。2年から6年4ページのように児童の問いや気づきを「めばえ」として掲載し、児童からめあてを引き出す工夫がされています。そして伝え合う活動を通して、まとめが生まれるような学習の進め方としています。1年14ページのように数図ブロックを操作する様子を丁寧に例示し、具体的体験的な学びを通して基礎的な知識、技能が習得できるよう工夫がなされています。2年から4年上6ページ、5、6年6ページのように例示したり、マーカーを付けて強調したり、学び合いで深めたいポイントを可視化したりし、数学的な見方、考え方を強調して示しています。1年別冊スタートブックでは数図ブロックを置いたり、線や数字が書き込みやすい工夫がされています。2年上10ページから17ページのように3年以降の学習を見据え、割合やデータ活用の系統に位置付く内容を丁寧に取り扱っています。1年75ペーのように復習・準備、86ページのように「確かめよう」にデジタルコンテンツがあり、解決のヒントを確認できるようになっています。

次に日本文教出版について説明します。1年に65ページから67ページのように問題解決の過程が分かる「自分でみんなで」というページが全学年に設定され、ページの端に学習の流れが記載されるとともに、板書例も記されています。1年の第1分冊があり、就学前の遊びや生活と算数との関係性、連続性を絵本仕立てで示しており、無理なく算数の世界に入ることができるように工夫されています。5年75ページのように中学校数学に特に必要と思われる単元では、中学接続マークが付けられています。また6年243ページから250ページのように中学校数学の内容に簡単に触れる「もうすぐ中学生」というページがあります。6年208ページからのように自分が興味のあるところから学習ができ、算数から数学の世界につなげていく「マテマランド」というページがあります。巻頭目次には、関連の

既習単元と学年が示されています。各単元の前に「次の学習のために」というページがあり、新しい単元での学習内容と関連の深い既習事項が確認でき、つながりが分かるようになっています。1年上、1ページのように二次元コードを読むと、教科書の内容を読み上げてくれます。5年以降、索引に英語表記があります。5年6年にはしおりのひもが付けられています。2年上21ページのように全学年デジタルコンテンツで予習、復習、自分で採点ができるようになっており、ペンで書き込むこともできます。3年下74ページのように倍の見方という単元が新設され、割合の学習にスムーズにつながるよう工夫されています。

#### 横町選定委員長

ありがとうございました。それでは各委員の皆さんから質問はありませんか。

#### 梅本選定委員

先ほど調査員のほうから、ブロックについての話があったと思うんですけども、東京書籍をはじめとする横1列の10と、それから啓林館の2段がありますけども、やはりブロックの形式が違とその操作の違いも出てくると思うんです。これを見ていると横1列でしている分のは、だいたい端から取っていくという。気になったのは、今、啓林館を使っているんですけども、例えば違いがいくつのときと残りというの、やっぱり違うんです。他の1列の会社はみんな右から取って行って答えが左に残るとかって言うんですけども、啓林館は、とにかく答えが左に残るような操作をしています。東京書籍だったら、そこのところはあまりこだわりなくやってるんですけども、だから、そろえるときに左に答えが残っているときの取り方と、右に答えが残る取り方で違うわけなんです。その辺のところ、今、啓林館を使っただけで、先生方は、特に1年生と入門期で活動を始めるころなので、その辺のところは子供たちはこの場合は右から取る、この場合はまとめて左へ取るとか、そういうところの臨機応変というか、そういう指導というのは、困難ではないのでしょうか。

#### 前田調査員

啓林館のいいところというのは、やはり5・5で並んでいるので、その10をいくつに分けるかといったときに、やっぱり7、3という数字が、例えば7と3に分けた場合はすごく見やすいというところにあるのかなという話を調査員の方でしました。やっぱり横一列に並んでいる場合だと、どうしても5のまとまりというものが見えにくいというところがあるので、啓林館とその他の10との違いというのはそこにあるのかなという話をさせていただきました。ただ、今実際に啓林館を使用しているので、5・5で先生方がもう慣れて指導はしているので、今は5・5のほうがやりやすいんだろうなという先入観があるんですけども、それがもし10になっても、指導できないことはないだろうなと。また新たに、ブロックを買い、1年生では新しくなるんですけど、それはそれでまたやっつけていけることもあるのではないかなという話を調査員ではしていました。

#### 梅本選定委員

それに関連してもう一ついいですか。1年生の繰り上がりのある足し算ですけども、東京書籍だったら、結局足す数を分解する、加数分解のところはまず最初にあるんですけども、その後、別に、足され

る数を分けて、こちらにあげてもいいですよというようなものを、2ページにわたって指導してるわけなんですけども、啓林館は、先ほどのお話にもあったように、やっぱり基礎を大事にするという意図があるのか、ずっと足す数を分解してこっちにあげましようというのが多いです。例えば3足す8であっても、まず紙面の中心にあるのは、8から3に7をあげて、残っている位置を合わせるとか。でも、東京書籍の場合だったら、足される数からあげる方法が、やり方がありますというような書き方だけでも、啓林館は、前から後ろにあげる方法もあるんだよみたいな感じで。基本的にはやっぱり、足す数を分けて、あげて、10のまとまりを作りましようということになっているんですけども、その点について調査員からご意見とかは出ましたか。

#### 高石調査員

直接的にそこに焦点化したような話し合いとはならなかったんですけど、今委員がおっしゃったように、教え方の違いが出るよねということと、それがどちらが良いか悪いかというのはまた別の話で、指導するに当たっての指導の仕方は必ず変わってくるよね。だから子供たちがどっちが理解しやすいかというのは、指導者のやり方によって変わってくるので一概に言えないけど、指導の仕方は変わるねという、そういう意見は出ました。ただ、どちらがどうか、そういう話にはならなかったです。

#### 貴志選定委員

数図ブロックが5・5に分かれ、2段に分かれているか、1列ということとちょっと関連するかと思うのですが、6社まだ見れていないところもありますが、1年生の入門期で、5までの数、そして10までの数という目次がある会社と、10までの数という会社があるような気がするんですけど。

#### 高石調査員

そのところは、話し合いのなかでは特段、項目として出てこなかったの、調査員の中ではなかったです。

#### 貴志選定委員

目次にはなくても、各社とも、最初5までの数、そして10までの数という学習の順序になっているということですか。

#### 高石調査員

5、10ということについて出てきた話というのは、調査員のなかでは、ぱっと見て分かる5・5という啓林館と、横並びの10という形でのところと、5の取り扱い方には教科書の違いがあると、そういう話は出ました。ただ、今、おっしゃったようなところに突っ込んだような話にはならなかったです。

#### 宮本選定委員

5年生ですけども、5年生で割合とか単位量あたりのところが、なかなか子供たちにも理解が難しかったりするところで、1学期、割合終わったと思ったら、2学期になったらまた割合2が出てくるとか。割合とか単位量あたりのところを二つに分けてる教科書と、分けてない教科書とあったと思うんですけど

れども。分けているほうは、どうしてそれを分けているのかというようなことを、調査をしたときに意見が出たということはなかったですか。

#### 高石調査員

委員がおっしゃったように、どうして二つに分けたかという意見が出たかというのと、それは出なかったんですけども、どちらかと言えばそこがやっぱり難しいがゆえに、新しい単元を構成して流れをしっかりと作ってる教科書会社、それから関連付けを強く意識してる教科書会社、そういうのはあるよねと。やっぱり難しいところについて各教科書会社の対応の仕方は違うなという、そういう話は出ました。

#### 中井選定委員

教育出版で割合の学習の言葉の表現が他社と違う用語になっているとのことでした。基準量、比較量、これを他社はどう用いているのかというのと、この辺をもし子供たちに教育した上で、中学試験とか入試とかに問題が出たとき、問われても子供たちが理解できるのかというのと、学校現場ではどちらの方がいいのでしょうか。

#### 高石調査員

それぞれ、もとにする量、比べる量という言葉で表しています。中学校に向けては、その用語の対象になる量が分かっていたら問題はないと思います。

#### 中井選定委員

そうなんです。分かりました。

#### 北山選定委員

5年生の面積の学習も、啓林館だけが違いますよね。ブロックとそこが大きく違うのがすごく特徴かなと思うんですけど。啓林館以外は、平行四辺形から等積変形で長方形になってるのかな、という流れの出版社が多い。等積変形というのがすごく出てきているような意識を持ったんですけども、啓林館で三角形から入ると、長い単元ですから、どういうふうに変わっていくか。やっぱりそこも指導者のおさえ方というのがすごく大事になってくるかなと思うんです。そう考えたときに、お話し合いの中で、何かあったら教えていただきたいです。

#### 高石調査員

確かにそこが際立って違うところなので、違うなという話です。ただ、どちらが分かりよいか、どちらが子供たちにとって、指導者にとっても教えやすいか、分かりよいか、といったら一概には言えないかなと思うんですけど、確かに啓林館の部分の違いという部分で言えば、明らかに違うなというところの話は出ました。ただ、それが今、啓林館を使って教えている部分については、もうそれで教えていますので、若い先生方は、両方を並行して教えたことがないので、その比較という形ではなかなか意見としては、盛り上がった意見にはならなかったです。

## 北山選定委員

ということは、導入が三角形ということは、いろんな図形も三角形に戻して考えていくということで、単元が流れていってるわけですね。

## 前田調査員

例えば平行四辺形が出たときには、対角線で切って三角形が二つ並ぶであったりだとか、そういうふうにして、やっぱり三角形をもとに考えていくというところには行き着くところである。でも最終的には、どちらももとをたどれば、縦×横というものにつながっていくという形にはなっています。

## 北山選定委員

多様な考えが出るとか、子供たちから一つの課題に対して、多様な考えを持って、お互いに認め合えるというような授業の流れを考えるとときには、いいとか悪いとかじゃないんですが、授業をされる先生方としては、別に三角形からスタートしても、平行四辺形からスタートとしても同じ。

## 前田調査員

私も両方からアプローチしたことはあるんですけども、その時々の子童の実態というのは、やっぱり大きく左右してくるのかなと。基本的には啓林館なんで三角形から入るんですけども、一度もった子たちには、やっぱり既習事項である縦×横というものを意識させて、平行四辺形から、これを何とかして長方形にできないかなというところから入っていったこともあるのはありました。ですので、やっぱり児童の学びの実態というところに大きく左右されてくるのかなとは思います。

## 市川選定委員

算数6社ありますよね。いろんな教科書を見てたら、似ているところがあれば、違うところもある。でも今までの話を聞いてたら、啓林館のはずいぶん違うと思います。それを和歌山市はずっと採択してますよね。だけど、調査員の話聞いてたら、それはどっちでも、というように聞こえたんです。だから、和歌山市はずっと1年生は5のまとまりで学習してるから、10のまとまりになったら、なかなか先生たちも戸惑うというのではなくて、案外いけるよ、というふうに聞こえました。面積についても同じです。だから、なぜかなとは思いますが。ただ、もし仮に違う教科書になっても、そう現場や子供が戸惑うことはないという調査結果になるんですか。

## 高石調査員

今のことに対する答えは、調査員の調査というか、話し合いのなかでは明確には出ませんでした。ただ、委員がおっしゃるように、与えられた教科書で結局することになると、どっちがしやすいかどうかというのは、それぞれの人によるということ。ただ、今は啓林館に慣れているということ。そのときに調査員で話していたのは、それぞれの会社が何を大事にしてるかというのはやはり違うなど。だから何を大事にしてるか、そこをまず先生が分かった上でないと教えられないな、とすると、委員がおっしゃるように、これは主観の話なんですけど、今まで当たり前に行っていたことが、もう1回勉強し直さなアカンなというような話がありました。ただ、どっちがいいとか、やりやすいのか、そこまでの話には

なりませんでした。

#### 中井選定委員

6社とも筆算とか計算の方法って違うんですか。例えば、去年、参観日の授業で筆算の計算方法について、校長先生と担任の先生の意見が少し違ったんです。担任が勝ったと言ったらあれなんですけれども、話しているうちに担任の先生の計算方法が通ったというか、そうなったことがありました。この6社で、それぞれ計算方法や教え方が違うんですか。

#### 高石調査員

そこまで細かいところを比較して話してないので、明確に答えられません。ただ、計算の方法はいろいろあることがありますし、多様な考えを比べて話し合いながら最も適した方法を見つけっていくという授業はあります。

#### 横町選定委員長

よろしいでしょうか。他ございませんか。それでは、質問がないようでしたら、調査員には退出していただきます。ありがとうございました。

それでは調査審議に移ります。皆さんには教科書についての調査研究をお願いしていたところです。ただいまの調査員の報告や、各自お調べいただいたことから、各社の特徴についてご意見をいただきます。

#### 梅本選定委員

さっきのブロックの話ですけども、見ていただいて分かるように、啓林館は意外といろんな、教具を使っているわけです。だから、案外ブロックから離れるのが、5・5とやっておきながらやってるわけです。だから数が大きくなっても、例えば東京書籍であったりとかすると、ずっとブロックを1000個集めた図を、1000の位に置いてあったりとかするんだけど、啓林館はもう数え棒で束にやったりとか、お金もよく使っています。だから、例えば教材、この問題、この領域だったら、これを使うのがいいであろうというようなものを、たぶん使っていると思うんですけども。また、5・5にしているのは、やっぱり数の捉えというのか、そこにこだわりがあるのだなと思っています。ですが反面、繰り上がりがある足し算になると、5といくつとやるほうが多様な考えが出るわけです。ここの5を足して、あと残った1と2で13になるとか。でもそれは、啓林館はなぜか、足す数を分解して計算しましょうというのを進めているというところがあるので、その辺のところは、数の捉えと計算方法を違う方向で考えているのかなと思っています。先ほどの質問にあったように、各社によって計算のやり方が違うんですかという話ですけども、基本的には、やっぱり、絶対にこれは揺るぎないものがあるというのは、例えば繰り上がりのある足し算であると、とにかく10のまとまりを作りましょう。そして、バラがいくつとか、100のまとまりを作りましょうって、十進位取り記数法みたいな、そういうところは各社とももちろんきちんとやってるけれども、柔軟というか、多様な考え方で計算しましょうという会社もあれば、基本、やっぱりこれは大事にしたいから、こっちを大事にしてくださいねというところもあると捉えるのいいのかなと思います。先ほどの筆算も、繰り上がった数字をどこに書くかというの



は違うかも知れないけれども、基本は、低い、下の位から計算して繰り上がったりとか、隣から借りてきたりとか、そういう計算に関する基本的な知識とか技能であったりというのは、もうみんな統一されていると思います。

#### 湯川選定委員

プログラミング思考ってありますよね。今盛んに使われるようになってきていると思うのですが、啓林館と日本文教出版は割と思考を育むような取り扱いがたくさんある。他の出版社はどうなのでしょう。

#### 梅本選定委員

やっぱり、高学年にいくつかあるけど、言うほどたくさんはないんだけど、これをプログラミングと言うのかなという会社と、なるほど、算数で言うプログラミングというのはこうか。例えば図形を書くときに、右へ7つ進む。そして90度上がる、何センチ進むとかいって図形を描くとか、こういうことなんだというのがありますけども。それと実際、紙の上でもやって、それをプログラミング的学習としているところが多いなかで、実際にパソコンを使ってやりましょうというところもありましたけども。だから自分たちが考えている、そういうプログラムを作るという、そこまでは行かないけど、作っているのは、実はこんな動き方でプログラムを作ってるんですよという、そういう感じだと思います。あと、さっき割合の話も出てきたんだけど、すごく割合に力を置いていて、これまでは5年生になって慌てて、割合、単位量当たり、どうしようという感じだったのが、各社ともに、低学年からそれを積み上げていって、倍の単元を、もう2年生からずっと扱ってるところもあれば、単元としてではなく、特設の形で、倍の概念であったりとか、言葉を変えて、小数倍とか、分数倍とかいうふうにながら、とにかく倍という言葉がすごく各教科書、いろんなところで見受けられるっていうのがあって。一つすごくいいなと思ったのは、最終的にあなたたちが今までしていたわり算とかかけ算というのは、結局この単位量あたりとか、片方を1と見た、基準量を1と見たときの、そのもう一方のあれですよということを書いている会社があって。なるほど。みんなとにかく分けるであるだとか、同じようにするというふうに思っていたのが、実は、1のときの値である、数値であるということ、今まで以上にきちんと書かれているなというふうに思いました。

#### 横町選定委員長

他、ございませんか。それでは、ただいまご審議いただいた内容を調査審議結果としてまとめるということによろしいでしょうか。それでは、審議した内容を調査審議結果としてまとめることと決議いたします。

長時間にわたり調査審議、決議いただきました。これを持ちまして、第3回和歌山市小学校・中学校及び教育学校教科用図書選定委員会を終了します。お疲れ様でした。

## 第4回 選定委員会の会議の議事録

図画工作、社会、生活、理科 調査審議

## 会議録

### 1 日時

令和5年6月21日（水）

会議開始時刻 17:30 会議終了時刻 20:00

### 2 会場

教育文化センター 4階 大会議室

### 3 出席者

#### ○選定委員会

選定委員長 横町 真紀

選定委員（学識経験者） 市川 圭造 岩西 啓子 梅本 優子 岡部 美代恵

尾上 利美 貴志 雅代 北山 圭子 坂本 雅城

塩谷 通功 三宅 秀夫 宮本 信吾 湯川 泰成

選定委員（学校代表） 岩本 浩志

選定委員（保護者代表） 津名 洋平 中井 亜希

#### ○教科用図書採択事務局

事務局長 利根 功一（教育局長）

事務局次長 前北 博文（学校教育部長）

事務担当課長 岩本 信哉（学校支援課長）

西谷 宣昭（学校教育課長）

竹内 圭（教育研究所長）

事務局員 北林 直樹（教育研究所専門教育監補）

岩崎 朝蔵（教育研究所専門教育員）

### 4 議事

#### 横町選定委員長

お忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございます。本日は16名の委員の方々に出席いただいております。過半数の出席がございますので、和歌山市立小学校中学校および義務教育学校、教科用図書の採択に関する条例第10条第3項の規定により、第4回和歌山市立小学校中学校および義務教育学校教科用図書選定委員会を開催します。本日は図画工作、社会、生活、理科の順に四つの教科種目について調査審議をしていただく予定となっております。また、本日の会では、和歌山市立小学校中学校および義務教育学校教科用図書の採択に関する条例第10条第5項の規定により、各教科種目の調査員に、調査資料の提供とその説明を求め、質疑応答を行うこととします。調査員退出のあと、選定委員の皆様で、教科書の内容について調査審議をお願いします。調査審議に入る前に確認いたします。当選定委員会の責務は、採択権者である教育委員会に対し、各教科の指導内容に即した教科書会社ごとの特色と工夫についての専門的、具体的な審議結果を答申として取りまとめ、報告することです。今回

調査研究するすべての教科書は、文部科学大臣の検定を経たものであり、当選定委員会においては、どの教科書が適切であるかということを協議することを、目的としていないと再度確認したいと思います。ご理解ご協力をお願いいたします。

---

## — 図画工作 —

### 横町選定委員長

それでは本日の開催要項どおり、まず図画工作科の調査員に入室していただき、調査内容の報告をしていただきます。まず調査員から調査結果の報告をお願いします。

### 松尾調査員

図画工作科調査員の和歌浦小学校、松尾友絵です。

### 石本調査員

楠見小学校の石本美穂です。

### 松尾調査員

開隆堂出版、日本文教出版の教科書について、調査結果をご報告します。まず開隆堂出版の教科書について、特徴的なことを3点ご説明します。1点目は、子供にとって分かりやすい教科書であるという点です。子供の自主性を育むことを基本方針に掲げ、やってみたいという思いを持った子供が、自分で学習を進めていける紙面構成になっています。キャラクターで表した学習のめあては、シンプルな表現になっていて、特に育成を図りたい資質能力を下線引き、赤字で強調して示しています。二次元コードの横には、何が見られるのかを明記しています。情報量は多くなく、ねらいに沿った情報に絞っているため、必要なときに、子供が自分で、用具の使い方や参考作品を見ることができます。またすべての題材に「アイデアシート」「鑑賞シート」などのワークシートを付けていて、一人一台端末にダウンロードでき、友達と共有できます。2点目は、2学年横断を意識しつつも、1学年ごとのまとまりにしている点です。上下で本のタイトルを変え、上下どちらにも振り返りのページを設け、タイトルに沿った1年ごとの振り返りを促しています。3点目は、題材の配列や目標についてです。題材同士のつながりを意識して配置されています。同じ素材を続けて、粘土のあとに粘土の素材、また同じキーワードを続けて、動きを同じように続けているとか、そういう点です。鑑賞に関しては、独立して行う鑑賞が少なく、表現とあわせて行う鑑賞が多いのが特徴です。また高学年の造形遊びの目標は、児童の発達段階より少し低めの設定になっていて、友達との協力を目当てに掲げた題材が多かったです。

続いて日本文教出版について、特徴的なことを3点ご説明します。1点目は、指導者にとって分かりやすい教科書であるという点です。各題材ページは、単に活動や作品の写真を載せるだけではなく、子供の思いや気づきを吹き出しにして示すことにより、めあて達成に向けた学習展開が見える紙面構成になっています。二次元コードから得られる情報量は大変多く、指導者が選択して子供に示すことで、多様な子供の思いや活動に対応できるようにしています。中高学年では、子供自身で使いこなすことが期待できます。2点目は、2学年横断を強く意識しているという点です。上下の本のタイトルを統一し、下の本にだけタイトルに沿った振り返りのページを設けています。上の本の終わりには、友達と作品を

見て話そうのコーナーを設け、自分と違う思いや表現に気付く活動を促しています。想像力を生活、社会、未来へつなげるという方針のもと、つながりや広がりを意識した内容が多く載せられています。1、2年上の、最初のページから17ページまでを、幼稚園教育の表現から、図画工作科につなげるスタートページとして使っているのもその一例といえます。3点目は、題材の配列や目標についてです。各領域はバランスよく配置されています。題材名、リード文に続いて、目標が詳しく書かれています。各題材で育てたい力を絞っているため、何を学ぶのか、どんな力が育つのが明確になっているといえます。

#### 横町選定委員長

それでは各委員の皆様から質問はありませんか。

#### 宮本選定委員

図工の教科書ですけども、子供たちは図工の教科書を見えていますか。授業のどの場面で見ているのか教えてください。

#### 石本調査員

1年担任ですけども、活動のはじめによく使います。あとは活動が始まると、自分たちの思いがどんどん広がっていったらいいなと思うので、教科書が必要なくなったら閉じて、自分の思いを表現できるようにというような使い方が多いです。

#### 宮本選定委員

最初の導入時に。

#### 石本調査員

そうです。

#### 宮本選定委員

ちょっと1年生で気になったのは、両方の教科書ともなんですけども、各ページに大きさの表記でセンチメートルと書いてあるのが気になりました。センチメートルは2年生の算数で初めて出てくる単位なのに、どうなのかなと。それがちょっと気になったのと、開隆堂と日本文教出版の作品数を比べたら、開隆堂のほうが各学年10ぐらい作品数が多くなっているんですけども、その辺については、調査のときに話題になったりとかはしませんでしたか。

#### 松尾調査員

一人一台端末から見られる作品数は、ちょっと日本文教出版のほうが多く出ていました。教科書自体を見たときは開隆堂のほうが作品数が多いのですが、作品そのものの写真が多くて、活動を促すような写真は日本文教出版のほうが多かったのかなという捉えはしました。先ほどの教科書を見るかという点は、あまり見せないです。導入で見せない、題材によっては見せないことも多いので、他の教科の教科書よりは、図工はあまり教科書を見ない傾向があると思います。

### 湯川選定委員

今、図工で子供たちが一人一台端末を使っているような学習というのは、実際されているの。これからということなの。

### 松尾調査員

一人一台端末は使っています。

### 湯川選定委員

なかなかいいよね。この場面とか、絵を描きたいとか、こんなものを作りたいなのをパッと自分で一人一台端末を持って行って、絵をポンと。で、それを見ながらまた創作活動をするっていう。そんな実践っていうのはもうしていますか。

### 松尾調査員

結構しています。造形遊びをしたときに、活動の過程や最後を記録するために自分で好きな場所の写真を撮ったり、それをあとから共有しながらクラスで話をするということに使ったりもしますし、今おっしゃってくださったみたいな、好きな絵や場所を撮ってきて話し合いをするとか、そういうことにも使います。何でこの形が良いと思ったかみたいな話し合いに使ったりもしますし、使うことは割と多いです。あと、動画やアニメーションみたいな題材をするときも一人一台端末を利用しますので、結構授業でも一人一台端末を使っています。

### 宮本選定委員

その辺、僕も聞きたかったんです。今まで何回か図工の授業を見させていただいたんですが、はっきりと分かれてるといふか、若い先生はかなり使っているみたいなんだけど、ちょっと年配の先生はほとんど使っていない。その辺の割合はどうなのかな。ちょうど二つの教科書の作り方、考え方がその辺、焦点の当たるところかなと思うんですけども、和歌山市で今、図工の時間に一人一台端末を使ってる人と使っていない人の割合ってどれくらいだと思いますか。

### 松尾調査員

今、言ってくださったみたいに、やっぱり年代によって多少差はあります。20代、30代の教員は結構使っています。外へ行くときに、一人一台端末を持たせて、学校の中の気に入った場所を撮るとか、そういうことに使ったりもしています。年配の教員も、作品を保存するために写真を撮りましょうとか、活動を保存するために撮りましょうとか、それぐらいのことはしています。ただ効果的に利用できているかという、疑問は残るところかなと思います。言ってくださったように、二次元コードからの情報がものすごく違うっていうのが、この2社の特徴かなと思います。子供自身が使うとなるとなかなか難しいところがあるのかなと調査しながら感じました。教員が使いこなせないといけない。目標に合わせて選択して、示していくみたいなことが必要かなというようには感じています。

### 宮本選定委員

結局使ってる人の方が多いの。少ないの。

### 松尾調査員

1年生は今の時期はまだ全然使えていないです。2年以上は、年間通して1回も図工の授業で一人一台端末を使いませんという人も実際にいると思うので、はっきりしたことをお伝えできないんですが、私の学校でしたら、半分ぐらいは確実に使っています。

### 横町選定委員長

他、いかがでしょうか。他に質問がないようでしたら、調査員には退出していただきます。ありがとうございました。

それでは、調査審議に移ります。皆さんには、教科書についての調査研究をお願いしていたところです。ただいまの調査員の報告や、各自お調べいただいたことから、各社の特徴についてご意見をいただきます。

### 宮本選定委員

今、質問した意図をちゃんと言ってなかったのが、説明させていただきます。二次元コードで読み取った動画なんですけども、開隆堂の場合は、それを授業の最初に映すと、その本時のめあてに直接結びつくような、導入に近いものが映るんです。だから若い先生は、それを使ってやったら、ねらいに沿うような授業になるかなというふうに思うんです。一方日本文教出版なんですけども、先ほど日本文教出版のほうは、作品数が少ないと言ったと思うんです。開隆堂のほうが多い。作品数が少ない代わりに、その制作までの間の道筋というか、構想とか発想とかっていうヒントになるような写真であったりとか、そういうものをたくさん入れてるので、教科書で、勉強するんだったら、今だったら日本文教出版のほうの流れるのかなというふうに思うんです。逆に、開隆堂のほうは、いっぱい作品があるので、何も知らないでその作品ばかり見たら、カタログみたいに「こんなものを作りたい」と教科書の作品から選んだりする子も現れて、発想とか構想というのが大事にされない恐れもあるのかなと思って、二つの教科書のどっちもいいところがあるけども、今、和歌山市でどっちがいいのかなというようなところを、その割合どうなの。というようなこと聞いていたのは、そういうところを知りたくて、質問をしました。

### 横町選定委員長

調査員のお話の中にもあった、宮本委員が言われたみたいな、子供にとって使いやすいか、指導者にとって使いやすいかと、そういう視点になるのかなと思います。他、ご意見ございますでしょうか。

### 湯川選定委員

でも、子供たちは授業の中で、一人一台端末を持って、こうピッと当てて、そんなに難しいものではないのでは。今、話を聞いてたら、ちょっと難しいとか言われてたけども、指導者が大きな画面でパッと映し出すという形もあると思うんだけど。自分自身でここ興味あるから調べてみたい、情報を得たいと。その辺はやっぱり低学年のときに経験というか、一人一台端末を使う、使い方を学んでおけば、そ

んなに抵抗ないと思うんだけど。いろんな教科の二次元コードが満載されてるから、やはり1、2年生である程度慣れていくというのは大事なんだろうなという。ちょっと感想です。

#### 宮本選定委員

最近、若い先生の図工の授業を見に行ったら、電子黒板があって、先生が二次元コードでパッとやって映す。みんな見てっていうふうにして、ボールの動きの様子見て、ああ、こんなに動くねというようなところから、作り出したりとか、そうやって電子黒板と一人一台端末をうまく合わせて、授業を進めていくというのが、よくあるように思うんです。だから子供が一人一台端末で、そうやって勝手に見るといふようなことよりも、どっちかといったら、先生がICT機器で電子黒板に映すということの方が多いのかなと思います。

#### 湯川選定委員

でも、子供が個別に調べてみたりという、これも他の教科でもできることだから。

#### 梅本選定委員

図工で共同作品を勧めてるの、開隆堂のほうが多いのかな。小学校の図工で、共同制作と個人での制作、重きを置いているというのは、今の和歌山市の小学校ではどういう感じなんですか。

#### 宮本選定委員

一概には言えませんが、やっぱり開隆堂は、コミュニケーションとかっていうことを大切にやっているのかなと思うんです。突き詰めていったら、自分がやったというか、自分の発想、考えが全部生かせるかどうかというところが、どうしてもみんなで作っていく中で、全部そういう達成感を味わえるかといったら、味わえないところもあるかも分からないし、なかなか難しいところだと思うんです。

#### 中井選定委員

図工の時間で、手先が器用な人はこうやって作品をどんどん作っていくし、でも、イメージがわかなくなったりする人は時間がかかるんですけど、その二次元コードのデジタルコンテンツを導入のときに使うとおっしゃった、その時間配分。デジタルコンテンツを見る。で、それに子供たちが夢中になってしまっ、作る時間は45分ですよ。45分の時間の中でどんなものなんでしょうか。

#### 宮本選定委員

動画は2、3分しかないんです。2、3分で方向付けられるように上手に編集しているので、そんなに見る時間というのはかからないということと、パッと興味がわくような、教室の中だったら、ボールの動きとか、実験できないようなものをパッと見せられるようにできているので、そういう点は動画で見せるほうが、いいところなのかなと思います。

#### 横町選定委員長

他にございませんか。それでは、ただいまご審議いただいた内容を、調査審議結果としてまとめると



いうことでよろしいでしょうか。それでは審議した内容を、調査審議結果としてまとめることと決議いたします。

## —社会—

---

### 横町選定委員長

それでは社会についての調査審議を行います。まず調査員から調査結果の報告をお願いします。

### 田中調査員

社会科調査員の宮小学校の田中いずみです。

### 藪調査員

雑賀小学校の藪隆政です。

### 田中調査員

東京書籍、教育出版、日本文教出版の教科書についての調査結果のご報告をさせていただきます。初めに、東京書籍について報告いたします。どの学年も20ページ前後のところ、学習の進め方があり「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の4項目で学習の進め方を紹介しています。ドラえもののマークを目印にして、社会科の見方、考え方など活用するポイントを示しています。また各学年巻末には、発達段階に応じた振り返り方や、学び方を例示しています。第6学年巻末には、中学校に向けてのページがあり、これまで学習してきたことが、どのようにして中学校の学習に結び付いていくのかが示されています。教科関連マークで、他教科との関わりを示すとともに、イラストや吹き出しで、グループでの話し合いの様子を示しています。さらに「まなびのポイント」では、さまざまな形態での学習活動を紹介しています。重要語句は、言葉として取り上げ、辞書的な説明ではなく、本文に合った内容で記述されています。地域教材としましては、4年生で「地震からくらしを守る和歌山市の取り組み」、5年生で「濱口梧陵」、6年生で「ノルマントン号事件と条約改正」「エルトゥールル号」が取り上げられています。人権に関わる教材につきましては、各学年の発達段階に応じて取り上げています。同和問題については、百姓や町民とは別に、身分上厳しく差別されてきた人々と記述があり、そのことについて説明がなされています。

次に教育出版について報告いたします。各学年とも、目次の次に社会科学習の進め方として「つかむ」「つなげる」「調べる」「まとめる」の4項目で、学習の進め方を示しています。巻頭に、他教科との関わりについて、図を用いて示し、学習の終わりには「まとめる」として、補充問題を設け、キーワードを使い、短文で表現させています。第6学年巻末には、小学校で学習したことが、この先、地理、歴史、公民の3領域に分かれて、学習を深めていくことが示されています。「見方・考え方」についてのアドバイスコーナーがあり、キャラクターの言葉が子供の体験に即した内容になっています。「学びのてびき」では学習を深めるための手立てが示されています。選択教材が多く設定され、地域の実態に応じた学習ができるよう工夫されています。また、ワークシートを例示し、家庭学習を促す工夫がされています。地域教材としては、5年生で、紀の川市の直売所、熊野川の氾濫、南方熊楠のコラム、6年生で、ノルマントン号事件と陸奥宗光、エルトゥールル号が取り上げられています。人権に関わる教材につきまし

では、各学年の発達段階に応じて取り上げています。同和問題については、公家、僧、神官、百姓や町民とは別の身分とされた人々と記述されています。

最後に、日本文教出版について報告いたします。各学年とも、単元導入では、社会科の学習の進め方として、キャラクターの子供たちの多様で素朴な問いから始まり、それぞれが「わたしの問題」を持ち、追求することで考えを深め合い、解決していくという、問題解決学習の流れを図で分かりやすく示しています。「学び方・調べ方コーナー」では、各学年に応じた観察や調査の仕方、資料の読み取り方や、表現の仕方等が説明され、学習技能の確実な習得を目指しています。第6学年巻末には、小学校と中学校の接続についてまとめています。第3学年に、地図帳を活用するための学習が位置付けられています。また学習対象について、写真や図、挿絵などが見開きを使い、大きく見やすく掲示されているため、子供たちがその時間に何を学習するのかが理解しやすいよう工夫されています。難しい言葉にはルビが振られ、重要語句はキーワードで取り上げ、説明がなされています。地域教材としては、4年生で、濱口梧陵、和歌山県の取り組み、南方熊楠、華岡青洲、川端龍子、5年生で、有田市のみかん作り、6年生で、ノルマントン号と陸奥宗光、エルトゥールル号が取り上げられています。人権に関わる教材につきましても、各学年の発達段階に応じて取り上げています。同和問題については、百姓や町民からも差別された人々と記述されています。以上です。

#### 横町選定委員長

それでは、各委員の皆さんからご質問はございませんか。いかがですか。

#### 市川選定委員

社会科の学習は、子供が自分で学習課題のことを調べて、調べ学習を中心に結構やっていますよね。そんな中で、前回の教科書と違って、今回はたくさんの二次元コードが付いているということで、やっぱり調べ学習に活用しやすいのかなと思いながら見ていると、結構ワークシートみたいなのが多かったんです。それはどうなんですか。教科書によって、ワークシート中心の二次元コードになっているのと、それと調べ学習の助けになるようなもの、やっぱり特徴がありますか。

#### 田中調査員

例えば、教育出版の二次元コードはワークシートにとぶようになっています。しかし、子供が自分から活用するというよりは、担任が使い方を考えて授業をするというような捉えをしました。あと日本文教出版の二次元コードなんですが、資料としては見やすいかなと思いますし、NHK for School の動画にとぶところもあります。

#### 藪調査員

同じように、やっぱりワークシートは先生が使うような感じがしました。見方・考え方というものも、ちゃんと項目分けがされているので、先生が使い道を考えてやっていくのかなと思います。

#### 田中調査員

それは教育出版かな。

#### 藪調査員

日本文教出版もそうですけども、だいたいのところは。

#### 梅本選定委員

3社を見させていただいたところ、日本文教出版が近畿圏といいますか、西日本の、会社も大阪ということもあるかもしれないけども、取り上げているところが多いと思うんですけども、それは大人目線からであって。実際、子供たち、特に3年生、4年生の子供たちが、自分たちが住んでる地域が近畿圏であるとか関西圏という意識は、どんなものなんでしょうか。大人が思うほど、それほど身近に感じているのかどうか、ちょっとお聞きしたいんですけども。

#### 藪調査員

現在、使っている教科書の日本文教出版の話でしか、お話しすることはできないんですけど、やはり子供たちは、その学年で、4年生に都道府県の地図を勉強して、そのあと和歌山県が出てきたら、和歌山に関わる教材はやっぱり他の教材よりも身近には感じるのかなと思います。

#### 梅本選定委員

奈良とか、滋賀とか、大阪、兵庫とかもありますけども、親戚の方がいるとかというのものもあるかも分からないけども、やっぱり遠く離れたそういう県よりも身近に感じているようですか。

#### 藪調査員

北海道、沖縄とか、そういうメジャーなところを除いては、やっぱり、行ったことがあるということで子供たちは身近な教材に引き寄せられるので、やっぱり大阪とかも、行ったとか、ここ行ったことある、とかということも多いので、親戚のような感じの雰囲気の子供たちは発言します。

#### 宮本選定委員

今、4年生で郷土のことを勉強する中で、井沢弥惣兵衛は出てこないんですか。教育出版は、134ページに井沢弥惣兵衛について書かれているところがあったんだけど、井沢弥惣兵衛は和歌山県出身だし、関東のほうでは神様みたいに言われてます。もともと亀池作ったり、そして亀の川の補修工事に取り組んだり、そういうのも全部井沢さんがやったので。もしまた別の何か資料集があってやってたらいけれど、教育出版の4年生でも、地域教材みたいなのに含まれることになるのかなと思ったんで、質問させていただきました。

#### 田中調査員

ちょっと他の教科書には載ってなくて、確かに委員がおっしゃるように、教科書に載ってなくても、資料集に載ってるときは地域教材として扱うこともあります。また、「かがやく和歌山市」や「ひらけゆく和歌山」等の副教材も、3年生、4年生で使いますので、やっぱりそういった副教材を自分の身近に引き寄せて授業をすることで、子供たちも課題を持ちやすいかなと思いますので、大事なことだと

思います。

#### 尾上選定委員

先ほど日本文教出版のほうは、難しい言葉にはルビが振られていたり、あとキーワードで取り上げられたりというのがありましたが、他の東京書籍、教育出版は、特に何かそういうルビが、たくさん振られていたりということはなかったんでしょうか。日本文教出版にはルビがというご紹介があったので、他はどうかなと思いましたので、教えてください。

#### 藪調査員

基本的に、ほぼルビは付いているんですけど、ルビの多さでという感じで表記させてもらった感じです。主に、社会の用語って漢字の表記が多くて、それを全部詳しく書いてるのが日本文教出版かなと。他にもやはり書いてるには書いてるんですけどという意味です。

#### 尾上選定委員

分かりました。丁寧に細かいところまでルビが振られているという。

#### 藪調査員

そうですね。

#### 横町選定委員長

ちょっと一つ質問していいですか。今、社会の教科書って、4年生や5年生で選択教材がいっぱい出てくるじゃないですか。それと学習指導要領にも、その兼ね合いで、あれ、何でこれ選択になっているのかなとか。3社を比べたときに、何かこう学習指導要領と兼ねて、お気付きのこととか、こんな特色があるなというのを教えていただけたらと思うんですけども。

#### 藪調査員

例えば5年生の水産業とか農業というところや、沖縄と北海道でもそうですし、食料生産の学習でも、選択教材に大きな違いというのは特になんですけど、やっぱり教科書会社のその単元でのねらいによって流れは少し違います。その流れの違いだけで、中身は学習指導要領に沿っていて、あまり変わりはないのかなと思います。

#### 横町選定委員長

他、ございませんか。それでは、他に質問がないようでしたら、調査員には退室していただきます。ありがとうございました。

それでは、調査審議に移ります。皆さんには教科書についての調査研究をお願いしていたところですが、ただいまの調査員の報告や、各自お調べいただいたことから、各社の特徴についてご意見をいただきます。いかがでしょうか。

## 市川選定委員

3、4年生の社会科は、実際に見学に行ったり、そういうことで学習を進めていくことが大変多いです。だから他の教科と比べたら、教科書を使いにくい。3年生、4年生は地域学習が多いですから。別に和歌山市の副読本「かがやく和歌山市」という、3年生の副読本はあるんですけど、なかなか教科書を使った授業はしづらいという特徴が、他の教科とは違うのかなと思います。ただ、時数の関係もあって、すべて社会見学へ行ってというようなことは、どこの学校もできていない。やっぱり、教科書で授業を進めるというようなことが多いと思います。それで教科書で社会科を学ぶと考えたときに、やっぱり会社ごとの特徴はあるのかなと思ってます。教育出版は本当に丁寧です。一つ大きな問題、たぶん見開きぐらいが単元になっていて、1時間の授業になっていて、大きく今日学習することがあって、三つぐらい載ってるんです。まずこれしましょう、次これしましょう、次これしましょう。だから10分・15分・15分とか。それに沿っていけば、そのページのことを45分で学べるというような特徴になっていると思います。日本文教出版は、同じように子供から生まれた課題というのがあるって、それをページごとで解決はしていくようになってるんですが、やや子供が自由に、この教科書内の資料を使って判断していくというようなものになってるのかな。でもこれもやっぱり、教科書でやるとしたらということ意識されていると思います。東京書籍は「つかむ」といって、割に大きく、単元全体で、ここで学習することというのを述べています。資料が豊富であったり、写真がきれいであったり、子供にとっては本当に親しみやすい紙面になっているので、子供がもっともっと学んでみたい、調べてみたいと思うような、そういう紙面作りをしています。ざっと言えばですね。それぞれの会社が自分の特徴を出して、教科書で学べるような工夫はされてる。だから二次元コードなんかもその1個だと思っんです。ただ、先ほどもお話に出たように、ワークシートに偏ってる会社もあります。ワークシートというのは、やっぱりどうしても教員が与えるもので、子供主体でいくと、例えば載ってる写真が動画になったり、そういうほうが興味・関心はそられるのかなと思う。ただ全体的に、二次元コードを見たときに、まだまだもっと工夫の余地はどの会社もあるのかな。やっぱり実際に見たりするものにはなかなか追いつかないところがある。それから先ほど、地域の先人みたいなお話も出ていました。和歌山市では多くの学校で4年生が濱口梧陵の稲むらの火の館というところへ見学に行きます。今使ってる教科書では、割と大きく濱口梧陵は取り上げられてます。濱口梧陵については今回ちょっと縮小されてます。そうやって、そのときどきの社会の現状に応じて、扱っている人物も変わっていく。でも子供たちにとったら、和歌山に関連するものであれば、実際に先生と企画して、見学に行こうかというようなことも可能になるので、そういうのが多い教科書のほうが、子供と先生は学習を組み立てやすいのかなという気はします。

## 岡部選定委員

3社見た中で、先ほどの話にもあったんですけど、やっぱり子供たちって和歌山に関わること、和歌山に関するものが教科書に出てると、そこですごく興味を示して、和歌山ってすごいなというような話も出るので、和歌山という地域教材の観点から見たときに、3社ちょっと比べられるのかなと思ったのと。あと、調査員の報告の中で、同和問題に関わるというようなお話もしてくださって。各3社、同和問題に関わる江戸時代の身分制度からという流れを見たときに、やっぱり取り扱いに若干違いがあったのかなというのは、3社を比べたときに感じたことなので、そのあたりどうやって採択していくのかなと

いうのも、考えなければいけない観点なのかなと感じています。

#### 岩西選定委員

教育出版では、この時間の問いというような形で、問いが出てますよね。そして日本文教出版は、キャラクターが問いを出してますよね。だから、教える側としたら、その問いに対する課題解決を子供たちがしていってくれるということで、指導しやすいとは思いますが、何かレールの上に乗せられてるっていうような感じも少しします。東京書籍は、ざっくりと、子供たちがはじめに自分の課題を作って、それについて学んでいく、調べていこうというような意欲というか、自分の問題として取り上げられるような教科書かなと思います。そのあたりが、子供の立場に立つか、先生として扱いやすいかというような教科書の作りになってるかなと感じました。

#### 横町選定委員長

他、お気付きのこと、ご意見ございませんか。東京書籍だけが6年が、上下分かれていますよね。

#### 市川選定委員

分冊ですね。

#### 横町選定委員長

道徳も、教科書とノートが別々の会社と一体型みたいなのがあったのと一緒で、5年生も分かれていますよね。その辺とかはいかがなんでしょうね。

#### 市川選定委員

6年生はたぶん使いやすいです。歴史と政治・国際編で分かれているのは、非常に使いやすい。ただ、だから、厚いんです、これ1冊だと。だけど、最近は、社会科の教科書なんかは、たぶん学校に置いています。ランドセルが重いということで、あまり持って帰らないようにしている学校が多いと思います。以前は、これちょっと重いのではないかというような話もあったんですけど。ただ、分冊のまま使いやすいんですよね。交互にできるみたいな感じはとってもあります、こっちのほうが。

#### 横町選定委員長

他、いかがですか。それでは、ただいまご審議いただいた内容を調査審議結果としてまとめるということで、よろしいですか。それでは、審議した内容を調査審議結果としてまとめることと決議します。

---

#### —生活—

#### 横町選定委員長

次は、生活の調査員に入室していただきます。それでは、生活についての調査審議を行います。まず調査員から、調査結果の報告をお願いします。

#### 小林調査員

生活科調査員の有功東小学校の小林和歌です。生活科は、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、光村図書、啓林館の順にご説明をします。まずは、東京書籍からご報告させていただきます。どの単元も、見開きのダイナミックな活動写真から学習がスタートしています。写真の子供たちも非常に表情豊かで、知的好奇心を刺激するものです。また、ページを開くと、上巻56ページの「むしとなかよくなるう」のように、子供たちがやってみたくなるような具体的な学習活動が書かれていて、子供たちがわくわく感を持って活動することができます。その下には、はてなやびっくりマークで、子供が持つであろう思いや疑問を大切に、問題解決学習を促しています。「やってみよう」のページでは、単元の学習をとおして身に付けた力を用いて、主体的に行える活動も紹介され、自立し生活を豊かにしていくことを目指した生活科の目標に合っているといえます。また、下巻の36ページのように、児童が生活科ならではの見方・考え方を生かして学習している様子を、具体的にイラストで例示しています。吹き出しを見ると文字情報が多く、子供たちの思考を助けるものとなっています。そして、個別最適な学び、友達同士の交流、学校外の多様な他者との交流など、さまざまな場面でICT機器の活用例を具体的に例示しており、多様な活動の形態を促すことができると考えます。下巻74ページのように、単元のまとめには、活動しっぱなしではなく、友達との交流をとおして児童が学びを深めていく様子が示され、ICT機器を活用した表現活動や、意見交流の具体例、板書の例もイラストで多く示されており、教師の指導の際のヒントにもなっています。

続きまして、大日本図書です。教科書が春・夏・秋・冬の季節の暮らしに合わせて展開されていく点、また、さまざまなタッチのイラストで構成されているのが特徴といえます。問題解決的な学習を促すために、キャラクターの投げ掛ける課題をクリアしていくような見開きになっています。単元の振り返りには「きもちマーク」というのがあり、児童の発達段階を考慮して、表情を書き込むことで、自分の気持ちを表現させるようにしており、生活科で必要な自分自身を振り返ることも意識させています。家族を大切にしており「かぞくだいすきだよ」の単元の他にも、上巻の60ページには「かぞくとなつをたのしみたいね」下巻の46ページには「みんなで食べるとおいしいね」など、家族との会話や交流を促すページがあります。また、上巻の秋に栽培したイチゴを、下巻の春に「しゅうかくしたよ」としてスタートするなど、系統立っています。また、二次元コードがかなり多くあり、デジタル教材を問題解決や個別最適な学習に使うことができます。例えば、上巻82ページの白黒写真のページの二次元コードを読むと、木々が色づいていく様子を動画で見ることができるなど、工夫もあります。下巻の43ページのように、ところどころに「せいかつことば」があり、関わりのある言葉や言い回しを紹介したり、「きらきらことば」で、人との関わりが深まる言葉を紹介したりしています。

続きまして、学校図書です。4人のキャラクターが学校生活を送っていく、ストーリー性があるのが特徴です。単元ごとに主となるキャラクターが変わり、その子の言葉・吹き出しで学習が展開されていきます。そのため、学習に必然性が生まれ、児童もともに学んでいくことができます。学習内容が「探検」「栽培」「遊び」「飼育」「家族・成長」の5領域に分類され、色分けされています。上巻の栽培領域では「わたしのあさがお」と、あさがおの栽培に限定し、子供がじっと種を観察する写真や植木鉢をどこに置こうか探す写真など、種を植えるところから種の収穫まで、細かく段階を分けて活動が紹介されています。「生きもの大すき」では、初めて触れ合う生き物として、1年生の発達段階に応じて、温かさやより命を実感できる小動物、モルモットを取り上げ、みんなでかわいがったりお世話をしたりする様子が紹介されています。上巻では、単元末は発展ページで終わりますが、下巻になると単元末に「ふり

かえろう」のページがあり、発達段階に合わせて、さまざまなまとめや表現方法を紹介しています。また、もっと何々したいなのページで、子供たちの活動が生活科の時間だけにとどまらず、自分の生活のなかで続いていくことを期待しています。その他にも「ものしりのうと」「ものしりずかん」など子供が自分で学習を進めていくヒントが豊富に載っています。

続きまして、教育出版です。どの単元も、上巻24ページのように、単元の初めのページには、下に目次とその単元の位置付けが書かれていて、1年間の学習を見通しながら学習を進めることができます。「わくわくスイッチ」から始まり、経験や意欲の違う児童が、まずそれぞれのスタートを意識できるようになっています。そして、単元最後の「なにをかんじたかな」のページで、私の何々を見つけたり書いたりするなど、振り返りをする流れになっています。どの単元もこのようなパターンで、使いやすい教科書になっています。学習目標を達成できるよう、各ページ左上に、学習のめあてが記されています。また、その隣にサイコロマークがあり、ここで育みたい資質・能力が表されているため、子供たちはもちろん、教師にとっても指導や評価のヒントになります。問題解決的な学習を促すため「はてな」「いぐら」というキャラクターが、子供たち一人一人の思いや願いを引き出す言葉を投げ掛けています。また、下巻の18ページのようなクイズが幾つか載っており、そのページ内に答えが載っていないため、友達とわいわい言い合ったり、自分で調べたりするきっかけづくりになっています。吹き出しは20字程度で読みやすく、写真や子供の作品、イラストなどが多く配置されています。観察が難しかったり、安全面を考慮しなければならなかったりするものは、二次元コードを読み取り、学ぶことができるようになっています。動画や図鑑、ワークシートなど、何の二次元コードか見れば分かるようになっています。

続きまして、光村図書です。表紙を見て分かるように、ヨシタケシンスケ氏が企画段階から参画し、イラストを多用しています。児童の発達段階を意識し「こんなこともあるかもよ」など、児童が共感できる書き下ろしイラストが随所に掲載されています。学習目標が達成できるよう、各単元、導入ページ、展開、振り返りの流れで分かりやすくなっています。導入ページは、見開きの2ページにダイナミックな写真が使われており、児童の意欲を喚起します。上巻36ページを例に1時間の学習の流れを見ると、ページ左上に学習課題、見開きの2ページに活動の写真や学びを助ける吹き出し、右下に振り返りと、問題解決的な学習を意識しています。また、児童の見方・考え方につながる試行錯誤のポイントを「学び方のヒント」として、各ページに示しています。「もっとやってみよう」では、学んだことを生かし、自主的に取り組めることを促しています。児童の学習アイテムとして、辞典が別冊になっており、簡単に持ち運ぶことができるようになっています。下巻のほうには、情報機器の使い方、インタビューや表現の仕方などがあり、中学年になっても活用できるような充実した内容になっています。また、生活科は、保護者への理解や協力を必要とする場合があるため「保護者の皆様へ」のコーナーが随所にあり、内容のねらいを説明し、協力を仰いだり、声掛けのヒントを紹介したりしています。

最後に、啓林館です。各単元「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3段階で構成されており、問題解決的な学習が展開できるよう工夫されています。紙面右下の「めくり言葉」で、次の学習に向けての思いや願いを表現し、学習の活動のつながりや広がりをサポートしています。「ぐんぐん」のページでは、振り返りですが「できるかな できたかな。」と、自己評価の視点を示し、振り返りをする中で、自分ができるようになったことへの気付きにつながります。また「ひろがるきもち」で、次の活動への意欲を持たせるようにしています。学習形態としては、グループワークで児童が学習を進めていく様子が多く例示されており、絵本、新聞、巻物、パンフレット、ポスター、紙芝居など、多様な表現方法も紹介



されています。板書例も豊富なため、教師にとってのヒントにもなります。また、一人一台端末を持って探検に出かけてインタビューをしたり、発表時にはICTを活用し、電子黒板などを使っていたりする様子が、児童の学習のヒントにもなります。二次元コードのコンテンツも数多く、虫の声が聞けたり、けん玉の技やおもちゃの作り方の紹介など、個に応じた一人学習も可能なほど充実しています。「びっくりずかんLIVE」では、上巻の34ページのようにインパクトのある写真も掲載されていて、児童の興味や関心を高めることができます。以上、報告を終わります。

#### 横町選定委員長

ありがとうございました。それでは、各委員の皆さんからご質問はありませんか。

#### 塩谷選定委員

各社ともに、学習の流れがすごく丁寧に書かれているという印象を受けるんですけども、そういう、先生に対するヒントや子供の支援につながる言葉が各社の説明の中に出ていますし。また二次元コードについても非常にたくさん掲載しています。特に1社は突出して多いんですかね。その辺の情報の多さというようなことについては、指導する側としてどんなふうにお考えなのかなというところを聞かせてください。

#### 小林調査員

情報量、生活科で教科書を使う時間は、実際は多くはないかなと思っています。字も、吹き出しの話もありましたけれども、自分たちのなかでは、ちょっと吹き出しの字が多いよねとか、字が小さいよねというような話もありました。二次元コードも、光村図書は、安全と危険なことを紹介する二次元コードしかなかったんですけども、その他の会社は、いろんな遊びを紹介したりとか、資料であったりとか安全であったりとか、いろんな二次元コードが付いてたんですけども、すべてが活用できるわけではないかなとは思っています。でも、例えば「おもちゃを作ろう」の単元では、おもちゃの作り方というのが、二次元コードを読めばいくつも見ることができ、本当に子供たちがそれぞれに、それを読み取って見る事ができれば、すごく便利なものになるかなと思っています。

#### 岡部選定委員

スタートカリキュラムなんですけども、2社については、ページの大きさを違うふうにして、12ページとか丁寧にスタートカリキュラムが掲載されているものと、あと例示的なもので示されているという会社もあったんですけども、そのことについて、何か調査員のなかで、使いやすさとか、そういう点でお話に出たことがありましたら、お教えください。

#### 小林調査員

スタートカリキュラムに関しましては、どの会社も意識はされてるんですけども、東京書籍と啓林館は、別冊になっているところが使いやすいかなというのは話に出ました。

#### 岡部選定委員

各校で、スタートカリキュラムって今、教育計画とかにも入ってきていると思うんですけども、そことの兼ね合いで、あんまり詳しくすぎたら余計に使いにくいとか、でもやっぱりあったほうが参考になっていいよねとか、そういうことが、話の中で出ていたらと思ったんですけど。

#### 小林調査員

スタートカリキュラムがあったほうが、やっぱり使いやすいというような先生方、担任をされる先生方からすると、あったほうが使いやすいという話がありました。

#### 塩谷選定委員

どの教科書を見ても、例えば肌の色、髪の色とか、あるいは車椅子に乗っていたりとか、いろんな部分に配慮しないとイケないような構成になっているかなと思っているんですけど。そんな中で、家族のことをすごく取り上げてるようなお話もあったように思うんですが。世の中の風潮がそういう状況にあるなかで、家族を突出して取り上げた場合に、逆にマイナスになるような、そんな印象とかいうようなことはありませんか。

#### 小林調査員

それはちょっと話に出ていまして、例えば、啓林館では、家族という単元をなくしているように書かれています。そういう会社が多いなかで、この会社の特徴かなと思って、大日本図書ですかね、家族を取り上げています。それがいい悪いの話まではしていません。

#### 市川選定委員

実際、1年生の2学期から3学期にかけての単元で、確かに、啓林館と東京書籍については、自分がこんなことができるようになったよというような内容になってるんですね。今は、和歌山市では啓林館を使ってる。たぶん東京書籍は、全国的に見てもかなり多くの学校が使っている。自分たちが使っている教科書が家族っていうのを外してやってる。でも実際は、学校では、こういう授業をするときは、やっぱり身の回りの自分の家族とか、自分と関わる人に感謝の気持ちを持つとか、そういうことをとっても大事にしていますよね。先ほども調査員がおっしゃったように、教科書を主にやるわけではない。教科書にこれがあるからやるわけではないけど、子供もこの教科書は見ますしね。そういう意味で、家族の単元が今後なくなっていくということについては、ちょっと寂しいなと思うんです。でも、現場では続いてやっていくんだろうけど。そういう配慮をして、この教科書を活用してほしいな。ないから扱わないというのではなくて、やっぱり子供たちの実態に応じて使っていけばいいのになと思います。

#### 北山選定委員

それと関連があるかもしれないですけども、2年生のところで、自分が今まで大きくなってきたというところの取り扱いもずいぶん変わってきてるなと感じました。家族という問題、子供たちの背景がいろいろあるなかで、赤ちゃんのときの写真を持ってきて自分の生い立ちをずっと語れない子もいるなかで、配慮が必要だということが、どんどん広がってきて教科書に反映されてきているのかなと感じました。今、市川委員がおっしゃられたように、違ったら悪いんだけど。やっぱり大事にしなければいけ

ないことというのは絶対あると思うんです。それを自分が担任したり接したりしている子供たちのなかで、どういうふうに扱うことが一番子供たちのためにいいのかということ、すごく考えて、取り扱わなければいけないところがたくさんあるのが生活科だなと思います。若い先生方が増えているなかで、教科書をそのまま教えたらいいやんってなっていくと、いろんな背景によって、子供たちが傷付いてしまったりするかもしれないということ、やんわりと分かるように、教科書を作ってくれてるのかなと感じましたので。それぞれの出版社の考えで、いろんな取り扱い方をなさってると思うんだけど、そういうことが分かって指導していける先生方を導いていけるようになったらいいなっていうようなこと、これ見せてもらいながら思ったんです。市川委員が思われていたことと一緒にどうかは分かりませんが。

#### 市川選定委員

一緒です。

#### 小林調査員

2年生のときの学習の自分の振り返りのときに、赤ちゃんからの写真を持ってくるみたいなのがなくなっている会社もあることに関しては、調査員の中では、これ寂しいなというようなお話は出ていました。あと、1年生の冬の暮らして、昔遊びが載っていない教科書があつて、やっぱり昔遊びの単元、地域の方との交流なんかもそのころによくする学校もあるかと思うんですけども、そういうのも欲しいよなという話はしていました。

#### 塩谷選定委員

文科省のほうからも、置き勉をしてもいいよみたいな通知が何年か前に出ていたような記憶があるんですが、先ほどの教科書の活用状況からすれば、あまり気にならないかもしれないんですけど、教科書サイズってあるじゃないですか。学校図書なんかは、変形の、ちょっと小さめのA4版ですね。啓林館が一番小さいA2版みたいなのあるんですけど、ページ数はあんまり変わらないので、大きさとかそんな部分が、生活科の教科書に関して、あんまり気にならないですか。

#### 小林調査員

そうですね。話には出たんです。啓林館なんかは、比べるとやっぱり小さいんですけど、でも今使っている分には何も感じないという話になりました。

#### 塩谷選定委員

実際、教科書は持ち帰りますか。

#### 小林調査員

今の学校では持ち帰っています。

#### 中井選定委員

私も塩谷委員が言ってくださったように、家族という言葉がずっと気になってたんです。学校教育って、その家族ってどこまでを指してるんでしょうか。今、ひとり親世帯がすごく多くて、様々な事情を抱えた家族、家庭があるんですけども、お父さん、お母さん、兄弟の家族なのか、おじいちゃん、おばあちゃんとかも含めて、そういった家族を大事にしようっていうふうに教育をしてるのかというところで、家族とは、と思って。子供たちって、学年によってたぶん響き方がすごく違うと思うんです。思春期である4、5年生の家族で、そういうふうな事情を抱えてたら、これを強調して授業で展開するといふときに、また低学年とでも違うし。家族ってこの写真、114ページ見てみたら、おじいちゃんとかおばあちゃんも載ってるので。学校ではどうですか。

#### 小林調査員

決まりはないんですけども、例えば、家族の仕事について調べようみたいな感じで扱うのは、両親、おじいちゃん、おばあちゃん、兄弟ぐらいのことを指して家族と言っていると感じます。

#### 横町選定委員長

生活科、僕は教えたことないんですけど、生活科が2年生まであって、3年生から理科と社会に大きく分かれていくじゃないですか。そしたらその生活科の下のほうでやるのか分からないんですけども、生活科の教科書のなかで、これは理科的な、これは社会科みたいな、こういうのにつながっていくのかなみたいなことが意識されてるのは6社の中で特徴とかはなかったんですか。

#### 小林調査員

それは、教科につながるマークが入っている教科書とかはありました。でも何もない教科書もありました。

#### 横町選定委員長

そういうところを意識しているところもあればということですね。

#### 小林調査員

そうです。

#### 横町選定委員長

分かりました。他、ございませんか。他に質問がないようでしたら、調査員には退室していただきます。ありがとうございました。

#### 横町選定委員長

それでは、調査審議に移ります。皆さんには教科書についての調査研究をお願いしていたところです。ただいまの調査員の報告や各自お調べいただいたことから、各社の特徴についてご意見をいただきます。

#### 湯川選定委員

東京書籍を見ていて、ほんとに写真、子供の表情が大きくて、生き生きした姿がぱっと目に入るんだけど。子供たちが学習するにつけて、くらいついていく力っていうのはものすごくあるのかなと。それと、東京書籍だとこの種とか芽とか、比べられるような工夫もされていた。生活科というのは本当に子供たちがわくわくする、やってみたいなって、そんなものはものすごい大事だなと。この写真もイラストもそうだけでも、それがやっぱり大事なんだな。生活科、あまり私もやったことないんで言えないんだけど。ちょっと気になるのは、領域、探検とか栽培、飼育、あと遊びかな。家族もあると。結構、先生によってその領域というのは、栽培が好きな先生は栽培を重点に置いてしまう、そんなのあるのかな。私は今、百姓していて栽培に凝ってるんだけど。栽培が好きな先生だったら、そこに迫っていく。その辺、生活科っていうのは、みんな均等に学習を進めているんですかね。

### 梅本選定委員

栽培とか飼育というのは、年間通じてやっていく単元で、あとは家族であったりとかそういうのは、その中で季節に合わせてやってるけども、やっぱり継続していくものと、学期ごとでこうするというんで、そんなポイントでやっていくものかなと思ってるんですけども。だからどこにポイントを置くというよりも、今言ったような単元の特性でしていくっていうのかな。それともう一つ、生活科は理科と社会の下請け教科ではありませんみたいな感じのことを、よく前は聞いていて。でも、私も見ていて、これはこの教科につながるみたいなことを書いているっていうのは、そういう意識はやっぱり持っているかなければいけないのかなとは思ってるんだけど。例えば算数とか国語とかがこの教科に関連とか連動していますっていうのと、生活科が社会とか理科にというの少し違うのかなというのを、見ながら感じました。東京書籍の生活科と理科を比べてみたら、やっぱり似ているところがあって、チョウの観察であったりとか、その種のとかというの、写真の使い方とかも似てるから、やっぱり生活科と理科との関連みたいなのを考えて編集しているのかなというふうには思いました。

### 宮本選定委員

私も低学年をあまり持ったことがないので、生活科って実際やっていないですけども、調査員の方のお話とか聞いていて、図工の教科書と似てるかなと思いました。それは、授業のどこで使うのかというところがはっきりしていないのかなというところです。光村図書のヨシタケさんのこの絵。この本持って帰りたいと思うんだけど、せっかくのイラストも、これ授業で使うのかな。1人で読むのはいいけども、授業では使わないだろうなとか思ったりする。実際どうなんですか。教科書って授業のどの辺で使ったりするんですか。

### 市川選定委員

単元によりますよね。例えば先ほどの家族の、家のお手伝いみたいな単元であれば、それをもとに話ができるんですよ。僕の家はこうだ、私の家はこうだみたいなそういう扱いができる。ただ、自然の観察、秋見つけとかになると、本当に地域が違うんでね。そういう地域、近くに公園や自然があるという地域とは全然違うので、資料的に子供たちが見て楽しむ。だから、案外大きな判の教科書は、子供の表情が大写しになってますよね。これはどちらかというと、子供がその写真を見て楽しいわけではないと思うんです。先生がそれを見たとき、こういう子供の姿、笑顔、あるいは関わりが生まれるよ

うな活動をしよう、そういうような見方ができると思うんです。東京書籍とか啓林館は、写真がすごく明るいです。これはたぶん、子供が見たときにパッと明るく見える。割と他のところは暗いですね。それはやっぱりその意識があるのかな。子供が見たときどう感じるか、先生が見たときどう感じるかっていうのを、教科書会社は意識してる。使いやすいついていうよりも、そういうところなのかな。案外、この単元は理科のどことつながってますよみたいなこと書いているけど、それはほとんど見ませんね、教員は。ただ、教科書会社としては、それは学習指導要領にも載ってることなので一応網羅はしてますけど、そう重要視はしてないような気はします。

#### 岩西選定委員

個人的には、啓林館の内容が子供の自主的な活動を支援する内容になってるなど感じます。光村図書は、先ほど意見もありましたように、こんなこともあるかもよっていうような内容で、子供たちがこんなことあるあるっていうことで共感して興味を引くし、それから、キャラクターのちょっとしたつぶやきもいいんだけど、このつぼにはまってる、私はつぼにはまったんですけども、子供たちはどうなんだろうなって。大人感覚では、そうそう、そういうことあるよねっていうふうに思って、子供たちも同じように、私を感じたように思ってくれたら、そうだそうだ、あるよね、もっと調べたいよねっていうふうにつながっていけるんだけど、教科書をさほど使わなかったら、読んでくれてるかなっていうような気もします。

#### 横町選定委員長

生活科の教科書の使う場面というか、それによっていろんな問題解決的なところがあるのだけでも、それよりも、湯川委員が言った写真のインパクトとか、そういうことが子供にとってはみたいな感じの意見の方もあるかと思うんですけども、その辺のところについて、ご意見ございませんでしょうか。その他のことにつきましても、ご質問、ご意見ございませんか。ただいまご審議いただいた内容を調査審議結果としてまとめるということですのでよろしいでしょうか。それでは、審議した内容を調査審議結果としてまとめることと決議します。

---

#### 理科

#### 横町選定委員長

続きまして、理科の調査員に入室していただきます。それでは、理科についての調査審議を行います。まず、調査員から調査結果の報告をお願いします。

#### 岩崎調査員

理科調査員の木本小学校、岩崎仁です。東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館の教科書について調査結果を報告いたします。それでは、まず最初に東京書籍です。「レッツトライ！」というセクションでは、具体的な問題が提示されています。これにより、子供たちは問題を把握しやすくなります。さらに、学習の過程を1本のラインでつなぐことで、現在学習している内容や問題解決の過程を意識しやすくなっています。学習のまとめが明確になっており、振り返りのページでは、科学概念の習得の過程を再度振り返ることができます。教科書には、各学年で育成したい思考力、判断力、表現力な

どの資質能力の内容が記載されています。巻末には内容の系統性が示されており、単元ごとに既習の単元との比較も説明されています。さらに、中学校で学習する内容も記載されており、学習内容の系統性も図っています。教科書内のキャラクターの吹き出しには、見方、考え方を促すような発言が記載されており、子供たちには積極的に学ぶ姿勢を養うことができます。デジタル教材も各教科書より多数記載されており、子供たちは個別のペースやグループに合わせて学びを進めることができます。プログラミングについてもすべての学年に記載があります。これにより、子供たちはプログラミングの基礎を学ぶことができます。写真やイラストには男女の比率に偏りがなく、服装も固定的なイメージにとらわれていません。また、車椅子の子供のイラストや、多国籍の子供たちも登場しています。さらに、単元の終わりには、こんなところにも理科の世界探検部というセクションがあり、学習してきたことと関連のある職業人が紹介されています。これにより学習のつながりを意識し、キャリア教育を促す内容となっています。

続きまして、大日本図書です。学習の三つの流れが詳細に記され、目標達成のための進み方が明確に示されています。また、問題解決の過程が「見つけよう」「調べよう」「つたえよう」という三つのステップに分けられ、学習の視点が明確化されています。単元の終わりには振り返りのページがあり、巻末にはすべてのまとめが一括して記載されているため、単元の復習や理解の確認が簡単にできます。漢字には発達段階に合わせてルビが振られ、言葉の選択も、3、4年は予想しよう、考えようですが、5、6年生は予想、考察と、成長に応じたものになっています。さらに、他教科との関連も考慮されています。巻末資料にて他教科との関連が記載され、児童の実態や発達段階に合わせた表記がなされた学年のまとめも巻末に一括して記載されているため、復習やまとめ学習にも便利です。各単元には、見方、考え方を働かせるための着目点が提示され、子供たちの深い思考と興味の引き出しに寄与しています。教科書のなかには「りかのたまてばこ」というコーナーもあり、中学校の学習内容や科学者に関する情報が掲載されています。これにより、和歌山市の目指す子供像、より良い社会の形成者を育てる内容になっています。最後に、全面的に読みやすいUDフォントが使用されており、現代的な諸課題でもバランスよく配慮されています。科学技術やキャリア形成、SDGsなどの重要性も学ぶことができます。

続きまして学校図書です。学校図書は、子供たちが科学の概念を理解する過程で、問題解決に意識を向けるような工夫がされています。具体的には、分かりやすい図や写真、キャラクターが使用されて学習を進めるのをサポートしています。また、問題解決の過程が子供たちに意識されるよう、チェックシート形式で記載されています。子供たちの発達段階に応じた資質能力が明確に示されています。算数科との関連も考慮されており、例えば6年生の教科書では、てこと比例などの教科横断的な記載があります。また、単元ごとに見方、考え方について詳しく説明されています。例えば6年生の月と太陽の単元では、平面的な見方から空間的な見方まで進んでいく学習の過程が示されています。各概念を確実に定着するために振り返りのセクションが用意されており、学習のまとめや感想などが記載されています。また、問題解決の項目にチェックを入れたり二次元コードを活用したりすることで、個人やグループで自主的な学習を進めることが容易になっています。教科書内では写真と文を対応させて、スモールステップで内容を説明しているため、器具の使い方などが分かりやすくなっています。さらに学校図書は、子供たちが学んだ知識を実生活で活用できる力や、科学への有用感を育てることを目指す記載が見られます。例えば科学者の社会やメッセージが掲載されたり、単元末には学んだ内容を生かした暮らしや仕事に関する記載があったりします。

続きまして、教育出版です。教育出版では、SDGsに関連した問題解決のために必要な資質能力が、各学年で明示されています。教科担任制に即した記載も見られました。教科書の使い方も分かりやすく説明されており、単元の初めには学習のつながりと、思い出そうというセクションがあり、既習内容との関連性を確認できます。また、実験などで注意する点も随時記載されており、子供たちがスムーズに学習に取り組めるよう工夫されています。さらに、教科書の裏表紙には理科の安全の手引きが掲載されており、注意事項を簡単に確認することができるようになっています。各単元の終わりには、学びを広げようというセクションがあり、学んだことを深める場面が設定されています。また、問題解決の力を育てるために、何年生の力というマークが付けられており、発達段階に合わせて設定されています。これによって中学校との内容のつながりも分かります。各教科との関連性も考慮しており、算数と関連するコンテンツは算数とのつながりのマークで表示されています。自分たちの考えを伝え合い、学び合おうというセクションでは、会話の表現方法や、国語科で学んだ力を生かすための工夫がされています。見方、考え方においては、鍵マークとマーカーが使用されており、子供たちが注意しやすい工夫がなされています。さらに、子供たちにとって身近な和歌山の地形の写真も教科書に掲載されています。例えば6年生では土地のつくりの単元に和歌山市と熊野川の写真が、5年生では流れる水と土地に熊野川の写真が掲載されています。

最後は啓林館です。啓林館は、問題解決の過程を理解しやすくするために、図や写真、キャラクターを活用しています。学習の過程を視覚的に表現し、科学的な概念を身に付けやすくしています。学習サイクルである、見つける、調べる、まとめるのステップも、視覚的に理解しやすくなっています。キャラクターの吹き出しのなかでは、見方、考え方に関するマーカーがあり、問題解決に必要な比較や関連付け、条件整理の手助けをしています。また、写真に和歌山県や近畿地方の地形や施設など、身近な写真が多く使用されており、子供たちにとって問題を把握しやすくなっています。他の教科との関連も多く示されています。例えば5年生では、メダカの誕生にて近大マグロ、植物の発芽では、シードバンクの記載にて社会や総合的な学習等を関連させながら、学習を進めることができます。巻末には、算数の窓も掲載されています。このように、教科横断的な学びを促すことができます。和歌山市の目指す子供像、豊かな心において、共存社会の担い手としての意識を育むために、SDGsの諸問題に取り組むさまざまな人々や事例が掲載されています。このようにSDGsの観点に配慮されており、世界が抱える課題について、理科をとおして多角的に考えることができます。例えば5、6年生向けの「with the Earth」では、防災や自然災害について科学的に問われることで、防災について主体的に考えられることができます。

#### 横町選定委員長

ありがとうございました。それでは、各選定委員の皆さんからご質問はございませんか。

#### 宮本選定委員

例えば6年生の地層の学習でしたら、見学に行けないってということもあると思うんですけど、そんなときに二次元コードで資料を見たりとかすることになるのかなと思うんです。各社、確認してないんですけども、二次元コードで出てくる資料というのはどれくらい詳しいとか、重点にしているものが違うのか。例えば写真を豊富に載せているとか動画になっているとか、調べてあったら教えていただけた



らと思います。

#### 岩崎調査員

各教科書とも、地層はなかなか見学に行きづらいところもあるので、一番はじめの部分に、このように写真が見開きで掲載されている教科書の方が多いです。また、東京書籍であったり啓林館であったら、二次元コードがたくさん使われていて、地層に関わる情報を確認することができます。

#### 宮本選定委員

それは動画ですか。

#### 岩崎調査員

地層そのものという動画というよりは、表面からは観察しにくいボーリング資料の動画であったりします。

#### 宮本選定委員

単元全体っていうよりも、そこで詳しくというような、そういうような紹介の仕方みたいですか。

#### 岩崎調査員

そうですね。地層そのものの写真はどこの教科書にもあるんですけども、動画で地層のみっていうのは、私が確認した中では見当たりませんでした。

#### 宮本選定委員

ちょっとこだわっていたのは、学習のスタートで見せるような動画なのか、それとも学習をやっている中で、さらに詳しく知るために見るための動画なのか、その辺を知りたかったのだ。

#### 岩崎調査員

動画が一番多いのが東京書籍、それで啓林館、あとは横並びのような状態になります。動画の内容も、学習を進める上で観察しづらいものに焦点を当てているというのが多いです。また、教科横断的なものであったり、観察の方法や注意点であったり、最後に振り返ったり発展につながる資料であったり、そういうものです。

#### 坂本選定委員

今も二次元コードのことがあったんですが、二次元コードだけがあって、ブラックボックスみたいな形で見てみないと分からないっていうか。説明の書いているものもあるけれども、あと、動画マークみたいなものがあったりとか。何か使いにくい感があるんですけども、調べてみてどうですか。いろんな会社あるんですけども、二次元コードが200もあったら、それを見るだけで、それを取捨選択するだけですけども時間がかかるような、そんな気がしてしょうがないんですけども、各社の特徴みたいなもの、ありますか。

#### 岩崎調査員

顕著なのが、東京書籍と学校図書で、対照的になっているなと思います。東京書籍は、主に体験的な動画などが中心になっているのかなと思います。各学年で数百の二次元コードがあります。逆に学校図書なんですけど、二次元コードが使われているんですけど、主に科学概念を定着させるための振り返りシートの活用、そういうものが多く見られました。なので、教科書によって少しその内容が違うところはあります。

#### 坂本選定委員

教科書なんですけど、実験のときなんか、私は現役のときに理科をやっているときに、教科書を回収して実験に入ったという記憶があるんですけど、教科書をそのまま子供に見せていくと、実験結果まで全部出ているじゃないですか。そのあたり、現場で今指導されていると、実験のときなんか、教科書はどういう扱いをされているんですか。

#### 岩崎調査員

先生たちが、理科の授業にどれだけ慣れていくかによるかなと思います。例えば1年目の先生とかは、教科書がすごく頼りになるのかなと、私は思っています。なので、子供たちとともに教科書の内容を確認しながら実験を進めてみようか、結果はこうなったね、どんなふうに考察しようかっていうふうに使われたりする若い先生がおられるかと。理科の授業に慣れてくれば、先に教科書を見てみようかとはなりづらいですかね。

#### 坂本選定委員

先生によって違うっていうことですかね。経験によって変わってくるということですか。

#### 岩崎調査員

そうですね。ただ、経験を重ねても大事なところでは教科書に戻ることがあって、教科書に戻ったときに今の学習と本来のねらいがずれていないのか、それを振り返ることができます。問題解決の過程がどの教科書にも記載されているので、教科書によってそういったことが意識できるかなと思います。

#### 梅本選定委員

今と関連してるんですけども、自分自身、理科は専科の先生がしてくださることが多かったんですけどもその動画っていうのが各教科、今、すごくたくさん載ってるけども、理科こそすごく必要なというのを感じています。特に私みたいにあまり理科が得意でない者がどんなときに教科書を使うかという、実験でよく失敗をするわけなんです。こんな結果になるはずけども、例えば五つグループがあってもなかなかそれが成功しないっていうことが多くて。そんなときに例えば動画でものの溶け方であったりだとか、そういうのがよく分かるようなのがあったときに、ちょっと今日は失敗したけれども、正しくはこうなるんだよと、どちらかいうと学習の最後のまとめのところで、そういうのが見られるようなものがあればいいなと思ったんですけども。そういうのが載ってる教科書というのはありましたか。

### 岩崎調査員

例えば、5年生でろ過の仕方というのは、理科の授業を初めてするとかあまり得意でない先生にとってはすごく時間がかかったりもたついたりする場面があります。啓林館を例に挙げると、この手順を動画で見ることができます。正しいろ過の仕方を子供たちと一緒に確認することができるので、結果というよりは、実験方法を確かめることに効果があると思います。東京書籍でも、このような動画が見られました。

### 市川選定委員

イメージでしゃべって申し訳ないんですけど、和歌山市の小学校の学力調査とか全国学テの状況は、たぶん理科はあまり良くないというのが続いていた。去年の結果を見ると、上向いてますよね、別にテストの結果がどうこうというわけではないんですが、実際、この教科書を使って授業をして、その結果が出てるということから考えると、僕のイメージですよ、和歌山市は理科だけに限らず、どちらかという見方・考え方を鍛える。理科であれば科学的なものの見方・考え方を。算数でいけば数学的などという。スモールステップで1個ずつ積み上げていくということももちろん大事なんだけど、どちらかといえば子供の見方・考え方、社会でいうと探究のようなことを鍛えるっていうのが中心であったような気がするんです。そういう教科書の選び方をしていると思うんです。その結果、学テの成績が良くなければ、これは良くないな。どこかで方向転換せなあかんというのは、たぶんどどの教科でも見えてきている部分なのかなと思うんですけど。これもイメージですよ。理科は、そういう科学的なものの見方・考え方を鍛えてきた結果が、今現れてきていると。だから教科書を選ぶときは、やっぱり和歌山市の場合はそういうものが大事なのかなと、僕はイメージを持っているんですが。教科書会社によってはスモールステップでやってるというのも実際ありますよね。やっぱり和歌山市の子供たちにとっては、科学的なものの見方・考え方、探求のようなことを身に付けることが、科学的な力を付ける近道だとお考えですか。

### 岩崎調査員

そうですね。

### 梅本選定委員

市川委員がおっしゃったことで、算数でもやっぱり東京書籍だったら専門性の高い内容を扱って、これは教科担任制のことを見据えてこう作ってますみたいなのところがあつて。特に理科とか、算数とか、英語とかというのが、小学校でも、内容的にも専門性の高いところを求めているというか、そういう傾向があるので、だから教科書うんぬんとか、担任が全教科担当するのを前提で考えていったら、なかなかこの先難しいなっていうことがあったので、教科書プラスそういう指導体制をどうしていくかということも同時に考えていかないといけないっていうのを、理科とか算数とかの教科書を見て感じました。

### 岩崎調査員

もちろん見方・考え方もすごく大切だと思っています。私たちがちょっと陥ってしまいがちなのは、実験その結果、科学概念がどうついたかとか、どんなこと分かったかというところについてしまうところ

ろがあるんですが。ただ、理科において、どの教科書も大切にされてるのが、問題解決の過程だと思えます。子供たちが、先生に言われて実験しよう、先生に言われて振り返ろう、ではなくて、教科書で学習の過程を振り返りながら、今、僕たちは予想してるんだ、今、僕たちはこれを確かめるために実験してるんだっていうことを意識して、自分たちが、今何をしてるかという学習の過程を意識するための記載が、各教科書にはとても多く見られるのが分かりました。その中でも、学校図書ではその学習過程のところをより強く意識していると感じます。学習過程の中で、今、何をしてるのかと自分が振り返りながら、チェック項目にして振り返られるようにしています。

#### 岩本選定委員

今、教科担任制を意識した教科書があるように説明をしてくれた教科書会社があったと思うんですけど、その全体の教科書を通じて、もちろん担任が授業するっていうことも含めて、こういう点は教科担任になってもどの教科書も対応しているとか、この教科書は特に、それに特化しているとか、そういった特徴みたいなものはあったりしますか。

#### 岩崎調査員

教育出版であれば、例えば実験、観察などの、実験のプロセスで、ひと休みやりましょうという記載があったと思います。学級担任なら継続的に観察をすることができるんですけども、教科担任制ではその時間で区切ってしまうところがあるので、休憩時間などで時間を取れますよというような記載を入れています。そのように、教科担任制のことも考えながらというような記載が見られていました。それは各教科書の中では教育出版だけかなと。

#### 横町選定委員長

他はいかがでしょうか。今、教育出版とおっしゃられたんですけども、この特徴のなかに、ここだけ教科書の裏表紙に、理科の安全手引きってあるんですけども、この書かれてる中に。理科って実験するときに、やっぱり一番安全面、事故とか、たまにいろんなニュースとかでも、ええっとびっくりするようなことがあるんですけども、写していただいたなかには、この巻末じゃなくて、ところどころ、いろんな実験のところでは、危険とか、注意とか教科書に示してるのもあるのかなと思うんですけども、これは各社、どこの教科書もそういう面への配慮はあるっていうことですかね。

#### 岩崎調査員

そうですね。それぞれの実験の手順の中で、注意すべき点とかは書かれています。

#### 横町選定委員長

それともう一つ。自分が、理科専科をしてもらっていたところもあれば、自分がしたときもあるんですけども、科学者とかそんな人を見たら、理科好きってこんな子供にしていかなあかんのやなみたいな、いろいろ感じることもあるんですけども、そのときって、教科書に書いてる実験、例えば水溶液だったら、これは酸性かアルカリ性かみたいな、そして、酸性、アルカリ性ってあるんですよ、ってあるんですけども、子供たちが、振り返りのところで、こんなの分かったって。じゃあ、やっぱり理科好きな先生

は、これはどうやろみたいな感じで子供から出そうなことをバツて準備してるんですよ。そしたらやっぱり子供が関心をもち、これはどうなんやろとなる。発展じゃないんですけども、そんなの子供の関心に単元末で応えてくれるような、そんなところもあるんですか。

#### 岩崎調査員

どの教科書も、まとめのあとに、次に広げていこうっていうふうな発展的な教材だったり、中学校に触れるような内容であったり、また、ものづくりなどができるような内容、次につなげる内容が用意されています。やはりまとめだけで終わらないように、どの教科書も。

#### 坂本選定委員

プログラミングで一つだけ紹介があったと思うんですが、他の会社の教科書にもプログラミングっていうのは、6年生の部分であったように思うんですが。6年生の電気の利用かそのあたりの単元のところで。

#### 岩崎調査員

どの教科書も、例えば、教育出版であれば、ちょっと見にくいんですけども、ここにプログラミングのことなどが触れた記載があります。学校図書も6年生にあります。電気のはたらきのところで、電流のはたらきのところで、多く記載が見られます。ただ東京書籍は、3年生から6年生まで、すべての教科書にプログラミングの記載が見られました。

#### 北山選定委員

教科書の大きさなんですけれども、啓林館が小さいですよ。こんなに大きさが違うんだなと思ったんです。そして、東京書籍の写真すごくインパクトが強いですよね。学ぶことをはっきりと打ち出した大きな写真が各単元で出てますよね。例えば、5年生でものの溶け方のところを見たんですけども、写真が大きいとやっぱりはっきりと意識付けられてるかなと思います。理科ってすごく導入が大事な教科じゃないかなと思うのですが、そこで何を持ってきて、どういうことに興味をもって、その単元を学んでいくのかが、すごく大事になると思います。その教科書の大きさだとか、そこに取り上げている実験例であるとかというのは、ずいぶん教科書会社によって違うような気もするんですが、その辺のところのお話し合いとかがもしあったならば教えていただきたいなと思うところが一つと、単元通して問題解決的な学習が進められていくと思うのですが、導入して、予想して、実験して、結果が出て、まとめして、次へと、何かルートに乗ったような形になっていくような学習の流れがここはあるかと思うんですけど、そうはいかないときもありますよね。全然違うことを子供たちがすてきなことをもっと見つけてきたりとかして、単元の流れが変わっていったら、最終的に学ばなければいけないことをきちんと学んで、単元が終わっていくんだと思うんですけど、そういうことも含めて総合的に話し合いされていたら教えていただきたいなと。

#### 岩崎調査員

導入の部分で問題をつかむというのは理科の一番大切なところなので、東京書籍が一番大きくされて

るんですけども、どの教科書も単元のはじめ部分には大きな写真があるかと思います。例えば、地学単元であれば、なかなか見学に行ったりするのが難しいところなので、特に大きくされています。ただ、北山委員が言ってくださったように、問題解決の過程っていうところで、問題をつかむ、予想するっていうのをどの教科書も順序だてているので、その教科書の写真や資料だけで授業を進めてしまうと、なんとなく順番にやっついこうかということになってしまう恐れがあります。まず先生たちが、教科書を投げ所にしながら、子供たちと一緒に、今僕たち私たちは何をしてるのかな、問題をつかんでるところやな、結果はどうなったのかなって、投げ所に戻りながら学習することが大事だと思っています。その点で学校図書は、問題解決のステップを振り返ってチェックを入れることができるので、より意識的にはできるのかなというところがあります。ただこれが、オートメーション化というか、問題解決の過程が形骸化しないかっていう恐れはあるので、教科書だけで学習してしまうには危うさがあると思うので、先生も子供たちも、問題解決の過程を意識していかなければならないっていうところはあると思います。

#### 横町選定委員長

他、ございませんか。ないようでしたら、調査員には退出していただきます。ありがとうございます。それでは、調査審議に移ります。皆さんには、教科書についての調査研究をお願いしていたところです。ただいまの調査員の報告や、各自お調べいただいたことから、各社の特徴について、ご意見をいただきます。

ご質問の中で、理科も専科の学校が増えてきて、梅本委員が算数でもとおっしゃっていただいていたみたいに、今までの教科でも、経験が浅いとか、どの先生でもとか、そういうようなご意見もあったと思うんですけども、理科を選ぶときには特に、専科の先生にというよりも、誰が担任しても使いやすい視点で考えていったらいいのかな、それとも、どうなのかなとは、話を聞いていて思うんですけど、その辺でも、ご意見ございませんか。

#### 梅本選定委員

ちょっと教科書からは離れるかもしれませんが、専門性の高い教科は、専科と違って、教科担任制で学年間でやったりとかするほうが、先ほど市川委員の学力調査のお話もありましたけれども、なかなか、担任も固定されてしまうっていうのかな。算数なんかでも、言い方は適切かどうか分かりませんが、例えば6年生の分数のわり算であったりとか、図の読み取りなんかも難しかったりとか、5年生の割合とかそれに関連っていうのもあります。だからそういう専門性の高い教科っていうのは、誰でももちろん指導できるっていう体制もいいかも分からないけど、やっぱり教科担任制の方向がいいかなというのを、特に今回の改訂の教科書を見て感じました。

#### 市川選定委員

確かに今、学校では、結構、専科担任制みたいなものが増えてはきているのが現状だと思います。ただ小学校の教員というのは、一応全科を教えるという前提で教員免許が発行されてるわけです。専門性っていう言葉をとられると、いろんな意味の専門性があると思うんです。例えば理科的な内容を専門的に詳しいというものから、先ほどの科学的な認識を育てるために、実験・観察、それをどのように子供のなかで話し合わせるかであるとか、考え合わせるかであるとか、その専門性というのは、いわば教

員としては最も大切な専門性になるんです。梅本委員がおっしゃってるのはそういうことではないと思うんですが、自分らがあまりにも教科の専門性を小学校で言い過ぎると、私がさっき、学テの結果から聞いたのは、やっぱり間違っていない。今、和歌山市で教科書を選ぶときも、そのスモールステップで知識理解を、とにかく詰め込むっていったらおかしいですけど、そういうことだけではなくて、子供が主体的に学ぶということを、大切にしているんだって、たぶん言ってくれるかなと思って聞いたんです。だから、そのあたりと、専門性、教科担任制というのは、教科担任制ってこれから必要にはなってくる、これはもうあるとは思いますが。でもそんななかでやっぱり、自分らの専門性というものを、いろんな意味で見直す機会にもならんといかんのかなとは思いますが。

#### 塩谷選定委員

教科担任制の部分は、少しやっていた学校におりましたので、実際、国が、教科書会社に教科担任制のことを前提に話をし、説明会を持って作らせているか、そんなところは定かではないですけども、国が動こうとしてる方向と、学校現場で起こっている実態と、あまりにも差があり過ぎて、なかなか追いついていかないというのが実際のところかなと思っているんです。和歌山県で、教科担任制のための先生がどれだけ配置されてるか。また、仮に配置されたとしても、それに見合うだけの先生の数があるのかっていうところもあるし。だから、教科書だけが走っていったところでどうしようもないっていうところもあるかと思うんです。で、今、市川委員おっしゃったみたいに、やっぱりあくまで小学校の教員というところがあるので、1教科に突出した力を付けるというよりは、前提として、いろんな教科を教える、学級担任として。そんな力をやっぱり付けていくっていうのが、先生にとっては、ベースとしてあるのかなというふうに思うんですけど、ちょっと逆行するような話になって、あれかもしれないですけど。

#### 宮本選定委員

私も雑賀崎にいたので、教科担任って、理科は複式補充の講師の先生がやってくださることが多かったかなと思うんですけども、専門性というよりも、ほんとに、誰でも、その教科書を見たら教えられるっていうのかな、そういうのがいい教科書になるのかなと思います。

#### 尾上選定委員

先ほど外国語でも、専科の話もあったので、ご意見だけと思うんですが、和歌山市でも、外国語の専科の先生が配置されてる学校もあって、その先生方の授業、やっぱり上手な先生もたくさんいらして、専科もいいなと思うんですが、でも一方で、担任の先生がされる外国語の授業もすごいいいものがあった。となると、担任の先生がするからこそその良さと、複数回授業をやる専科の先生で、最後の授業とか見せてもらったら、1回目よりは、最後のほうがずいぶん良くなっていたりもするので、どちらがいいとかでもないかなと思います。ただ教科書としては、やっぱりどの先生も使いやすいもののほうが、担任の先生であっても、専科の先生は自分で工夫されたりとか、もちろん担任の先生も工夫されると思うんですが、どなたでも使いやすいものがあるのかなと外国語に関しては思います。

#### 北山選定委員

私も、理科を高学年で持ったときに、何が大変だったかという、準備がやっぱり一番大変だったかなというのを振り返ると思うんです。実験の道具を準備したりとか、専科の先生だったら、それを、1回器具を出して、何クラスか。教科担任の先生もたぶん何クラスか分をそれで1週間やって。次の授業に、前授業の続きとして。でも、担任だったら、1回やって片付けて、次の準備。それがほんとに大変だったかなと実際思うんです。だから、どうしても専科の先生に来ていただきたいと担任の先生が思ってしまった理由の一つにその教科の専門性っていう部分もありますけど、そちらの部分もあるのかなとちょっと思ったりも。そこから考えると、私も写真のインパクトとか導入のことをちょっと申し上げたんですけど、インパクトのあるもので、子供をぐっと引き付けるっていうのはすごく大事だし、教科担任制や専科の先生だったら、すごいものを準備する時間があるならば、子供が喜ぶものを持ってきてあげたら、すごく楽しい理科の授業になると思うんですが、なかなか担任しててそこは難しいかなと思うので、教科書に導入で載っているものを参考にして、たぶん先生方はご準備なさるだろうなと思うと、やっぱりこの導入の写真とか、教具とかってすごく大事になるんじゃないかなっていう思いもあって、そういう意味で、担任の先生が、忙しいなかで、準備して、楽しい授業ができるような、導入が載ってるような、誰でも使いやすい教科書であったほうがいいのかな、その上に、専門性のある教科担任制だったら、そこにプラスアルファしていったらもっといいものができてきたりするのかなというふうに、皆さんの話も伺いながら思いました。

#### 岡部選定委員

先ほど動画の話も出てたんですけども、昨年度は、5年生の流れる水のはたらきの授業を見せていただく機会があって、そのときに、その学校は、流れる水のはたらきを実験できるような大がかりな、そういう装置があったんですけども、でも、それを子供たちが自分の一人一台端末で撮影してという、そういう流れだったんです。なぜかという、1回実験ただけで、堆積やの浸食やのというのは、すぐに見つけられるかっていうところがあるので、何回も繰り返し自分が撮った動画を見て、それで、ここ何か溜まってきてる、あそこ削られてきてるっていうふうにして見つけていくっていう、そんな授業を見せていただいたときに、やっぱり動画。そういう装置がある学校っていうのも、50小学校全部あるわけではないと思うので、なければ、動画で繰り返し自分が何回も見えていくなかで見つけていくっていうことができると思うので、私も動画をすべて見きれないんですけども、やっぱり理科っていう教科については、動画って今はほんとに大事になってくるのかな、採択する上での視点では大事になってくるかなという感想っていうか、去年、実際授業を見せていただいて思いました。

#### 横町選定委員長

いかがでしょうか。先ほど図工のときに、宮本委員も言われたみたいに、教科によって、教科書の活用の仕方っていうのも違ってらんだなって思います。国語、算数、理科、社会とか、先生も教科書を参考にするというか、教科書にウエイトのある教科と、生活科だったらあまり見ないとか、図工もおっしゃっていたみたいにあまりそうでないものもある。そしたら子供にとってインパクトがあるものが大事というのがあるのかなと。でも理科だったらやっぱり、先生にとってもメリットがあって、そういうところも考えていかないといけないなと感じているんですけども。他の観点からでもご意見、ご質問ございませんか。



それでは、ただいまご審議いただいた内容を、調査審議結果として、まとめるということによろしいでしょうか。それでは、審議した内容を、調査審議結果としてまとめることと決議します。

長時間にわたり、調査審議、決議いただきました。ありがとうございました。これをもちまして、第4回和歌山市立小学校中学校および義務教育学校教科用図書選定委員会を終了します。

## 第5回 選定委員会の会議の議事録

各教科・種目の答申及び答申資料の審議

## 会議録

### 1 日時

令和5年6月28日（水）

会議開始時刻 17:30 会議終了時刻 22:00

### 2 会場

教育文化センター 4階 大会議室

### 3 出席者

#### ○選定委員会

選定委員長	横町 真紀				
選定委員（学識経験者）	市川 圭造	岩西 啓子	梅本 優子	岡部 美代恵	
	尾上 利美	貴志 雅代	北山 圭子	坂本 雅城	
	塩谷 通功	三宅 秀夫	宮本 信吾	湯川 泰成	
選定委員（学校代表）	岩本 浩志				
選定委員（保護者代表）	津名 洋平	中井 亜希			

#### ○教科用図書採採択事務局

事務局長	利根 功一	（教育局長）
事務局次長	前北 博文	（学校教育部長）
事務担当課長	岩本 信哉	（学校支援課長）
	西谷 宣昭	（学校教育課長）
	竹内 圭	（教育研究所長）
事務局員	北林 直樹	（教育研究所専門教育監補）
	岩崎 朝蔵	（教育研究所専門教育員）

### 4 議事

#### 横町選定委員長

それではお忙しいところ、お集まりいただきましてありがとうございます。本日は16名の委員の方々に出席いただいております。過半数の出席がございますので、和歌山市立小学校中学校および義務教育学校教科用図書の採択に関する条例第10条第3項の規定により、第5回和歌山市立小学校中学校および義務教育学校教科用図書選定委員会を開催します。委員の皆様のお手元には、各教科種目担当の12名の委員の方々がかこれまでの調査審議内容をまとめてくださった答申および答申資料の案があると思います。本日は要項のと通りの順で、選定委員会答申資料案について、確認、協議、決議を行います。審議に入る前に再度確認いたします。当選定委員会の責務は、採択権者である教育委員会に対し、各教科の指導内容に即した教科書会社ごとの特色と工夫についての専門的、具体的な審議結果を答申として取りまとめ、報告することです。今回調査研究する全ての教科書は、文部科学大臣の検定を経たものであり、当選定委員会においては、どの教科書が適切であるかということを確認することを目的としていな

いと、再度確認したいと思います。ご理解ご協力をお願いします。

それでは本日の審議は、各教科書の特徴をまとめていただいた選定委員会答申資料案を基に、当該教科書を使用することで、児童がどのような学習を進めることができるか、できると考えるか。あるいは教員がどのような授業を展開できると考えるかといった点についての審議を行います。審議内容を受け、必要に応じて、答申および答申資料の案に加筆修正していただくこととしたいと思います。

---

## —国語—

### 横町選定委員長

それでは、審議に移ります。まずは、国語からです。貴志委員より答申案を基に、当該教科書を使用することで、児童がどのような学習を進めることができると考えるか、あるいは教員がどのような授業を展開できると考えるか、といった点について、ご説明をお願いします。

### 貴志選定委員

東京書籍、答申。各単元の言葉の力で、学習のポイントを明記し、確かに豊かな言葉の力を付けるために何をどのように学ぶかを、スモールステップの構造で明確に示しています。デジタルコンテンツを多く取り入れ、現代的諸問題や情報を扱う力の獲得を目指している教科書であります。資料。全学年で、4人の子どもキャラクターと2人のマスコットキャラクターが登場し、単元のねらいや学習のヒントを投げ掛けて、課題を身近に感じ、主体的に学習を進めることができます。話す・聞くの単元では、動画を視聴でき、単元導入や話し合い活動に有効です。各単元は、1、2年生は身の回りや生活科と関連し、3、4年生は他教科との関連を重視、5、6年生は意見文を書く教材もあり、全て動画を視聴できます。読む単元の冒頭には、扉のページが見開きで2ページあり、単元の目標と作品へいざなう文を載せています。教材は子供の心に沿った、また、学校生活であるような現代的な内容もあり、意欲的に取り組めると思われます。学習の流れは「見通す」「取り組む」「ふり返る」というスモールステップ式の学習の流れが確立されていて、特に「取り組む」の内容は、具体的で丁寧に示しており、指導の手順が分かりやすいと考えます。また、ローマ字の学習は、3年上下巻で合わせて8ページで、下巻では「キーボードで入力してみよう」があり、丁寧に扱っています。単元の導入に活用できる音声動画や、漢字の練習問題等のデジタルコンテンツが充実しており、各学年とも、個に応じた指導やオンライン学習にも対応でき、教師の負担軽減にもつながると考えます。以上です。

教育出版。答申。子供たちの身近な問題や、現代社会に向き合う教材を通して、多様で活発な言語活動が取り組み、他教科や実生活で生かせる言葉の力を身に付けていけます。学習ステップを手引きに、子供が主体的に取り組むことができる教科書であります。資料。巻頭に「何年生で学ぶこと」を示し、1年間で何を学ぶのかが分かります。全学年にフクロウと6人の子供キャラクターが登場し、学習のヒントや疑問を投げ掛けて、単元のねらいに導いています。話す・聞くの単元では、3、4年生は読むことや書くことへとつなげた単元を、5年生はディベート、6年生はパネルディスカッション形式の学習を設定しています。書くことの単元は、1、2年生は生活科に関連した単元を、3、4年生は社会科や総合学習に関連した単元、5、6年生は説明文の学習後に書いたり、意見文を書いたりしています。以上のように、話すこと・聞くこと、書くことの単元は、他教科や実生活に役立てることができると考えます。次に、読む単元には扉のページがあり、単元の末尾には「たしかめよう」「くわしくよもう」「ま

とめよう」「つたえあおう」の順に学習の手引きを示し、「ふり返ろう」では項目をチェックできるようになっていて、確かな学習を目指しています。3年上巻には、コンピュータ入力の学習も取り入れています。デジタルコンテンツ「まなびリンク」は、作者や筆者の情報が得られたり、NHK for Schoolの動画資料を視聴できたり、確かな学びにつながると考えます。

光村図書。答申。各学年とも、系統的に多様な取り組みができ、さまざまな言語活動を通して、豊かな言葉の力を子供たちに育めるように編集されています。教材は、各学年の発達段階に応じて学習意欲を喚起させる題材が多く、子供たちの主体的な学習を企図した教科書であります。資料。話す・聞くの教材は、各学年において、グループ活動を多く取り入れています。2年生から4年生は、グループ活動から発表形式の学習へ、5、6年生はスピーチ形式へと構成されています。書くの単元は、1、2年生は生活科に関連した題材を、3、4年生は地域、5、6年生はユニバーサルデザインなどを、発達段階に応じた題材を使っています。読む単元には「見通しをもとう」があり、問いと目標が示され「とらえよう」「ふかめよう」「まとめよう」「ひろげよう」の順に学習の手引きを示し「ふりかえろう」では、具体的な項目を挙げて振り返ることができるようになっています。1、2年生の説明文教材は、読むから書くへとつなげた単元構成になっていて、3年生から6年生の上巻の説明文教材は、2教材がセットになっています。平和教材が充実しています。3年生は「ちいちゃんのかげおくり」4年生は「一つの花」、5年生は「たずねびと」と伝記「やなせたかしーアンパンマンの勇気」では、主人公の戦争体験が伝えられています。6年生は説明文「平和のとりでを築く」を付録に掲載しています。以上のように、物語教材・説明文教材ともに、長年親しまれた教材が掲載されており、多様な学習展開が期待されます。また、5年論語や、6年古典芸能、柿山伏など、伝統的な言語文化の教材が多く掲載されています。

#### 横町選定委員長

ありがとうございました。国語の答申案について、ご意見はありますか。

#### 岡部選定委員

細かいことですが、教育出版社の各単元のところなんですけど、教科名なので、「社会科」や「総合的な学習」のほうがいいのではないかと思います。真ん中あたりです。

#### 貴志選定委員

真ん中あたりの右のほうですね。直しておきます。

#### 岡部選定委員

小さなことなんですけど、教育出版の「書く」のところで、1、2年生は、生活習慣に関連した題材等と書かれていて、今、貴志委員、単元とおっしゃられたと思うんです。今度、光村図書の同じ「書く」のところは、教材という言葉を使われて、題材っておっしゃられたと思うんですが、題材と単元と教材と、どうすみ分けるかって、統一しなければいけないことはないかとは思いますが、どうかなって思ったので。

#### 貴志選定委員

今のは何か線引きをするってということですか。自分自身もそういうことは使い分けてるんですけども。

#### 岡部選定委員

統一するってということには、別になってないと思うんですけど。

#### 岡部選定委員

書かれてるときと、おっしゃられたことが違ったので、それご質問等あるかもしれない、単元と題材はどう違うんですかっていうことはあるかもしれないなと思ったんです。

#### 貴志選定委員

そういうことですね。

#### 岡部選定委員

申し上げていた内容で、この会では特にそろえないといけないことにはなっていないかなとは思いますが。

#### 横町選定委員長

他、ございませんか。それでは今の点につきましては、別に統一する方向じゃなくということで。あとの2点については、訂正のほうよろしくお願いします。それでは、ただいまの皆様の意見をまとめて、答申案に加筆修正していただき、国語の答申として教育委員会に提出してよろしいですか。それでは、国語についての選定委員会答申および答申資料として議決します。

---

#### —書写—

#### 横町選定委員長

次に、書写です。岩西委員より答申案を基に、当該教科書を使用することで、児童がどのような学習を進めることができるかと考えるか、あるいは教員がどのような授業を展開できると考えるか、といった点についてご説明をお願いします。

#### 岩西選定委員

東京書籍、答申。課題解決型の学習過程や話し合い活動を通して、書く力を育み、学びを生活や他教科に広げられるように企図した教科書である。左右の利き手に対応できるように配慮し、重要ポイントを押さえた内容と理解しやすい紙面構成で、支援を必要とする児童へのきめ細かな工夫が見られる。学習の進め方は、「書写のかぎ」で学習のポイントを示し、1、硬筆で「書写のかぎ」を発見し課題を共有する。2、毛筆で大きく書くことで確認する。3、硬筆で別の文字を書くことで定着を図る。4、振り返る、自己評価をする。書写で学んだことを、普段の生活や他教科の学習に広げるという展開で、毛筆で使用する学習が、硬筆で書く力の基礎となるように構成しています。「1見つけよう」の学習場面に話し合いマークがあり、話し合う活動が設定されています。低学年の自己評価は「分かった」の1項目、3年生以上は「考えた」「分かった」「書けた」の3項目で、達成感を得られるように工夫しています。

鉛筆の持ち方や手の置き方が実物大で左右両方の利き手の写真が掲載されています。左利きの児童への毛筆用具の置き方も示しています。また、硬筆の練習では、教材文字と書き込み欄を上下に配置して、左手で教材文字が隠れないように配慮しています。見開きのページに、同じ学習過程は同じ場所に配置され、支援を必要とする児童にも理解しやすい紙面構成になっています。低学年では、点・画の書き方の特徴を、動物の動きや、とん・ぴたっ・ぴょんなどの音声を使って表現しています。挿絵や、筆順では色を変えて表記するなど、カラーユニバーサルデザインも多く取り入れています。1年生41ページのように、各学年、児童にありがちな課題などの例を出発点にすることで、学びを自分ごととして捉えられるように工夫しています。「学びを生かそう」では学習のまとめを、「生活に広げよう」では他教科や学校生活に生かせるように、「文字といっしょに」では国語科との関連教材や文字文化に触れ、伝統や文化を学ぶことができるように工夫しています。書写体操は歌付きの動画が見られ、楽しく体操ができます。

次は教育出版です。答申。学習の流れが明確に示され、課題解決に向けて、考える力や書いて伝え合う力を育めるように構成されている。書き方のコツや伝え合う楽しさを知り、習得した書写力を学校生活や学習活動に生かせるように、関連教材を工夫している。学習の進め方は、1、硬筆や毛筆で試し書きをしよう。めあてに沿った文字の書き方を知ろう。試し書きと教科書の文字を比べて、気を付けることを見つけよう。2、めあてに気を付けているか、確かめながら練習しよう。3、まとめ書きをして、試し書きと比べよう。めあてに気を付けて書けたか、友達と伝え合おう。4、学習した書き方を、他の文字にも生かそう。というように、学習の流れが明確に記載されているので、主体的に学ぶことができます。試し書きとまとめ書きを比べることで、自分の課題が解決したところを伝え合い、友達の文字の変容を認め合う活動を大切にしています。全学年「よくできた」「できた」「もう少し」の3段階評価で自己評価をすることができます。運筆リズムを、とん・すうっ・ぴたっなどの音声やキャラクターの動作で、分かりやすく表現しています。3年生14ページでは、筆の穂先の向きが理解しやすいように、時計の針にたとえたイラストで表現する工夫をしています。また、3年11ページでは、筆圧と線の太さの関係を、写真や音の表記を使って分かりやすく説明しています。各学年の「レッツ・トライ」や「書いて伝え合おう」では、縦書きや横書きの教材をバランスよく配置して、他の学習や生活のなかで生かせるように工夫した内容となっています。「知っておこう」では、手紙や封筒の書き方、季節のあいさつなどが掲載されています。鉛筆の持ち方や毛筆用具の持ち方について、左利き児童への配慮が見られます。1年生では、鉛筆と箸の持ち方を比べることで、共通点と相違点が理解しやすいように工夫しています。1、2年生の動画「えんぴつのもちかたのあいことば」では、無理なく楽しんで正しい鉛筆の持ち方ができるように工夫をしています。

次は、光村図書です。答申。児童が主体的に課題発見・課題解決ができるように学習の流れを明確にし、場面や状況に応じて適切に書く能力を高めるように設定している。猫のキャラクターでポイントを分かりやすく示して、基礎・基本を身に付けさせるとともに、楽しく学習できるように工夫している。学習の進め方は、1、整った文字を書くための決まりを見つけよう。2、書き方を確かめて、毛筆で書こう。3、学習したことを生かして書こう。という学習構成で、主体的に学べるようになっています。自己評価は「ふりかえろう」で、本時のねらいに気を付けて書けたか、書いたかをチェックするようになっています。話し合い活動は、1の決まりを見つけたり、2の書いた文字を確かめたりする場面で設定されています。鉛筆や筆の持ち方、肘の動かし方など、アップの写真やイラストとともに、分かりや

すく説明しています。キャラクターの動きや、とん・びたっ・すうっなどの音声、「ななめほさきちゃん」などでポイントを示し、鉛筆や筆使いを直感的に理解できるように工夫しています。硬筆・毛筆ともに、左右の利き手の持ち方や用具の置き方は、動画で見られます。硬筆の練習では、左手で文字が隠れないように、縦にマス目を配置し、シンプルで分かりやすいレイアウトで、支援が必要な児童にとっても、学びやすい紙面です。6年生20ページでは、ユニバーサルデザインの筆記具を掲載しています。3年生では、小筆の使い方について、見開きの2ページに説明しています。4年生の「SDGsブック」では、書写学習を通して理解を深めることができるように工夫しています。5年生1、2ページ「手書きの力」は、東日本大震災の翌日に新聞社が発行した壁新聞が掲載されており、手書き文字には活字とは別の力があることを感じられます。各学年の「書写広げたい」では、学習したことを他の教科に生かせるように構成しています。「もっと知りたい」では、文字への興味・関心を高め、「ことば」では、国語科と関連した教材を扱い、書いて味わうことができます。書写体操と整理体操で、書くための体づくりの動画が見られます。以上です。

#### 横町選定委員長

ありがとうございました。書写の答申案について、ご意見はございますか。それでは、ご意見はございませんので、岩西委員より報告いただきましたことを、書写の答申として教育委員会に提出してよろしいですか。それでは、書写についての選定委員会答申および答申資料として、議決します。

---

#### —社会—

#### 横町選定委員長

それでは次は社会です。市川委員より答申案を基に、当該教科書を使用することで、児童がどのような学習を進めることができるかと考えるか、あるいは教員がどのような授業を展開できると考えるか、といった点についてご説明をお願いします。

#### 市川選定委員

まず東京書籍です。答申です。4段階の学習の進め方を通して、問題解決に至る学習過程が提示されている。また、児童が社会的な見方・考え方を働かせることができるポイントを、キャラクターが示している。イラストや写真、図表がバランスよく配置され、色使いも美しく、見やすい紙面になっている。内容です。まず、領土の問題です。5年生では4ページにわたって、ロシアに不法に占領されている北方領土や、韓国に不法に占拠されている竹島、中国が自国の領土であると主張する尖閣諸島に対する日本の立場を、本文中に記載しています。6年生、政治・国際編の学習のなかで、国旗と国歌の成り立ちや意義を詳しく説明し、自国だけでなく他国の国旗・国歌も尊重する態度を育てようとしています。次に人権についてです。6年生、歴史編に江戸時代の身分ごとの人口の割合グラフで、百姓や町人とは別に、身分上厳しく差別された人々を示し、明治の解放令、大正の全国水平社運動を経て、差別を受けてきた人たちが自らの力で差別をなくす運動を進めてきたことを述べています。和歌山の地域教材は、6年生、歴史編にノルマントン号事件、エルトゥールル号の遭難が、4年生に「地震からくらしを守る」では、和歌山県と和歌山市の取り組みを見開きの2ページで紹介するなど、地域教材を掲載しています。学習での活用の面から見ますと、どの学年も「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の四つの学習段



階で、問題解決的な学習展開を分かりやすくページの左側に示しています。また「まなびのポイント」や、社会的な見方・考え方について、広がり・時間・関係・比較・分類等について、ドラえもんが学習の手がかりになるポイントを示して、児童が主体的に学ぶことができる工夫がされています。最後に、全体的に見て写真やイラストがバランスよく配置され、児童が興味を持って学び進めることができるよう配慮している教科書であるということが言えます。

続きまして、教育出版です。答申。「この時間の問い」が示され、問題解決に至る一貫した学習過程を重視している。単元の導入では、大きく見やすいイラストや、写真、図表を示し、児童が興味・関心を持つことができるよう工夫している。選択教材や発展教材が掲載され、地域・学校の状況に応じて活用することができる教科書である。内容を説明します。まず、領土の問題です。5年生で2ページにわたり、ロシアに不法に占領されている北方領土や、韓国に不法に占拠されている竹島、中国が自国の領土であると主張する尖閣諸島に対する日本の立場を、本文中で紹介しています。また、6年生の教科書では2ページにわたり、現代的な課題として北朝鮮の拉致問題、ミサイル問題、沖縄の米軍基地問題にも言及しています。次に人権についてです。6年生の教科書には、江戸時代の身分ごとの人口の割合のグラフで、公家、僧、神官、百姓、町人とは別の身分にされた人々などをまとめて示しています。差別されてきた人々が、明治の解放令、大正の全国水平社運動を経て、差別をなくす運動に取り組んできたことを記載しています。和歌山の地域教材は、6年生の条約改正に関連して、ノルマントン号事件、エルトゥールル号の遭難、陸奥宗光を4ページにわたり紹介し、発展教材として南方熊楠を紹介するなど、和歌山の地域教材も掲載しています。学習での活用の面から見ますと、どの学年もページの左側に「つかむ」「調べる」「まとめる」というように、タグを付けて問題解決の道筋を示しています。時間の初めに「この時間の問い」に対して、中学年では毎時間、学習活動を3段階で示し、見通しを持って学習ができるように工夫して、1時間の最後には、次につなげるという呼び掛けをすることで、学習を次時につなげることができるように促しています。各単元の導入部分には見開きや折り込みで、大きな写真やイラストを掲載し、興味を持って学び進め、児童から学習課題を引き出すことができるように工夫しています。

続きまして、日本文教出版。児童の問いから始まり、調べ、解決し、まとめ、生活に生かすという社会科の問題解決学習の過程が示された教科書である。また、児童の交流場面を随所に示し、対話的な学びを促している。和歌山の地域教材が多く採用され、児童が親しみを持って活用できる教科書である。まず領土の問題です。5年生で4ページにわたり、6年生では2ページにわたり、ロシアに不法に占領されている北方領土や、韓国に不法に占拠されている竹島、中国が自国の領土であると主張する尖閣諸島に対する日本の立場を、本文中で紹介しています。次に人権についてです。6年生の教科書では、江戸時代の身分差別が現代にかけて解消に向かう過程を、渋染一揆、解放令、全国水平社運動等を取り上げ、自ら開放を求める運動が盛んに行われてきたことを記載しています。4年生では津波による災害として、濱口梧陵と和歌山県の取り組みを4ページにわたり紹介。また、自然を守る運動として、南方熊楠を4ページにわたり紹介。そのなかで華岡青洲、川端龍子も同時に取り上げています。また、5年生では「くだもの作りのさかんな和歌山県」として、有田のみかんづくりを4ページにわたって取り上げています。6年生の歴史学習では、エルトゥールル号の遭難について後日談も含め、2ページにわたり詳しく説明しています。学習での活用の面から見ますと、教科書の初めに学習問題の設定、学習計画の作成、問題の追究、さらに学習問題をまとめる、伝えるというように、児童が見通しを持って主体的に

学ぶことができる問題解決の流れを示し、本文中にも「学び方・調べ方コーナー」を設け、学習に必要な技能を身に付けるために「見る・調べる」「読み取る」「表現する」の3観点からまとめています。以上が日本文教出版です。以上です。

#### 横町選定委員長

ありがとうございました。社会についての答申案について、ご意見はありますか。

#### 湯川選定委員

社会科は、この二つの観点を分けて書いてますよね。保健では、どっちに入るのかなとややこしい内容もあると思う。この辺そろえる必要はないんですかね。二つの観点を挙げて、下にその説明っていうのか。

#### 梅本選定委員

私は分けずに書いています。

#### 湯川選定委員

そうそう。分けにくい。これはもう統一する必要ないのかな。

#### 市川選定委員

前回の社会科で分けて書いていたのでそのように書いたんですが、書きづらかったです。どちらに入れようかと。だから地図とちょっと社会では分け方が変わってくるのかな。ちょっとそういう感じはしたので、もう付けないのだったら、そのほうがありがたいです。

#### 横町選定委員長

今、見ると、あとで出てくる音楽とか家庭とか保健とかも観点が社会と同じように示されてるのだけでも、他教科はそれなしで、国語、書写のような形になってるんですけども、これって別に統一しなくてもよろしいですか。

#### 竹内教育研究所長

そうですね。前回も二つの観点を分けているところと、分かれてないところがありましたので、特に決まりはないので、どちらでも大丈夫です。

#### 横町選定委員長

それでは、それぞれの委員がまとめていただいたような形で、会として全ての教科を統一することはなしでお願いします。その他、お気付きのこと、ご意見ございませんか。

#### 岩本選定委員

東京書籍の上から二つ目の身分のところの表記なんですが、百姓や町人とは別に身分上厳しくされた

となっています。ここは、厳しく差別されたですね。

#### 市川選定委員

そうですね。直しておきます。

#### 横町選定委員長

他、いかがでしょうか。この日本文教出版の答申のところの、生活に生かすというときに、この生きる  
と活きるってどうですか。どちらか分からないんですけども。

#### 市川選定委員

検討しておきます。

#### 横町選定委員長

お願いします。他、ございませんか。それでは、ただいま皆さんからいただいた意見をまとめて、答  
申案に加筆修正していただき、社会の答申として教育委員会に提出してよろしいですか。それでは、社  
会についての選定委員会答申および答申資料として、議決します。

---

#### —地図—

#### 横町選定委員長

それでは次は地図です。市川委員より答申案を基に、当該教科書を使用することで、児童がどのよう  
な学習を進めることができるかと考えるか、あるいは教員がどのような授業を展開できると考えるか、と  
いった点について、ご説明をお願いします。

#### 市川選定委員

東京書籍からです、答申。イラストや写真が効果的に配置され、児童が興味・関心を持って活用でき  
る教科書である。また地図上の文字や記号の大きさや色を工夫することで、見やすい紙面になっている。  
学習者に見立てたキャラクターが随所に登場し、児童が楽しく学習することができるように工夫されて  
いる。内容のほうにいきます。まず領土の問題です。日本の北端として択捉島を紹介し、ロシアが不法  
に占拠を続けていて、日本の返還を求めているという記述があります。また、別のページでは尖閣諸島  
を紹介し、そのまた次のページでは、竹島を紹介しています。どちらも日本固有の領土であり、竹島は  
韓国に不法に占拠されていることを説明されています。続いて、伝統文化について。日本の伝統文化と  
して、歴史的景観、祭り、食文化を地図やイラスト、写真で紹介しています。地図上にも世界文化遺産  
を示す記号を配置して、子供たちが日本の伝統文化に親しみを持って学習を進めることができるように  
配慮しています。また、折り込み3ページにわたり、日本の自然災害についてを写真と地図で記述して  
います。地震や津波の被害だけでなく、大きな被害があった水害、土砂災害、大雪等まで詳しく示し、  
児童の防災意識を高める工夫がされています。地図を開いてみますと、キャラクターの吹き出しの言葉  
が児童の学びのきっかけを作り、また、クイズなどにより、児童が主体的に学び進めることができ  
るように工夫されています。また、地図上の地名を大きなはっきりとした文字で、特産物も大きな絵で示し、

児童にとっては見やすく読み取りやすい紙面になっています。また、紙の質もしっかりしていて、4年間の使用に耐えることができ、書き込みにも対応できるというような工夫がされています。以上が東京書籍です。

続きまして、帝国書院。答申です。初めて地図を手にした児童が、興味・関心を持って活用できるように工夫された教科書である。また、土地の高低差を表す色使いや、特産物を表す記号の大きさや色を工夫することで、見やすい紙面になっている。情報量が豊富で、地図に関連した資料が多いため、さまざまな学習場面において、補助資料として活用ができる教科書である。まず、領土の問題です。日本の領土とその周りとして、日本の東西南北端を示し、同じページで北方領土、竹島、尖閣諸島について取り上げ、日本固有の領土であることや、不法にロシアと韓国に占拠されていることを記載しています。見開きで日本の領土についてひと目で分かるように表記されています。また、1、2ページにわたり、地図の使い方を丁寧に示しています。文字や図が大きく、3年生の児童が見やすく親しみを持つことができる紙面づくりをしています。また「広く見わたす地図」ということで、各県の名所、特産物、伝統行事等をイラストで示し、それぞれの県の特徴を大まかにつかむことができ、児童の興味・関心を引く工夫もしています。近畿地方の地図を開いてみると、土地の高低を表す色使いや土地利用を表す色使いを組み合わせ、その地域の特徴がひと目で分かる工夫がされています。和歌山を見てみると、ピンクで示された果樹園が多くなっていることがよく分かる表現になっています。次に、日本地図の55ページに「江戸時代の結びつき」ということで、江戸時代の交通についてのページを設けたり、69ページに、江戸時代後期として江戸の街の様子や江戸時代のSDGsについて紹介するページを設けたり、また「日本の歴史」というページを設けて、年表と日本地図にページ数を示して、歴史の学習の資料として地図帳を活用できるよう工夫しています。地図として活用するだけでなく、資料集としても活用できる豊富な資料が掲載されています。最後に「日本の統計」のページでは、各都道府県のデータを見やすくまとめ、主な特産物を帯グラフで示し、各都道府県の特徴がよく分かるように工夫されています。以上が帝国書院です。

#### 横町選定委員長

ありがとうございました。地図の答申案についてご意見はございますか。

#### 尾上選定委員

東京書籍で、この下から四つ目のところに、折り込み3ページという表現あるんですが、外国語にも何かそう開いていくのがあって、それを折り込み3ページというのは、開いたらもう1ページ開くという、そういうことでしょうか。

#### 市川選定委員

ページが3ページ分。97、98、99になってるので。

#### 尾上選定委員

それで折り込み3ページという表現なんですね。

市川選定委員

見開きの2ページというのもあったんですけど、折り込んで3ページなので。

尾上選定委員

はい。折り込みもあったので、私もどう書いたらいいのかなと思って、ちょうど地図帳にもあったので、それを折り込み3ページという言い方でよろしいのでしょうか。

岡部選定委員

家庭科も3ページのところあります。

尾上選定委員

折り込み3ページですか。

岡部選定委員

ページ数3ページとしました。

梅本選定委員

算数もあるんですけども、何ページをお開きくださいって言ったら、開いたらそうなっているので、あえて折り込みも見開きも書かずにしました。

尾上選定委員

その辺はもう、それぞれでいいですか。

梅本選定委員

分かったらいいですよ。

横町選定委員長

その表記についても別に統一はいいんですか。

竹内教育研究所長

そうですね。特に統一はしていただかなくても、分かりやすい表現だと思いますけど。

尾上選定委員

分かりました。ありがとうございました。

横町選定委員長

他、お気付きのことございますか。それでは、修正しなくてもいいということをお願いします。意見がないようでしたら、ただいまの皆様の意見をまとめて、答申案に加筆修正していただき、地図の答申

として教育委員会に提出してよろしいですか。それでは、地図についての選定委員会、答申および答申資料として、議決します。

## —算数—

---

### 横町選定委員長

それでは次は、算数です。梅本委員より答申案を基に、当該教科書を使用することで、児童がどのような学習を進めることができるか、あるいは教員がどのような授業を展開できるか、といった点について、ご説明をお願いします。

### 梅本選定委員

初めに東京書籍です、答申。数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する単元構成、学習展開となっている。学習内容の習熟、定着ならびに次学年への学びの連動を意図したスパイラルな学習を重視し、単元構成、配列を工夫した教科書である。内容につきまして。6学年は1冊、それ以外の学年は2冊の分冊。1学年は入門期にA4判「はじめよう！さんすう」で、幼児期の体験や入学当初の学校生活の場から、算数の学びへとつなげていて、集合数と順序数の2単元を構成しています。入門期から絵、教具、図、言葉を関連付けた活動を取り入れ、思考力・表現力を養う素地づくりが図られています。1学年で扱う数図ブロックは、当社のみ入門期から10個1列の型を使用しています。1学年、繰り上がりのある足し算、繰り下がりのある引き算では、計算の定着のため、丁寧に授業が展開されています。10のまとまりを作って計算する過程が、ブロック操作、丸を使った図、足す数を分解する図、式、絵と、板書ならびにノート形式で示されています。数によって、足される数を分解する被加数分解による計算方法を選択できる、主体性を身に付けさせることを意図しています。繰り下がりのある引き算でも、同様の指導方法が展開されています。3学年「三角形と角」の導入は、円周を1、2等分した1、2個の点と中心、合計13個の点から任意の3点を直線で結んで三角形を作る学習から始まっています。他社は全て棒を使った導入となっています。既習の円の性質を活用した学習となっており、5学年の「正多角形と円周の長さ」の導入の活動とも連動しているものと考えられます。児童の苦手意識が強い「割合」を重要単元と位置付け、5学年の「単位量あたりの大きさ」の単元名に「比べ方を考えよう1」割合の単元名に「比べ方を考えよう2」と明記し、両単元の連動性を可視化しています。「比例」と「変わり方比べ」も同様の扱いとなっています。5学年以前の学年では「割合」の素地づくり、つまずきへの対応を考慮した単元が幾つか設定されており、児童に倍の見方、基準量等を意識させる単元構成がされています。2学年「かけ算」では、かけ算の意味理解の学習後、九九の学習前に、かけ算と倍の関係の学習が設定されています。3学年「倍の計算」「分数とわり算」4学年「倍の見方」6学年「比」なども同様に、丁寧な扱いとなっています。以上です。

次に、大日本図書です。答申。主体的・対話的で深い学びを実現するため、具体的な紙面構成とし、見方・考え方を働かせながら、思考力・判断力・表現力の育成を企図している。学校生活や日常生活のなかから問題を見つけ、さまざまな数学的活動や充実した適応問題で、知識・技能の定着を図ることができる教科書である。内容につきまして。2学年以上は1冊、1学年は入門期にA4判の分冊で、集合数、順序数、数の構成の3単元を構成しています。集合数の学習時は、5・5、2列のブロックを使用しています。また、学習の進め方が分かる工夫がされています。授業場面の写真やイラストで、児童の

話し合いや発表の仕方、指導者の発問例、板書例等を示しており、児童だけでなく、指導者にも参考となる紙面構成がされています。1学年「たしざん」では、アプローチを含め6ページにわたり、学習内容が詳しく展開されています。まず、答えが10になる足し算を考え、10のまとまりに着目させ、答えが10を超える繰り上がりのある足し算の計算方法の習熟・定着を図っています。72ページにはノート指導を行って、数に応じて計算方法を選択するという、主体的な学びについて記述しています。繰り下がりのある引き算も重点単元として、同様の紙面構成となっています。2学年、かけ算・九九は、当社のみ2の段から学習しています。かけ算の意味理解の学習後、九九、 $2 \cdot 5 \cdot 3$ 、4段の九九を学習して、倍とかけ算の学習を行っています。5学年「単位量あたりの大きさ」の単元アプローチでは、お買い得な商品や読書時間等、日常生活で体験する場面が取り入れられています。鉛筆1本あたりの値段、1日あたり読んだページ数と、生活経験から解決できそうな問いから、情報が不十分な問いで、何を調べればよいか問いかけ、本時の問題へと入っています。学習が進むなかで、思考のよりどころとなるページといえます。単元終盤でも、生活に密着したテーマ、買い物や災害時の場面を取り上げ、難解なイメージのある「割合」が、普段の生活に役立っていて、自分も活用していることに気付くことができる記述となっています。6学年、分数のかけ算・わり算では、整数の場合と同じように考えたり、かけ算やわり算の決まり、比例の考えを活用したりして解決することに重点を置いて、授業展開されています。これまでのかけ算を振り返り、数直線を用いて整数と同じように考える、既習を活用して、まず単位分数の場合で考えて、かけ算の決まりを使って整数のかけ算・わり算にして考えてと、丁寧に記述されています。他社に比べて、面積図は「このような図でも表せるね」といった記述でとどめています。大日本図書は以上です。

3番目、学校図書です。答申。身近な事象や児童の興味・関心に応じた題材から、児童自らが問題を見つけ、考え、解決していく学習の過程が可視化されている。算数科の学習のなかで問題を解決するとき、どのような見方・考え方をすればよいかということをも身に付けるとともに、身に付けた見方・考え方を、今後の学習や生活のなかで役立てていける児童の育成を企図した教科書である。内容につきまして。6学年以外は全て2冊の分冊。6学年は「中学校へのかけ橋」と題した別冊となっています。全学年ともA B判サイズです。1学年、数の学習では、A B判サイズの特徴を生かしたダイナミックな紙面づくりが生かされており、入門期の児童にとって見やすく、紙面上の操作もやりやすくなっています。入門期、ブロックは $5 \cdot 5$ の2列を使用しており、繰り上がりのある足し算、繰り下がりのある引き算では、10個1列を使用しています。全学年ともに、図や表を使って考える問題が多く取り上げられています。低学年では、ブロック操作や丸を使った図、数直線、線分図等を、問題に応じて扱っています。10のまとまりを作る方法や、操作の手順を唱えながらブロック操作したり、数に応じて計算方法を考えたりなど、丁寧な指導が示されています。繰り下がりのある引き算でも、同様の指導方法が提示されています。2学年「たし算・ひき算2」では、テープ図の書き方を5ページにわたり掲載しています。3学年では「倍の計算」では、テープ図と、数直線とテープを組み合わせた図を使用しています。4学年「倍の計算1」では、数直線とテープを組み合わせた図とともに、2量の倍関係を表す関係図に似た4マス関係表を使用し「倍の計算2」では、線分図も取り入れています。学年の発達段階に応じた図や表を活用した指導が丁寧にされ、5学年「割合」へのスムーズなつながりを図っています。5学年の「割合」では「割合1」「割合2」「割合のグラフ」と単元を分割して配置し、年間を通して割合の意味や用法の定着が図れるよう配慮されています。また、5学年以前の学年では「割合」の学習に苦手意識を持

たないように、段階を追って「割合」の素地づくりを行っています。巻末付録の教具が充実しています。2学年「ジャンケンレース」の3色のテープは、基準量が分かりやすく、同じ色のものをつなぐと、3つの量を比較できるテープ図が完成します。本単元でのテープの扱いが、次の単元「図をつかって計算のしかたを考えよう」につながっていきます。5学年の「円周の長さ測定値」は、直径と円周の長さの関係や、正多角形の周りの長さと、円周の長さとの関係が視覚化され、児童が扱いやすい教具となっています。その他の巻末付録教具も充実しており、指導者の教具づくりの時間削減や、不正確になりがちな児童の手づくり教具の一助となると思われます。

4番目、教育出版です。答申。問題発見力・解決力・追究力を培い、見方・考え方を働かせて学び合う児童の育成を図っている。日常の場面や児童の経験から問いを見だし、協働的に解決し、新たな問いを生み出し、学びをつなげることで会得した確かな学力を、学校や日常の場面に生かすことを企図した教科書である。内容につきまして、1・5、6学年は1冊、2・3、4学年は2冊の分冊です。1学年入門期は5・5、2列のブロックを使用し、繰り上がりのある足し算、繰り下がりのある引き算の途中から、縦並びの10個1列になっています。各社とも2学年以上の巻頭に、算数の学び方が掲載されていますが、当社はペアやグループで活動している場面や、1人学習の場面、一人一台端末活用の写真が大きく掲載されており、本文中にも多く示されています。1学年でも、カメラ機能を活用して記録する等、一人一台端末使用場面が扱われています。学習形態の変化を促しているものと考えられます。2学年、分数は単元名を「1を分けて」とし、まとめのページでも小題を「1を分けた大きさ」と明記しています。基にする量の重要性を強調しているものと思われます。3学年「わり算」は当社のみ包含除。包含除ってというのは、1、2個のあめがあります。2個ずつ配ると何人に分けられますか、という形が包含除と言います。等分除というのは、1、2個のあめがあつて、4人に同じように分けると、1人何個ずつになりますか、ということで、他の会社は全て等分除からですが、こちらだけ包含除から入っております。6学年「分数のわり算」では、1メートルの重さを求めることは、1あたり量を求めることである。それはわり算で求められる。わり算は1あたり量を求めるための式であるということを再確認しています。そして、5分の2わる4分の3では、3通りの計算方法をどの会社もしているのですが、板書の形式で分かりやすく提示しております。考え方や立式の根拠を書く位置も的確で整理されていて、意味理解の難しい分数のわり算の抵抗感を、多少和らげているものといえます。5学年「割合」では、当社のみ、基にする量を基準量、もう一方の量を比較量と記しております。以上、教育出版です。

5番目、啓林館。答申。日常生活を送る上で基礎・基本となる数学的な知識・技能を習得するとともに、筋道を立てて考える能力を育て、物事を合理的に処理する思考力・判断力・表現力等が育成できる学びを企図している。数学的な見方・考え方を軸とした単元構成、学習展開が計画され、児童が主体となって学べるよう、対話的・協働的な授業が工夫された教科書である。内容につきまして、5学年と6学年は1冊、それ以外の学年は2冊の分冊。1学年は、入門期にA4判「すたあと ぶっく」で、幼児期の体験や入学当初の学校生活の場から、算数の学びへとつなげています。集合数、順序数、数の構成、形遊びの4単元で構成しています。入門期から、身の回りのものや数図ブロックなどを操作する活動といった具体的・体験的な学びを通して、基礎的な知識・技能の習得を促しています。「すたあと ぶっく」では、1学年で扱う数図ブロックは、ケース入りの5・5の2列となっています。1学年の繰り上がりのある足し算でも、5・5のケース入りの2列を使用しております。10の補数に着目できるようにとの考えだと思えます。また、足す数のほうが10に近い場合も、その足す数を分解して、足される数、



他の会社は、数によって、前にある足される数を分けてということにしていますが、啓林館は、足す数を分けて計算するというをすごく重要視しているように思われます。それはやはり、基礎を定着させることを重要視しているからだと思います。他社では、そういうふうに数に応じたことをしているんですが「算数ポケット」というコーナーで、このようにしてもできます、というような扱いにとどめています。全学年ともに、図を使って考える学習を大切にしています。4学年の「小数のかけ算」では、関係図を使って問題の意味を理解し、数直線とテープを組み合わせた図で問題解決の糸口をつかみ、立式し、小数の場合はどうなるのかを予想し、学習のめあてを決めて、本時の学習へと進めています。この関係図というのも、他の会社はあまり扱ってはおりません。つまずきの多い内容を重点単元と位置付け、系統性を踏まえた考え方を育めるよう、丁寧に構成されています。5学年の「割合」では、「割合1」「割合2」「割合のグラフ」と単元を分割して配置し、年間を通して割合の意味や用語の定着が図れるよう配慮されています。他学年でも同じように、関連単元を丁寧に扱っております。5学年「面積」では、当社のみ三角形の面積を求める学習から始まっています。他社は平行四辺形からとなっています。6学年「データの整理と活用」では、大縄跳び大会の代表チームの決め方を考える問題設定で1単元を構成しています。問題設定からデータの収集、整理、分析、結果のまとめ、結論、プレゼンテーションの仕方までを考える問題解決の方法、PPDAC ですね、それに沿った学びとなっています。これは他教科での学習にも生かせる単元・学習となっています。啓林館、以上です。

最後、日本文教出版です。答申。数学的な見方・考え方を働かせた「わかる・できる・つなげる・いかす」数学的活動の充実により、児童の確かな資質・能力を育成することを企図している。算数の楽しさや良さを感じながら学習を進め、生活や学習の基礎となる力の定着を図ることができる教科書である。内容につきまして、5学年と6学年が1冊、それ以外の学年は2冊の分冊。1学年入門期は、B5判の分冊になっております。絵本形式で、これまでの生活が算数につながっていることや、これからの学校生活、算数の学習に期待を持たせるような紙面づくりがされています。集合数、順序数、数の構成の3単元を構成しています。学習の流れが分かりやすい紙面づくりがされています。6学年では、分数やわり算の決まり、単元導入前に前の学年の復習問題を示しております。145ページでは、単元導入前に前学年の復習問題があって、そして右ページに次の単元のアプローチというふうに、ページをめくることによって、次の新しい場面に入っていく工夫がされています。1学年で定着させたい知識・技能に関する指導が丁寧に扱われています。繰り上がりのある足し算での加数分解・被加数分解の手順、繰り下がりのある引き算での方法の手順なども、大変丁寧にされていて、言語表現の未熟な1学年の児童に寄り添った記述となっております。日常生活や学校生活のなかから見いだされた問題が多いなか、めあてに焦点化した問題づくりの工夫が見られます。5学年「円周と直径」では、直径が2倍、3倍になっている三つの同心円と、大きさの異なる二つの円が示されていて、直径の長さを変えると何が変わりますか、というような問題が出されています。4学年「四角形」では、3種類の長方形と2種類の三角形を組み合わせ、いろいろな四角形を作る活動が取り入れられています。他社では見られない工夫かなと思います。また、他社と同じく、5学年「割合」への抵抗を少なくするため、学年の系統性を重視した「倍の見方」の単元構成がされています。以上です。

#### 横町選定委員長

ありがとうございました。算数の答申案について、お気付きのこと、ご意見はございませんか。

### 岩西選定委員

内容じゃないですけども、形式で、例えば啓林館は、答申は左詰めになって、答申の下1マス空けて左詰めになっていますけども、他の3社のところは、2マス空けて文が始まって、左1列縦に空いてるっていうのが、どちらかにそろえておくほうがきれいかなと感じるのと、全体的に関わる場所なんですよけども、その下のところ、項目があって、文章がきて、次の2行目が左端にくると、点の下はずっと空いているのがあります。そこはもう自由にしておいていいのかなというのがあります。自由で良かったら、もうそれでいいと思うんです。ただ、元に戻るんですけども、市川委員の帝国書院のところだけ、真ん中から下、ちょっと他の社会のところと違うように、点の下からずっと空いてる。意味分かりますか。社会と地図の東京書籍は点があって左詰めになってるんですけども、帝国書院だけ途中から、点の下がずっと空いてきているので、そこはそろえたほうがきれいかな。

### 横町選定委員長

全教科統一じゃなくても、自分が担当してる教科で、今、指摘していただいたように、この点のあるところで、そろってるかそろってないかというのを見直していただくということで、一つはよろしいですか。

### 岩西選定委員

啓林館を他のにあわせるか、啓林館にあわせて他のを左詰めにしていくか、どちらかですね。

### 梅本選定委員

はい。手間のかからないほうにします。

### 市川選定委員

数学的な見方・考え方という言葉はどの教科書にも使っていますよね。社会でも社会的なとか、社会の見方・考え方というのは、今の学習指導要領は力を入れて言ってる場所だと思うんです。そしたら見たときに、東京書籍は数学的な見方・考え方と書いている。大日本図書は具体的な紙面構成として、見方・考え方をとしか書いていない。これ数学的な見方・考え方と分かるんだけど、次の学校図書は、算数の学習のなかでという例を出して、見方・考え方と言ってるんで、これは算数の見方・考え方やなって、数学的な。次の教育出版も、見方・考え方を働かせてここから始まる。残りは全部、啓林館も日本文教出版も、数学的な見方・考え方って書いている。ここらあたりは、いかがでしょうか。意識して変えてるのかな。

### 梅本選定委員

全部数学的な見方・考え方でその前後に、主体的とか対話的と何とか的というのがあったりとかすると、あんまり重なるってということで、書いていないものがあるかもしれません。もしかしたら。

### 市川選定委員

例えば、大日本図書の2行を読んだら、これ算数の答申なのか、何の答申なのか、もう一般的な、主

体的な学習の文言ですよ。

#### 梅本選定委員

答申は、その教科の答申ということなんで、それはもう分かっているといたら変ですけど、分かっているということで、その下の内容のところ、その数学的なことを思っているんですけども。

#### 横町選定委員長

今のはいかがでしょうか。市川委員、意図的でなかったらそろえたらという感じですかね。

#### 市川選定委員

答申の部分というのは、しっかり見る。だからぱっと見たときに中身全部というよりは、この答申のところをぱっと見るんで、ここはどうかと思ったんです。

#### 梅本選定委員

今、市川委員が言ってくださったところでいうと、教育出版のところだけに、自分ではその意図があるんだけど、数学的というのを入れたら、もう他のところは既にそういう言葉とか、算数科とかっていうのも入っているので、教育出版のところを数学的な見方・考え方と入れます。

#### 横町選定委員長

大日本図書のところはどうでしょう。大日本図書の答申のところ、ここが見方・考え方だけなんで。

#### 梅本選定委員

ここも数学的ですね。

#### 横町選定委員長

他、お気付きのことございませんか。それでは、ただいまの皆様の意見をまとめて、答申案に加筆修正していただき、算数の答申として教育委員会に提出してよろしいですか。それでは、算数についての選定委員会答申および答申資料として、議決します。

---

#### —理科—

#### 横町選定委員長

それでは次は理科です。坂本委員より答申案を基に、当該教科書を使用することで、児童がどのような学習を進めることができるか、あるいは教員がどのような授業を展開できるか、といった点について説明をお願いします。

#### 坂本選定委員

東京書籍です、答申。教科書サイズも大きく、単元初めの写真は迫力があり、学習導入ページとしてはインパクトがある。子供たちの学習意欲とつながっている。また、文字、表、挿絵、写真など、大き

く表現されているのが特徴的な教科書である。内容です。特別支援教育やユニバーサルデザイン、人権、ジェンダー、福祉に配慮した紙面構成になっている。あらゆる状況の子供たちにも対応でき、見やすく、読みやすいものになっている。観察・実験と結果、およびまとめは、同じ見開きに示さない構成にし、自分たちの観察・実験から結論をまとめられるようになっている。これは他の教科書についても言えることです。あと、ペア・グループで話し合う場面を随所に掲載し、協働的に問題解決に取り組むように仕向けている。3年から6年、全学年の最後に、プログラミングのページを設けている。6年は「電気と私たちの暮らし」の単元にも、2ページ記載されている。教科書サイズはA4判で、3年が176ページ、4年200ページ、5年168ページ、6年200ページとなっています。配当時間は、年間10時間程度の余裕を持たせていますが、対照表は今までどおりの3年90時間、4・5、6年105時間になっています。単元導入部に「レッツトライ！」を設けて、具体的な記載により、問題がつかみやすくなっている。カラー表示を統一して強調しています。問題解決の過程を1本の学びのラインにつなぐことで、今、何を学習しているのか、学びの流れを捉えやすくなっています。理科の見方・考え方を働かせる場面を青枠で囲み、具体的に明示することで、意識的に思考し、深い学びへとつながっていきます。学ぶ前・学んだ後では、同じことについて考え、学習後の成長を実感できます。単元末などに「広げよう！理科の発想」「理科の世界探検部」「こんなところにも！理科の世界探検部」を設定し、学習してきたことと関連のある職業人や発展的な知識が記載されています。二次元コードの「理科ノート」は、オンライン授業にも役立つようにPDF形式で作成されている。巻末の「デジタルコンテンツで学びを広げよう」で、二次元コードの種類ごとに説明が記載されていますので、分かりやすいです。巻頭の「何学年の理科で学ぶこと」や「1年間をふりかえろう」では、理科の4領域「物のはたらき」「物の性質」「生命」「地球」で整理し、系統立てて見通しを、振り返りを行えるように工夫している。学習のつながりを意識することで、単元の内容をつなげ、領域の概念を形成しやすくなっている。最後に「1年間の何学年のまとめ」があり、巻末に次年度の学習内容も記載されています。和歌山に関する身近な資料としては、恐竜発見の地図、ジオパークの地図が取り上げられています。以上です。

大日本図書です。教科書サイズがA4判であることで、写真やイラストをダイナミックに見せたり、情報量を豊富に記載したりすることができる。また、二次元コードも定位置に整理され、説明も付いているので、利用しやすいといった特徴がある。内容です。上二つは同じです。「結果からいえることを話し合おう」「予想を交流しよう」など、個人思考だけでなく、これもペアやグループの話し合い、交流をもとに学習を進めていくというように、イラストやコメントを随所に入れていきます。言語活動の場面を随所に掲載し、協働的に問題解決に取り組むようにして仕向けています。教科書サイズは、これもA4判で、3年生が204ページ、4年生が228ページ、5年生が194ページ、6年生が232ページとなっています。A4判で大きく、問題を見つけるページが、見開きの2ページ全面に写真で掲載されており、子供の興味・関心を引く有効な資料となっており、体験や写真から問題を見つけだすようになっています。問題解決の過程が「見つけよう」「調べよう」「伝えよう」と、大きく三つに分けられている。また、巻頭で問題解決の過程が図示され、学習の際、どのような視点で学習を進めるかが分かります。各単元には、見方・考え方の着目点「ココに注目」を記載、子供たちの深い思考につなげていきます。写真やイラストの比較がしやすいように配置をされています。単元の終わりには「ふり返ろう」のページ、巻末には全てのまとめがあります。学習したことをさらに学びを深めるために「学んだことを生かそう」さらに観察・実験が紹介され、「りかのたまてばこ」「サイエンスワールド」で発展的な資

料も掲載され、深い学びへつながっています。プログラミングの記載は、6年生「私たちの生活と電気」で5ページ記載されています。二次元コードの場所がページ下に整理されており、その横に説明書きもあるので、見落とすことが少ないと思います。また「理科の学び方」ページの下には「新版たのしい理科ウェブ」があり、いろんな一覧表示を見て、検索できます。その「りかのたまてばこ」では、中学校の学習内容や科学者に関する情報が記載されています。「ふり返ろう」で、初めの問題に立ち返ることで、分かったこと、考えたことの再確認ができます。和歌山に関する資料としては、広村堤防や田辺市の津波ハザードマップ。あと、水害の様子を5年生の那智川の増水の様子、田辺市の水害の様子など、そういう水に関するもの、災害に関するものが和歌山に関しては多かったです。以上です。

学校図書です。単元初めのページでは、大きなインパクトのあるものを提示し、興味・関心を引く。問題提示は、課題が把握しやすいように、比較できる写真や図をふんだんに使い、学習が進められるようになっています。チェックシート形式で、今、何をしているのかを確認しながら、スモールステップで丁寧に進められることが特徴的な教科書です。内容です。問題解決の過程のなかで、目に見えて分かりやすい図、写真を入れて比較できるようにし、見通しを持って学習が進められるようになっています。関連ページの記載があり、継続意識を高めることができます。UDフォントで、ユニバーサルデザインを取り入れ、誰にでも分かりやすい教科書になるように、色使いやレイアウトなどに配慮しています。観察・実験の手順に、写真や文を対応させ、器具の使い方などの内容を示し、チェックをして確認していくことで、どの子にも分かる紙面構成になっています。教科書サイズはA B判ということで、A 4判より少し小さいです。3年184ページ、4年204ページ、5年192ページ、6年232ページになっています。問題解決の過程を繰り返し意識できるように、チェックシート形式で観察・実験が整理されていて、学習の手順が記載されている。スモールステップで進めていけるようになっています。単元初めに「できるようになりたい」でこの単元で付けたい力が明記され、見通しを持って学習に取り組める。単元末には「できるようになった」で学習後に振り返ることで、自己評価を行いながら学習ができるようになっている。単元の終わりの「やってみよう」では、学習したことを活用した観察・実験の場面が設けられており、学んだことをより深めるために、活用的・発展的な学習をする余裕を持った時間配分になっています。配当時間に予備時間を設け、余裕を持った時間配分になっています。予備時間としましては、3年生14時間、4年生16時間、5年生16時間、6年生15時間となっています。読み物資料のバリエーションも豊富で、単元の学習内容に関連した科学の伝記のページや、キャリア教育を視野に入れた働く人たちの資料、防災教育を視野に入れた災害の資料などがあり、児童の興味・関心を高めることができます。プログラミングの記載は、6年生「電気と私たちの生活」で4ページ記載があります。巻末に「大事な言葉・調べ方や使い方」「二次元もくじ」が記載されています。初めと終わりのあたりに「二次元もくじ」があり、学年のコンテンツがひと目で分かるので、振り返りや確認、深めるのに便利に利用できます。しかし、単元途中の二次元コードには、説明書きがほとんどありません。学習内容に関連するSDGsの主な目標を裏表紙の目次に表示していて、すぐ見られるようになっています。左利きの児童にも配慮した記述があります。以上です。

教育出版です。写真や図表の取り扱いも豊富であり、観察・実験で扱われる事物・現象は、安全面、扱いやすさ、種類、入手しやすさ等において適当であります。教科書の裏表紙には「理科の安全の手引き」があり、注意事項を簡単に確認できるようになっており、安全面が大切に扱われてるという特徴があります。内容です。特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮した紙面構成になっています。学習

の進め方、ノートを取り方、振り返り、確かめの記載があります。「見つけよう」の場面で、登場人物の会話例を紹介するなど、話し合いを促すように仕向けられています。教科書サイズ変型A B判ということで、ページ数は3年192ページ、4年232ページ、5年208ページ、6年224ページとなっています。実験の道具も身近な道具、葉さじではなくて小さじを使ったり、長いガラス管ではなく傘袋を使ったりと、抵抗感のない道具を使用しているところもありました。見方・考え方のカギで、大事な部分をマーカーで色付けして強調されています。さらに大事な言葉もマーカーで色付けされていました。単元初めのページ「学習のつながり」「思い出そう」で、既習内容や生活経験との関連を探っていました。「学習前の〇〇さん」と「学習後の〇〇さん」で、学習前後の思考がどう変わったのかを振り返る機会を設けていました。前学年で習った復習ページが初めに設けられ、最後には、この学年で学んだことが記載されています。「自分たちの考えを伝え合い、学び合おう」では、これから学び合う上で大切な言葉を示されています。単元最後の「たしかめよう」では、確かめ問題に関する内容を記載しています。プログラミングの記載は、6年「わたしたちの生活と電気」の単元で5ページ記載があります。単元学習のあとに「資料」「科学のまど」「チャレンジ」等の資料が豊富で、発展的な内容が多く記載されています。各学年の後ろのページに索引を記載し、動画「ウェブずかん」、SGDsとの関わり等が一覧でき、調べやすく工夫されています。二次元コードに説明書きはないが、動画、静止画などひと目で区別できるマークがあります。児童が自ら問題解決の方法を考え、解決することを導くように、二次元コードは、観察や実験で注意することや発展的な資料等に限り、二次元コードの数を最小限に抑えています。物の使い方、調べ方、「ウェブずかん」等でした。「まなびリンク」からは、各教科の目次にリンクできるようになっていました。以上です。

啓林館です。問題解決の流れに沿い、分かりやすい構成である。また、学習内容と生活とのつながりが分かるように、身の回りの様子が写真で取り上げられている。教科の特性から、継続的な観察や予定どおりに進まない部分を予備時間として、柔軟な対応が特徴である。内容です。特別支援教育やユニバーサルデザイン、人権、ジェンダー、福祉に配慮した紙面構成になっています。観察・実験と結果、およびまとめは、同じ見開きに示さない構成にし、自分たちの観察・実験から結論をまとめられるようになっています。問題解決の流れが成立しやすいように配慮されていて「見つける」「調べる」「まとめる」の3段階になっています。「理科の広場」「くらしとリンク」など、発展につながる中学校の学習内容が記載されております。グループ学習、観察・実験の様子を散りばめ、話し合う場面も随所に入れてあります。教科書のサイズはA B判、3年生184ページ、4年生200ページ、5年生192ページ、6年生216ページになっています。既習事項として「思い出そう」の振り返りが、いろんな教科にわたり場면을記載し、本時に入るようになっています。吹き出しのなかで、見方・考え方にマーカーを付け、問題解決に必要な比較、関連付け、条件制御の考え方を手助けする工夫をされています。子供が主体に取り組みやすい紙面構成になっています。野外観察や飼育・栽培の時期に合わせた単元構成になっています。配当時間に予備時間を設け、余裕を持った時間配分になっています。なかなか時間どおりに進まないことが多い実験・観察、教科担任制で時間延長のできない専科制にも対応できるということです。3年は予備時間は10時間、4年11時間、5、6年も予備時間10時間となっています。プログラミングについては「やってみよう！プログラミング」を全学年に設けています。3年は55ページに、4年153ページ、5年50ページです。6年「発電と電気の利用」で4ページ掲載されております。二次元コードを利用して、予習・復習をすることができ、二次元コードの目次が充実していて使いやす

く、全学年の目次を、1回の二次元コードの読み取りでできるようになっています。「スマート解説」は復習に役立ち、単元で学習したことの知識を利用し、「活用しよう」にも利用できます。字をなぞりながら音声解説を聞くことができるようになっています。3年巻末の「たんけんシート」は丈夫で、物差し付きで、切り取って外へ持っていくことができるようになっています。和歌山市の近隣地域に関する資料の掲載が多く、身近に感じることができます。5年生で「雲と天気の変化」が和歌山市のことが、「メダカのたんじょう」は串本町のことが、「流れる水のはたらき」は、紀の川、熊野川、日高川について、「大地の変化とつくり」については和歌山市、白浜町、広川町についての資料が掲載されていました。以上です。

#### 横町選定委員長

ありがとうございました。理科の答申案について、ご意見はございませんか。

#### 市川選定委員

東京書籍ですけど、確かに東京書籍と大日本図書が教科書大きいんです。この答申を読んだら、この大きさ、インパクトのことを書いてる。ところがこの下の文言を読んでも、そのことはあまり書いていない。その教科書自体の特徴をかなり書いてるんです。そしたらこの答申が、これを代表するものであれば、この文言で合ってるのかなとちょっと思うんです。大日本図書も、やっぱり二次元コードのことは書いてくださって、大日本図書のほうがどちらかというと、この下のほうにもA4判で大きくって、この教科書の特徴として書いてるし、二次元コードのことも書いてるんですけど、東京書籍は、紙面がダイナミックだということを、この下の部分には書いてないですね。だからそこがちょっと整合性あるかなというところなんです。

#### 横町選定委員長

そしたら今、市川委員が言っていたような視点も踏まえて、再度ご検討いただくということで。

#### 岩本選定委員

もう1点。大日本図書の一番最後のところ、6年生の広村の堤防のあとに、5年生もその水害のことを触れていたんで、それも入ったらいいかなと思います。

#### 坂本選定委員

付けたします。

#### 横町選定委員長

東京書籍の一番下の和歌山県に関する身近な資料のところ、恐竜の発見の地図、ジオパークの地図とあって、他、挙げていただいているところは、地域名みたいなのがあったんですけども、これも入れておいたら分かりやすいかなと思います。もう1点、大日本図書の答申で、二次元コードも定位置に整理されとあるんですけども、二次元コードの各定位置って、何か同じ場所にあるということだと思うんですけど、定位置と言ったら、何かあるのかなみたいな感じで、感覚的に。

## 坂本選定委員

ページ下とします。

## 横町選定委員長

他はございませんか。それでは、幾つかありましたが、ただいまの皆様の意見をまとめて、答申案に加筆修正していただき、理科の答申として教育委員会に提出してよろしいですか。それでは、理科についての選定委員会答申および答申資料として、議決します。

---

## 生活

## 横町選定委員長

それでは次は生活です。塩谷委員より答申案を基に、当該教科書を使用することで、児童がどのような学習を進めることができるか、あるいは教員がどのような事業を展開できるか、といった点についてご説明をお願いします。

## 塩谷選定委員

最初に申し上げておきます。先ほど来から皆さんのお話を聞きながら、答申についてはもう1回再考しないといけないなと思っているところですので、またあとで、ご意見頂戴できればと思います。

東京書籍です。身の回りのものを学習材とした具体的な活動や体験を通して、子供一人一人の思いや願いを実現するための追究を支援している。表紙が子供らしい写真とイラストで構成されていて、親しみが持てる。各単元の扉ページは見開きで、写真も大きくダイナミックであり、写真の子供の表情も笑顔があふれるものとなっている。また、扉ページには、単元に関連する子供のつぶやき例を掲載し、主体的な活動へいざなう構成となっている。身近な生活に関わる見方・考え方を生かして活動している子供の姿を吹き出しを使って具体的に例示している。学びを深める場面では、友達との具体的な会話で例示するとともに、深い学びを促進するための学習環境、対話、掲示資料等についても具体的に例示している。GIGAスクール構想に対応したICT機器の活用場面についても、具体的に示すとともに、子供同士が意見交流により、学びを深めていく様子が示されている。教師にとっても、指導のヒントとなっている。子供のもっと知りたいに答えるため、二次元コードによる豊富なコンテンツが用意されており、その一つ一つに、資料か使い方が分かるようにしている。上下巻ともに、巻末には「かつどうべんりてちょう」が掲載され、活動に即して身に付ける習慣や技能、学び方などがまとめられている。スタートカリキュラムは13ページと多くの紙面を割き、「どきどき わくわく 1ねんせい」では、幼稚園や保育所での活動を振り返りつつ、「きょうしつ」「ともだち」「がっこう」と、テーマを徐々に広げることで、子供の不安を払拭するとともに、保護者への理解も図れるようにしている。「保護者の皆様へ」では、熱中症予防や動物アレルギーへの配慮を求めたり、学習内容への理解を求めたりと、保護者との連携を意識した記述をしている。

大日本図書。子供の興味・関心を刺激し、主体的な学びを促すイラストや写真を掲載している。また、子供の学びをサポートするために、豊富な資料が用意されている。単元が、春夏秋冬の季節の暮らしに合わせて展開されていて、季節ごとに色を統一している。表紙をはじめ、各紙面でさまざまなタッチの



イラストで構成されている。問題解決学習を促す意味で、キャラクターが投げ掛けをし、課題解決を図っていくような見開きページとなっている。単元の振り返りをする場面では、発達段階を考慮し、「きもちマーク」に表情を書き込むことで、満足度や心の動きなど、自分の気持ちを表現できるよう配慮しつつ、振り返りを意識できるようにしている。「せいかつことば」を掲載し、関わりのある言葉や言い回しを紹介したり、「きらきらことば」で人との関わりが深まる言葉を取り上げたりすることにより、言語能力の育成を図るとともに、人とのより良い関係性を構築するための支援が見られる。「かぞくとなつをたのしみたいね」「かぞくだいすきだよ」「みんなで食べるとおいしいね」など、家族との対話や交流を促すページが取り上げられている。「かんさつにつき」をはじめ、数種類のワークシートを取り上げ、どんな場面でどのようなまとめ方をするのか例示している。写真や動画など、二次元コードが上巻48個、下巻42個用意されており、個別学習や問題解決にデジタル教材を活用しやすい。資料「がくしゅうどうぐばこ」他に「ウェブがくしゅうどうぐばこ」があり、豊富に用意されている。表紙は、光触媒を利用した抗菌・抗ウイルス処理をしている。

学校図書。「探検」「栽培」「遊び」「飼育」「家族・成長」の五つの領域が色別に分類され、学習のねらいをはっきりさせながら学習を進められ、指導しやすい。表紙は、各単元で中心となるキャラクターを登場させたすごろくをモチーフに、1年の学習の流れが分かるようになっている。あおい、りんたろう、ゆい、そうたの4人のキャラクターが登場する。各単元ごとに中心となるキャラクターが設定されており、そのキャラクターの吹き出しは色付きの吹き出しにしている、判別しやすい。また、中心となるキャラクターを追っていくことで、子供もともに学んでいけるようになっている。各単元の学習では、見開きページの左上に、マークを付した活動内容が示されており、子供の欲求や願い、活動、振り返りへと学びのつながりの分かる紙面構成になっている。各単元では「見る」「さわる」「たとえる」「くらべる」「予想する」など、対象に働き掛けるポイントを示したり、ワークシートにそのときの気持ちを顔マークで表現するなど、活動に取り組んだ自分を振り返り、自己評価につながるようになっている。上巻では単元末は発展ページで終わるが、下巻は「ふりかえろう」のページがあり、さまざまなまとめ方や表現方法を紹介している。スタートカリキュラム「はじまるよ しょうがっこう」では、4人のキャラクターと見守ってくれる先生が登場し、幼児期の学びを振り返りつつ、新しくスタートする小学校生活への期待感を持たせるようになっている。ICT機器を身近な道具として活用できるように、上巻では写真や動画を中心に扱い、下巻では写真や動画を含む情報の扱い方についても示している。巻頭に「感染症対策について」を設けるとともに、うがいや手洗いについてはマークを用いて注意喚起している。教科書サイズは変型A4判で、他社に比べて少し小さいものとなっている。

教育出版。子供たちの思いや願いを大切に、教科書を活用することにより、学びに向かう姿勢を育むことにつながる、使いやすい教科書である。各単元の扉ページに「わくわくスイッチ」を設けていて、経験や意欲に差異のある子供たちが自然な形で活動に入っていけるような流れになっている。また、扉ページ下部には「はっけんロード」があり、目次とリンクするように、その単元の位置付けが示され、1年間の学習を見通すことができる。各単元末には「なにをかんじたかな」という振り返りのページが設けられており、「ぐんぐんはしご」を設けて自己評価を促すとともに、評価のポイントになるようなメッセージが示されている。キャラクター「いぐら」や「はてな」を登場させて、子供たちが学習を進めていく上でのヒントとなるよう、子供たち一人一人の思いや願いを引き出す言葉かけをしている。上下巻を通して、2人の主人公、花と光を設定し、会話やカード、作品などから、成長が感じられるように

している。一人一台端末の活用を促すため「まなびリンク」では、動画、ワークシートや「デジタルずかん」などで、学習に役立つ情報を得ることができるようにしている。それとともに、巻末の「学びのポケット」では、ICT活用方法や注意事項などを掲載し、注意喚起もしている。スタートカリキュラム「はじめのいっぽ」では、幼児期の学びと、それを生かした小学校での学習の姿を上下に掲載し、対比できるようにして、保護者の理解につながるように配慮している。二次元コードには動画、図鑑、ワークシートなど、どんな内容の二次元コードかがひと目で分かるように内容が付記されているので、分かりやすい。

光村図書。子供が共感しながら学びを進めていけるよう、親しみやすく、柔らかいタッチのイラストを採用している。学習目標が達成できるよう、単元の流れが分かりやすい。上下巻の表紙や折り込みを含めた巻頭ページにわたり、書き下ろしのイラストページを設けている。ヨシタケシンスケ氏が教科書の企画段階から参画し、自分もやってみたいという探究心が芽生えるよう「こんなこともあるかもね」「こんなのもいいかもよ」「どうしてだろう なんてだろ」など、子供が共感しながら学びを進めていけるようイラストが随所に示されている。学習目標が達成できるよう、各単元ともに導入は見開きページとし、学習材と児童の写真をダイナミックに配置し、学習材との出会いを魅力的に演出することで、意欲喚起につなげている。展開では、見開きページ左上部に学習課題を全体、具体的に示しており、これから進めていく学習活動の見通しが持てるようにしている。また、学びを深めていく様子を写真や吹き出しで示し、イメージを持ちやすくしたり、学び方のポイントをヒントとして示したりしている。ページ右下には「ふりかえろう」があり、活動の振り返りの仕方を「こんなことはあったかな」として14の観点で整理をし、次の学びにつなげるようにしている。対話的な学びを促す学習環境の例示として、黒板への掲示物、ICT機器を活用している場面、写真や動画、多様な交流のあり方としてのオンライン通話なども示されており、3年生からの学習につなげることができる。各単元に「保護者の皆様へ」というコーナーを設けられており、学習活動を円滑に進めるために学習のねらいを示すとともに、子供の学習に保護者も積極的に関わりを持ってほしいという願いから、子供への声掛けのヒントなどが紹介されている。別冊「ひろがるせいかつじてん」、切り離し「何々のなかまたち」など、子供が携帯し活用しやすい。

啓林館。子供の主体的な活動を促す写真やイラストが多く、「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」という3段階構成であり、問題解決的な学習が展開できる構成で、子供にとって学習の見通しが立てやすい。デジタルコンテンツも豊富で、個別学習にも対応できる。また、生活科を指導する教員にとっても、指導のヒントとなる構成となっています。「ぐんぐん」では、学習のまとめ方や友達との交流の仕方などをイメージできるように工夫されている。探検に一人一台端末を持って出かけたり、電子黒板を活用した発表の場面など、児童の学び方のヒントになる。板書や資料の掲示、協働的な学びの場、机のレイアウトなどをイラストで具体的に示し、活動を広げたり深めたりするための一助としている。紙面右下に「めぐり言葉」を設定し、活動が連続して進んでいく展開になっており、次の活動への子供の思いや願いを表現し、意欲を高め、活動の連続性や広がりにつながるようにしている。子供のもっと知りたいをサポートする二次元コンテンツ「デジタルたんけんブック」や「学びウェブ」が随所にあり、学習に関連する動画や音声のコンテンツを閲覧でき、1人学習も可能となっている。スタートカリキュラムは、他のページよりも小さいサイズとなっていて、区別しやすい。保護者へのメッセージでは、感染予防や交通安全に関する協力を求める内容となっている。教科書サイズはA B判で、最も小さいサイズとなっ

ている。以上です。

#### 横町選定委員長

ありがとうございました。生活の答申案について、ご意見はございませんか。

#### 市川選定委員

答申なんですけど、各社の特徴を大きく捉えてもらってるので、分かりよい。差は分かりよいんですが、例えば東京書籍であれば、指導と評価基準、評価基準マークみたいなのに力を入れているのか、深い学びのこの具体的な場面をたくさん入れてるとか、そういうのが特徴だなと思っています。大日本図書の場合は、ワークシートだと思うんです。あえて上巻に20、下巻に30とワークシートで載っているとこのようなことは、大きな特徴なんかだと思います。学校図書は、これも自己評価、顔マークみたいな、こういうこと、たぶんあるんだろうとか。教育出版は、登場人物の成長を子供自身が生活の学習していく中で、自分の成長を感じられるような本になっているのかなと感じました。光村図書は、確かに本が大きいんです。ものすごく大きい。このことは、もちろん、東京書籍も大きい。だけど、光村図書は写真に全部吹き出しを付けて、イメージを持ちやすく、学び方のポイントやヒントを示している。これなんかがこの会社の特徴なんかと思ったので、もうちょっと足してもいいかなと思いました。

#### 塩谷選定委員

ありがとうございます。

#### 横町選定委員長

冒頭、塩谷委員から答申のことについては再度検討するということでしたが、今、市川委員からの話があったように、教科書会社ごとの特色が分かるような形でご検討よろしくお願いします。ただいまの意見をまとめて、答申案に加筆修正していただき、生活の答申として教育委員会に提出してよろしいですか。それでは、生活についての選定委員会答申および答申資料として、議決します。

---

#### 音楽

#### 北山選定委員

音楽の答申をさせていただきます。まず、教育出版から始めさせていただきますので、教科書をお手元にご用意していただけるとありがたいです。答申。ダイナミックな写真を使用し、児童の興味・関心を高めるような工夫がなされている。主要部分と選択可能なオプション部分の教材を組み合わせたり、教科横断的な教材を配列したりするなど、弾力的な運用が可能な教科書である。まず、目次をご覧ください。導入部分、主要部分、選択可能なオプション部分により構成されています。導入部分では、第2学年以上に「スキルアップ」のコーナーを設け、常時活動で取り組むことができるように示しています。主要部分は、題材、紫、音楽の見方・考え方を働かせながら資質・能力を育む題材。緑、生活や社会と音楽との関わりを扱う題材。青、主体的・協働的に表現を楽しむ題材、まとめとし、全学年8つの題材で構成されています。共通教材を「にっぽんのうた みんなのうた」として、題材構成の外に置いていることが多いのも特徴です。ダイナミックで歌詞に忠実な写真を掲載し、3学年以上では、共通教材の

うち1曲は6ページ使用しています。また、音楽づくりの教材も「音のスケッチ」として題材構成の外に置き、テーマを決めて、系統的に丁寧に扱っています。オプション部分では、教科横断的に扱える教材や、曲集部分に多くの教材を掲載しています。また今回、目次の前のページになりますが「学習マップ」を全学年の巻頭に新設しています。各題材で学習する内容を、分かりやすく解説しています。次に、第3学年以上では、巻末のあたりに折り込みがあります。その折り込みを開くと、リコーダーの指使い、運指をどのページからでも確認でき、個別最適な学びや発展的な学習などの手助けとなるように作られています。また、二次元コードが「まなびリンク」として随所に掲載され、動画やワークシート、資料が示されています。鑑賞教材の動画が多く、演奏とともに楽譜を掲載し、演奏しているところを色分けして追っていくというような取り扱いをしているものもあります。その他にも、早い時期から高い技術を学習したり、発展的な内容を取り入れたりし、指導者の選択で、実態に合わせて弾力的に運用することができる教科書になっています。

次に、教育芸術社に移らせていただきます。答申。共通事項を軸に、表現教材と鑑賞教材を関連付けて配置し、何を学ぶのかを明確に示した題材構成となっている。系統的に題材を配列し、スモールステップで、段階的・系統的に学ぶことができる教科書である。巻頭に学びの地図を領域・分野別に示し、1年間の学習を視覚化するとともに、学習指導要領で示されている学習内容を、児童にも分かりやすい言葉で示しています。それとともに、巻末で「ふり返りのページ」も設定しています。また、学習の手順を「見つける」「考える」「歌う・演奏する・つくる」の三つのアイコンで説明し、学習のまとめりと振り返りのコーナーを設けて、学習内容を確実に身に付けていけるように工夫されています。次に、目次をご覧ください。各学年ともに、スタートに適したオリエンテーション的な題材、音楽を形づくっている要素との関わりを中心にした題材、わが国や郷土の音楽を学ぶ題材、まとめる題材の四つの題材群に分かれて教材を配置し、低学年は10、中学年は9、5学年は8、6学年7の題材数で構成されています。各題材においては、ねらいに沿って表現と鑑賞の教材をバランスよく配置し、各教材を結び付けて学習するように構成されています。また、共通教材を「こころのうた」と位置付け、まとめて掲載しています。共通教材は題材構成のなかで学ぶ扱いとなっています。次に、二次元コードについてですが、ほとんどのページの、開いていただいた右ページ右上に二次元コードが提示され、全ての歌唱教材、器楽教材の音源を聴くことができます。音楽づくりの教材では、素材を操作して音楽を作り、それを再生することができるよう工夫されています。また、楽曲に関する資料館や、JASRACの児童向けサイトなどとリンクされていて、幅広い活用ができるようになっています。その他にも、メッセージやコラムなどをたくさん掲載し、私たちの生活や社会と、音楽との関わりを考えることができることも特徴です。以上、各社の特徴的なところを中心に述べさせていただきました。

#### 横町選定委員長

ありがとうございました。音楽の答申案につきまして、お気付きのことやご意見ございますか。

#### 市川選定委員

教育出版の教科横断的な教材がどこかなと思って探してたんですけど、例えばどこか一つ例を挙げていただいていいですか。

## 北山選定委員

まず特徴的なのは、外国語、英語の歌がたくさん掲載されているというところが大きいかなと思います。あと、他教科と関連する曲や活動を「ショートタイムラーニング」等で扱っていることが言えるかなと思います。

## 横町選定委員長

他、ございませんか。それでは、ご提案いただきましたように、答申案に加筆修正というところはなかったかと思しますので、今お話しいただいたことを、答申として教育委員会に提出してよろしいでしょうか。それでは、音楽についての選定委員会答申および答申資料として、議決します。

## — 図画工作 —

---

## 横町選定委員長

それでは次は、図画工作です。宮本委員より答申案を基に、当該教科書を使用することで、児童がどのような学習を進めることができるか、あるいは教員がどのような授業を展開できるか、といった点についてご説明をお願いします。

## 宮本選定委員

まず、開隆堂です。答申。各題材の左下に付いている二次元コードから見られる動画は、題材の導入、オリエンテーションが短い時間で分かりやすく示され、学習のねらいが方向付けられるように工夫されている。若い先生や、図画工作に堪能でない先生にとって、この動画からの導入はとても有効であると考えられる。また、児童の作品数も、各学年、他社に比べ10作品ほど多く掲載されており、作品を見ただけで、製作意欲が湧いてくるのではないかと想像できる。特徴ですけれども、各題材の左下に二次元コードが付いており、一人一台端末でみると、題材の導入、オリエンテーションが短時間の動画で示され、学習のねらいが方向付けられるような工夫が見られた。教科書の題字を、小枝や毛糸、モール、貝殻、紙粘土など、図画工作の材料になるようなもので描かれていて、見ただけでも楽しくなる表紙になっている。また、目次の横には、それぞれの題材の活動風景が写真で紹介されており、目次を眺めるだけでも、各題材への興味や関心が高まるような工夫が見られた。作品づくりや作品の鑑賞などを通して、言語活動を中心にしたコミュニケーションを大切にする学習が多く、話し合いの観点は吹き出しで表示され、ねらいを焦点化している。また、二次元コードを一人一台端末で開くと「ふりかえりシート」がダウンロードでき、書く活動も重視していることが伺えた。造形遊びにおいては、仲間と関わり合いながら楽しい活動をしている姿が数多く掲載され、物と人、人と人とのコミュニケーションを大切に扱っていることが伺われた。各題材名の横に、学習のめあてとして「知識・技能」「思考・判断・表現力」「学びに向かう力・人間性」の三つの観点が示されており、本題材で特に育成したい資質・能力は、下線を引き赤字で示されているため、教師だけではなく子供も、この題材で学ぶ一番大切なことがよく分かるようになっていた。各学年、造形遊びの題材の学習のめあては、「知識・技能」についてはあえて明確に示さず、曖昧な表記になっている。これは、本教科書においては、造形表現を色や形、イメージといった学習指導要領の共通事項に示されているものにとどまらず、造形活動の広がりを意識した教材を多く扱っているからである。以上が開隆堂です。

続きまして、日本文教出版です。各学年の児童の作品数は、他社に比べ10作品ほど少ない。しかし、そのスペースを使って、作品づくりの発想の手がかりとなる視点や物の動きを紹介していたり、構想段階でのつづやきや鑑賞の視点など、時間の流れとともに、写真と最小限に吟味された吹き出しで表していたりしている。学習の導入時に、教科書を使うことを十分意識したレイアウトになっていることが、よく分かる。二次元コードを使わず、教科書のみを使って導入したり、教科書のみを使って学習計画を立てたりすることができる教科書になっていると考える。特徴です。図画工作で創造的な発想を促す方法、学習のスタートの仕方として、これで何ができるかな、これは領域の表現1、主に造形遊びがそれに当たります。と、これになるように何を使おうかな、これは表現2、主に絵や立体、工作です。この二つの方法で、領域や学習によって付けたい力が分かると言われていました。掲載されている各題材は、二つの方法にはっきりと識別できるため、学習のねらいからぶれる活動が生まれにくいことが予想される。さらに、教科書の題材名の下のリード文で、学習のスタートの仕方、単元を通して大切にしたいことなどが示されているため、ねらいが焦点化され、本題材で付けたい力を確実に習得できるようになっている。掲載された題材は、色、形、光、触感など、その題材で諸感覚を使い、何を学ぶことができるかが分かりやすく、材料、技法など、系統性を重視して配列されている。できた作品の詳しい掲載は二次元コードで確認できるが、紙面では、製作段階の子供たちの様子や活動や発想の広がりを中心に紹介しており、一人一台端末がなくても紙面で学習の流れがつかめるように工夫されている。どの題材にも、友達と対話しながら活動する写真を掲載している。学習している途中の対話を重視していることが伺える。話し合う場面での視点や、考えて書くときの視点なども、吹き出しに示されている。右下の二次元コードで、技法や材料、道具の詳しい扱い方や、鑑賞作品の詳しい世界観などが示されている。また、掲載された作品を拡大したり、360度いろいろな角度から眺めることができたりする。情報量が多いため、教師が視点を絞って授業で使えば、有効であると考え。各学年、子供らしい作品が掲載されている。また、最初のページに、保護者向けに図画工作の目標や、学習活動への理解や協力をお願いしているのも、本教科書の特徴である。また、1、2年生の上では、幼稚園との接続を十分に意識し、文字を極端に省き、大きな写真やイラストなどから学習の流れがつかめるように工夫されている。以上です。

#### 横町選定委員長

ありがとうございました。図画工作の答申案について、お気付きのこと、ご意見はございませんか。

#### 梅本選定委員

開隆堂も日本文教出版も、先生とか教師という言葉が出てるんですが、指導者という言葉で統一したほうがすっきりすると思いますが。例えば開隆堂では、若い先生や堪能でない先生、先生という言葉、それで日本文教出版では、下から2番目のところで、教師が視点を絞ってとあるんだけど、指導者という言葉のほうが適してるかなと思うのと、開隆堂の若い先生や図画工作に堪能でない先生という言葉が、答申にあまり適してないような言葉ではないかなと思うんですけども、別の表現のほうがいいかなと思います。

#### 市川選定委員

どちらかと言えば子供側から見たらどうなんでしょう。先生側から見たら、どうしてもそうだから、

子供にとっても導入の助けになってるわけですね。だから子供側から書いておけばどうかと思います。

#### 岩西選定委員

開隆堂の今の意見は私も感じたところなので、基本的には子供側に立った観点でこの本がいいですよというのが基本かなと思いました。

#### 梅本選定委員

2社のなかで、開隆堂には、他社に比べて10作品ほど多く、日本文教出版では他社に比べて10作品ほど少ない。その何作品中の10作品かによって、それほど、紹介されている作品の数にこだわって答申に書くほどの数なのかどうかというのが、ちょっと分からずに言ってるんですけども、これは例えば答申じゃなくて、下のところに何か書こうと思えば書けるかなあと思うのと。日本文教出版のほうで二次元コードを使わず教科書のみを使って導入したり、教科書のみを使って学習計画を立てたりっていうのが、それは別に単元によってとか、題材によって違うことなので、これも書く必要があるのであれば、下の資料のほうに書く方がいいかなって思いますけど。

#### 横町選定委員長

答申のところを詳しく書いていただいているような形なんですけど、その中で見直していただいて、資料の下のほうに移されたい、そういうところでまたご検討いただくということで。他、ございますか。

それでは、ただいまご指摘いただきました皆様の意見を踏まえて、再度答申案に加筆修正していただき、図画工作の答申として教育委員会に提出してもよろしいですか。それでは図画工作についての選定委員会答申および答申資料を、議決します。

---

#### 家庭

#### 横町選定委員長

次は家庭です。岡部委員より答申案を基に、当該教科書を使用することで、児童がどのような学習を進めることができると考えるか、あるいは教員がどのような授業を展開できると考えるか、といった点について、ご説明をお願いします。

#### 岡部選定委員

それでは、東京書籍からお願いいたします。答申。題材の導入ページに、タイトル、導入発問、学習の流れや、児童の身近な家族や学校の場面を、写真やイラストで大きく示すことにより、学習の見通しが立てやすく、自分なりの課題をもって学習に取り組めるよう配慮されている。全ての大題材を3ステップで展開することにより、問題解決学習ができる流れになっており、主体的に生活する力の育成を目指す教科書である。内容につきまして、家庭科の見方・考え方の視点が「家庭科の窓」として、ガイドンスの折り込みや各題材の導入で示されているので、これらの視点を意識しながら学習を進めることができる。また、各題材は3ステップで展開されており、ステップの1「見つめよう」では、大きな写真やイラストでイメージを膨らませ、2「計画しよう・実践しよう」では、課題を解決するために基礎的・

基本的な技能を習得し、3「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」では、「成長の記録」を活用し、児童が自身の学びの記録ができるとともに、指導者は成長を見とることができます。そして、そのステップを繰り返すことにより、問題解決学習ができる流れになっています。安全への配慮や、基礎的・基本的な知識や技能の定着のポイントについては「いつも確かめよう」にまとめられています。特に、巻末の資料には、初めて実習道具に触れるときの不安感を解消し安全に実習するため、手を乗せて練習できる実物大の写真や、ミシンの扱い方について、大きなイラストで丁寧に説明がされています。写真は右利き、左利きの写真が掲載されています。さらに、安全な調理実習を行うための配慮として、感染防止や新しい生活様式への対応が、図や言葉で調理実習のページ下に掲載されています。食物アレルギーについても、複数ページで取り上げられています。日本の伝統的な文化、郷土、地域に関する教育については「日本の伝統的な食品」「地域の汁物」「プロに聞く」「日本の料理」などで、ユネスコ無形文化遺産に登録された和食について触れています。また、二次元コンテンツのなかに、地域の郷土料理図鑑があり、自分が住む地域の郷土料理について興味を持ち、調べることができるように配慮されています。和歌山県の郷土料理としては、めはり寿司の写真が掲載されています。SDGsの視点については、5年生の早い段階で学べるように「SDGsでつくる私たちの未来」として特設ページが設けられており、その後の学習をSDGsの関連を意識しながら進められるように工夫されています。金融教育については、第4大題材「持続可能な社会へ 物やお金の使い方」のなかで、主に対面で買い物をする場面を設定し、漫画や図を用いて分かりやすく解説されています。また、現金以外の支払い方法であるプリペイドカードや「インターネットの買い物に注意しよう」にも掲載されています。共生の視点では、イラスト、写真に、男女の服装や発言内容が性別による役割固定にならないように配慮されています。防災教育については、災害への備えとして、ローリングストックを意識し、保存食を活用した調理例が取り上げられております。以上です。

次に、開隆堂に移らせていただきます。答申。各題材は「1気づく・見つける」「2わかる・できる」「3生かす・深める」の3ステップの流れで構成されており、児童が見通しを持って問題解決学習が進められるよう工夫されている。また、やさしいものから難しいものへとスモールステップの段階を踏むことにより、知識・技能の確実な習得が図れるよう配慮された教科書である。内容につきまして、家庭科の生活の営みに係る見方・考え方が各題材の最初に四つ葉のクローバーで表現されています。教科書全体にわたって配置されていることにより、一連の学習のなかで、生活の営みに係る見方・考え方を働かせることができるようになっていきます。また、題材の最初のページに掲載されている大きな写真やイラストを通して、題材の見通しができるようになっていきます。また、児童が見つけた課題が記入できるスペースが設けられたり、資料を掲載することにより、主体的に課題に取り組める工夫がされています。ガイダンスでは、第4学年までの学習をイラストや写真で振り返ることで、児童がこれまでの成長を自覚するとともに、自ら2年間の学習の見通しが持てるように工夫されています。各題材とも、基礎的・基本的な内容の習得から、応用・発展的な学習へと、系統的に展開されています。5年生では、基礎的な内容を段階的に配置し、6年生では、5年生の学習を発展的に繰り返して、確実な習得を図れるよう題材配列が工夫されています。5年生の初めての製作実習「フェルトでつくるカード入れ」では、製作見本を実物大で掲載することにより、作り方が理解しやすく、子供たち自身の力で作業が進められるよう工夫がされております。実習の手順、基礎・基本となる技能については、写真やイラストで例示されており、細部については拡大写真が添えられるなど、分かりやすい。特に調理・製作実習の手順は、全



て見開きページで、全体の流れが横流れで提示されています。これは、児童の視線の流れに沿っている  
ので、児童が理解しやすいとともに、実習のときなど、そのまま大型モニターを活用して提示するこ  
ができるので、教員の負担軽減にもなるのではないかと考えられます。日本の伝統的な食文化や地域に  
関する内容については、ユネスコ無形文化遺産に登録された和食について取り上げ、一汁三菜について  
も触れられています。また、教科書全体で、47都道府県全てについて取り上げられております。和歌  
山県については、金山寺みそが取り上げられています。調理実習や製作での作業の安全への配慮として  
は、該当箇所に留意事項が掲載されています。さらに、特設ページ「安全と衛生に気をつけて実習しよ  
う」では、「実習前」「中」「後」の実習の流れに沿って示されているので、常に確認することができます。  
SDGsについては、各題材で、家庭科で取り組むことについて具体例が取り上げられています。また、  
5年生と6年生の境目で「できることから始めて、持続可能な生活をつくる」で学習を振り返り、最  
終題材である「持続可能な社会のために」で、身近な生活から児童が主体的に取り組めるよう工夫され  
ています。消費者教育については、収入については、家族で働いて得られるものであり、限りあるもの  
と記述されているので、家庭実践につながります。また、買い物の仕方についてのシミュレーションや  
イラストで、具体的に学ぶことができます。発展的な内容としては、エシカル消費についても触れられ  
ています。共生の視点では、幼児や高齢者、障害のある人、外国にルーツのある人、さまざまな人が取  
り上げられています。以上です。

#### 横町選定委員長

ありがとうございました。家庭の答申案について、ご意見はございませんか。

#### 岩西選定委員

今の説明で、東京書籍でミシンの扱い方について右利き左利きの写真が載ってましたと説明があつた  
んですが、答申資料の中にこの文章を探して見つけられなかったんですよ。何を言いたいかという  
と、やはり今、左利きの子供がすごく増えてるので、そういう大事なところをぜひ載せていただ  
きたいなと思います。ちなみに、開隆堂は載ってないんですか。

#### 岡部選定委員

載っています。東京書籍も右利き左利きで、開隆堂も右利き左利きというふうに、どちらの教科書も、  
巻末にほぼ実物大で、子供たちが製作しやすいように、二つの手を載せるのもそうなんですけども、包  
丁、調理についても、人参を切る、右利きの人、左利きっていうのが、両方に同じように載って  
います。同じように載ってたので、ややこしくなりました。両方載せるようにします。

#### 梅本選定委員

私の算数の場合、6社あるので、六つの会社の共通してることを全部載せると、量がとんでもな  
くなるんです。なので、基本的に共通しているところは、時間的余裕があるところはいいけども、もう飛  
ばすというか、最初にこう配慮してます、両社ともというのでいいかなと思うんですけど。特徴  
的なことを言っていないと、なかなか時間が。

#### 岡部選定委員

じゃあここには載せて、教育委員会でご説明するときに、冒頭で共通することを言って、あと各社つていうようにお話ししたらいいですかね。

#### 梅本選定委員

と思います。算数もいろんな図の描き方とかは右利き、左利きのがあるんだけども。

#### 岩西選定委員

もう書いておいたら、資料を見ていただけるから、共通してることって言わなくてもいいと思うんです。でも大事なことから、載せといてほしいなって。そしたら読んでくれると思うので。

#### 横町選定委員長

他、ございませんか。それでは、ただいまの皆様意見をまとめて、答申案に加筆修正していただき、家庭の答申として教育委員会に提出してよろしいですか。それでは、家庭についての選定委員会答申および答申資料として、議決します。

---

#### 保健

#### 横町選定委員長

それでは次は保健です。湯川委員より答申案を基に、当該教科書を使用することで、児童がどのような学習を進めることができるかと考えるか、あるいは教員がどのような授業を展開できると考えるか、といった点について、ご説明をお願いします。

#### 湯川選定委員

東京書籍です。答申。学習活動「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」の展開を、ステップを踏みながら学習課題を解決できるように工夫されている。さらに、学習内容に関連した資料を各項末に掲載し、学習を家庭・地域、調べ学習へ広げていくことができる教科書である。内容です。主なところを言います。小学校学習指導要領体育科に示された目標に則り、保健の見方・考え方を働かせ、課題を見つける。その解決に向けた学習過程を通して、生涯にわたって心身の健康を保持・増進するための資質・能力を育成することができるようにしている。各項にステップ1からステップ4の活動を設定し、活動を通じて思考力・判断力・表現力を育成することができるようにしています。運動に関する内容を随所に積極的に取り上げ、運動領域との関連を図っています。ステップ1では、児童の生活場面を想起させる写真をダイナミックに配置し、身近な例から健康課題を見つけることができるように工夫しています。各項の2ページ目の冒頭で学習の課題を明示して、ステップ1の活動を行ったあとで、学習の課題を確認することで、学習の課題をより自分のこととして捉えるようにしています。児童が、思考・判断・表現したことを書くための記入スペースが、適切な箇所に設けられています。ステップ4では、学習を踏まえて、自分の生活を見直す活動を設け、学習したことを実生活で生かせるようにしています。各項末に、学習内容に関連した情報を資料として掲載しています。また、児童が知りたい情報を豊富に掲載しています。マタニティマーク、ハート・プラスマーク、ヘル

プマークなどの支え合いのためのマークや、心の健康・いじめ、多様性・共生社会、感染症予防、コンピュータと健康、防災、ネット犯罪などが紹介されており、現代的な課題について配慮されています。特に、表紙のイラストから、現代について配慮されたものとなっています。

次に、大日本図書です。答申。児童の興味・関心を引き出し、スムーズに学習に入ることができるように工夫されている。また、学習の流れ「つかもう」「話し合おう」「活かそう」が明示されていて、主体的・対話的で深い学びが実現できる教科書である。内容です。見開きの2ページで、1時間の授業を完結できるようにしています。単元扉に、3年生では簡単なゲームを掲載し、児童が学習の課題に気付き、身の回りの生活に関係のあることだと知り、4年生では、手形を比べて体の発育を実感できるようにされていて、学習への意欲付けが図られています。導入の活動「つかもう」では、児童に身近な題材を取り上げることで、主体的に学習に取り組めるようにしています。また、巻頭の折り込みを使用し「つかもう」の欄の下を隠すことで、児童の集中力、興味・関心を高めることができるようにしています。「考えよう」「話し合おう」「調べよう」などの活動のなかで、グループ活動等、多様な活動を促す構成となっています。また、家庭や地域において、保健で学習したことを活用できるよう「家・地域でほけん」を設けています。随所に鉛筆マークがあり、課題に対してや学習したことを活用して、自分の考えや感じたことなどを記載できるようにしています。見開きごとに、本文で基本的な知識をまとめている。さらに「もっと知りたい!」や「ミニちしき」などで学びを広げ、深めることができるようにしています。巻末資料「はってん」では、SDGsと保健との関わりを示し、持続可能な社会の担い手の育成を目指しています。また、パソコンやスマートフォンの使い方は、健康な生活に大きく影響しているため、1ページを使って大きく取り扱われています。

次です。大修館書店です。答申。3ステップのシンプルな学習過程で構成しているため、学習の流れが分かりやすく、児童が主体的に学習を進められる。また、友達と話し合い、互いの考えを共有する対話的な活動を豊富に用意しているので、思考力・判断力・表現力を育成できる教科書である。内容です。学習目標の達成のために「課題をつかもう」「話し合おう・考えよう・調べよう」「生かそう・伝えよう」の3ステップとなっています。運動領域の学習内容を積極的に取り上げ、「体育の窓」、運動と健康との関連について具体的な考えを持てるように工夫しています。「生活の中の保健をさがそう!」「なぜほけんを学ぶのかな?」では、生活のなかにある健康や安全に目を向けることで、健やかな体を養うことの重要性について理解できるようにしています。各章の扉では著名人を取り上げ、キャラクターとの対話を通して、健康の大切さや健康についての考え方に触れることで、主体的な学びをスタートさせることができるようにしています。各時間の学習課題を「きょうの課題」として示し、学習すべき内容を明確にしています。学習活動のなかに「話し合おう」「考えよう」という協働学習の働き掛けがされていて、他者との対話を通して、自分の考えを広げたり深めたりできるようにしています。毎時間の学習の最後に設けた「まとめ 生かそう・伝えよう」では、自分の生活を見直すなどして、自己の課題を修正できる活動を別に設定をしています。最後に、ながらスマホや、インターネットから正しい情報を知る内容も取り扱われており、スマホ・ゲーム依存が現代社会で問題になっていることも取り上げられています。

次行きます。文教社です。答申。各章の扉で、イメージしやすい写真や説明を配置し、スムーズに学習を開始できるようにしている。また、キャラクターの吹き出しを多く取り入れ、学習内容や学習活動が分かりやすく、児童が興味を持って主体的に学習に取り組むことができる教科書である。内容です。健康とはかけがえのないものであることを理解するとともに、これからの人生が豊かなものになるため

に、目標に向かって自分自身の課題を見つけ、前向きで明るく楽しい生活を営むことができるようにしています。単元の初めには、学習の見通しを持って学習に入れるように、児童にとって分かりやすく、なじみがあってイメージしやすい場面を記載しています。各時間の初めに、男女の子供のキャラクターが会話しながら学習を進めることによって、協力が大切であることを意識させ、自分の課題として考えることができるようにしています。「エピソード」「もっと考えよう課」コーナーを設け、学習内容に深みを持たせています。これは5、6年生の教科書ですが、自然災害の対処法、自助・共助・公助の観点から理解し、より実践的な行動を取ることの大切さを意識させています。課題について考えたことを、全体やグループで深めていく活動よりも、個人思考で完結する構成の単元が多くなっています。単元の終わりに「もう一歩先の自分へ」として記述する段を設け、思考力・判断力・表現力を自然と身に付けることができるように工夫しています。章末には「これからの自分の課題を考えよう」として、宣言を記載するページも設け、学習したこと、理解したことを踏まえ、その過程を自分や友達と考え伝え合うことで、これからの生活や学習に生かせる工夫をしています。

光文書院です。答申。1時間を見開きの2ページで学習することを基本として、導入、学習課題、学習活動、まとめ、活用を学習の流れに沿って配置し、学習の流れがひと日で分かるように工夫している。また、言語活動の充実を図るために、話し合い活動や記述する活動を取り入れ、自分の考えを広げたり深めたりしていくことができる教科書である。内容です。「話し合おう」という活動や「学んだことを生かそう」の項目で、他者に伝える活動を提示することで、対話的な学習となるよう促しています。意欲的で自発的な学びにつながるように、巻頭特集ページがあり、保健の学習内容が身近に感じられるように、人気のスポーツ選手やクリエイターのメッセージが掲載されています。「学習の進め方を知ろう。」のページで、学習の進め方や課題解決学習において、大切にしたいことを確認できるようにしています。各章ごとの扉に、学習内容のイメージがつかめる漫画を掲載し、児童の学習意欲が学びに向かう力を促進する工夫をしています。学習の導入として「見つけよう」を毎時間設け、児童がこれから学ぶ内容を自分のこととして捉えられるように、これまでの経験をもとに考えたり、自分の生活を振り返って健康課題に気付いたりできる活動を設定しています。各単元末の「学んだことを生かそう」で、学習内容を自分の生活に生かす視点を用意することで、児童が自分ごととして学習内容を活用できる構成にしています。「広げよう深めよう」や、各単元に設定されるデジタル資料で、児童が興味・関心に沿って、学習内容について深く学べるようにしています。

最後に、Gakkenです。答申。各章の扉で、大きな写真や絵を取り入れるとともに、学習の進め方と学習の課題を明示している。また、各時間を見開きの2ページで構成し、学習の流れが分かりやすく、児童が親しみを持って、主体的に学習に取り組むことができる教科書である。内容です。全ての時間において、1ページ単位の三つのピースを完成させる形式で構成している。「1自分で考える」、「2友達やみんなと考える」、「3身に付けたことを生かす」という、決まった学習の流れを繰り返すことで、思考力・判断力・表現力を身に付けることができるようになっていきます。冒頭に、健康と夢との関わりを明示し、保健学習への興味・関心を高めるようにしている。続いて、身近なことを中心とした保健の学習や健康への実践が、周りの人や世界中の人の健康につながっていることを見渡せるようにしています。1単位時間、見開きの2ページを基本構成として、学習の進め方を最初に明示するなど、見通しを持って学習できるように配慮されています。「心の健康」5、6年生です。スクールカウンセラーの相談が、4例載せられています。不安や悩みを抱えたときは、スクールカウンセラーに相談できるんだということを、

具体的にできるきっかけになっています。各章の扉で、学習内容の全体像を示している。また、各時間の最初のページに学習課題を設けて、その時間で学習する課題を明示しています。生活との結び付きを感じられるように、実験や体験的な活動を重視し、随所に取り入れています。「かがくの目」を随所に設け、興味・関心を高め、科学的な理解に結び付けられるよう、見えないものが見える化した資料を掲載しています。また「ほけんのはこ」を各時間の最後に設け、より学びを広げたり深めたりすることができるようにしています。「もっと！知りたい・調べたい」で、児童の探究心に応え、学習したことを広げたり深めたりできるように、詳しい資料を豊富に掲載しています。以上です。

#### 横町選定委員長

ありがとうございました。保健の答申案についてお気づきのこと、ご意見等ございませんか。

#### 市川選定委員

東京書籍の答申の文言なんですけど、一番最後に「学習を家庭、地域、調べ学習へ広げていくことができる教科書である」とあるんです。これ、学習を調べ学習へってというのが、学習って広い範囲だから調べ学習も含まれてますよね。だから例えば家庭、地域、生活等に広げるとか、何だかそんなほうがずっと読める気がしました。感想です。

#### 横町選定委員長

他、いかがでしょうか。ご意見がございませんか。それでは、ただいまの皆様の意見をまとめて、答申案に加筆修正していただき、保健の答申として教育委員会に提出してよろしいでしょうか。保健についての選定委員会答申および答申資料として、議決します。

---

#### —外国語—

#### 横町選定委員長

それでは次は外国語です。尾上委員より答申案を基に、当該教科書を使用することで、児童がどのような学習を進めることができるかと考えるか、あるいは教員がどのような授業を展開できると考えるかといった点について、ご説明をお願いします。

#### 尾上選定委員

まず、説明の仕方なんですけど、各社の答申を読ませていただいたあと、その下の内容については、教科書の構成について。それは内容のところの一つ目の項目に相当します。その次は、3年生、4年生からの接続と、5年生、6年生の学習内容のまとめがどのようになっているのかということについてお話しします。それは、上から数えて四つ目の項目になります。その次は、二次元コード等のデジタルコンテンツのことについて、各社のお話をしますので、それは下から数えて五つ目の項目です。最後に、語彙や辞書、小学校でたくさんの英語の語彙が出てきますので、それについてどのように辞書だとかワーンドリストなんかを整備されているかということについてお話をしたいと思います。その語彙については、下から四つ目の項目になります。それでは、東京書籍のほうからまいります。答申。世界のことを知り、英語でコミュニケーションをしたいという児童の意欲と関心を引き出すために、多様な言語活動と多彩

なデジタルコンテンツを配置した教科書である。見通しを持って学習に取り組むことができる構成になっており、スモールステップで繰り返し学習を積み重ねることができる。内容についてです。学年ごとに大きなテーマ、5年生では「日本でつながるわたしたち」、6年生では「世界とつながるわたしたち」が設定され、8つのユニットが、さらに2から3のユニットからなる三つの小さなテーマに分けられています。小さなテーマの学習の学びを確かめるための「Check Your Steps」では、思考ツールなどを使って整理・発表し、定着を図る構成になっています。次ですが、5年生の最初に「Let's start!」があり、3、4年生の学習内容がまとめられています。ピクチャーディクショナリーのなかには、5、6年生で学習する主な表現をまとめたページがあり、二次元コードから各単元の「Let's Watch and Think」の動画を見て復習ができます。また、3、4年生で学習した主な表現のリストも、このピクチャーディクショナリーのなかにはあり、二次元コードから音声聞くことができます。二次元コードですが、208箇所の二次元コードが見られるコンテンツが678項目あります。その内容ですが、ストーリー、チャンツ・歌、モデル映像、そしてデジタルワークシート、資料映像、文字指導映像として、文字の音と単語の音声を絵から変化する文字の形と連動させて定着させるようなアニメーションが入っています。あとは物語探検のスライドなども二次元コードから見ることができます。最後に、別冊のピクチャーディクショナリーが付いていて、これは5、6年生を通して使用できます。また「マイ単語」というふうには、自分で単語を追加できるようなものが、教科書の紙面でも、そしてデジタル版でも書くことができます。また「Digital Map」、日本版・世界版が入っています。さらに二次元コードから音声も聞けるようになっています。

次は、開隆堂です。答申。主体的に学習する意欲を高めるために、児童が学習の道筋を見通し、学習の成果や課題を確かめることができる構成の教科書である。児童の共感を得るような題材と設定が工夫されており、豊富なデジタルコンテンツも多数配置されている。内容です。1年を見通す導入のページのあと、3レッスンごとに「Let's Check」があって、児童が成長を実感できるように構成されています。この「Let's Check」は年3回あり、学習したことがどのくらい身に付いているのかを確かめることができます。「Questions」による紙ベースの問題と、インタビューのようなパフォーマンス課題で構成されています。次ですが、5年生用の教科書では、3、4年生で学習したこと、これはイラスト付きで、どのような表現を学んだかが見開き2ページにまとめられていて、二次元コードから音声聞けます。6年生は、5年生で学習したこと、これも先ほどと同じような形式でまとめられていますが、こちらも二次元コードから音声聞けます。音声は、速度調整が0.75から1.5で調整できますので、子供たちが自分の聞きやすい速度に調整することができます。デジタル学習コンテンツは467あります。中身はアニメーションや資料動画などです。次はちょっと特徴的なことなので個別に挙げましたが「Let's Watch and Think」というところで、登場人物の成長を軸にしたストーリーがありまして、それで児童の共感を基に学びをあと押しするような工夫があります。さらに、英語の決まりだとか、学習や活動のポイントを紹介するキャラクターも、紙面上の各所に出てきます。次にワードブック、語彙に関してですが、これは各学年で1冊ずつあります。二次元コードも音声だけではなく、絵や4線上のつづりも表示されるようになっています。

次は三省堂です。答申。単元末の言語活動に向けた目標を児童が自ら設定したり、学習過程を明示したりすることを通して、児童が見通しを持って主体的に学習に取り組むことができる構成の教科書である。言葉や世界に関心を持ち、楽しみながら学ぶことのできる工夫もされている。内容です。「HOP」「STEP」

「JUMP」で、学ぶプロセスが明確になっています。ユニットのテーマを設け、まず「HOP」では、ユニット全体の見通しを立てます。その後、二つから三つのレッスン、これは「STEP」というふうに呼んでいます。それを配置しています。例えば5年生では、Unit 1で「自己紹介をしよう」という大きなテーマで、そのあとに Lesson 1で「My name is Jun.」Lesson 2で「I play soccer on Tuesdays.」というものが入っています。ユニットの最後には「JUMP」というところで、これまでのレッスンで学習したことを目的・場面・状況などを考えて表現する活動が入っています。「HOP」のページでは、先ほどのところに戻りますが、ユニット全体で学習する内容の見通し図が載っていますので、そこから「JUMP」ではどんなことを伝えたいのかというふうに、自分でゴールを設定する「My Goal」というものを書くところがあります。次に、5年生の初めには「英語で言ってみよう」というページがあって、そこでは3、4年生で学習してきた語句や表現を、活動を通して振り返ることができるようになっています。「My Dictionary」という別冊のものでも、5年生・6年生で学習した表現をまとめたページがあります。次に二次元コードですが、教科書紙面上には175箇所の二次元コードがあって、扉ページの写真の関連事項や「話してみよう」のモデル動画や「聞いてみよう」の動画、ワークシートなどを見ることができます。次に、5、6年生で使用する「My Dictionary」ですけれども、二次元コードから音声がかかります。さらに単語ゲームというのが、「My Dictionary」のなかには二次元コードからできるようになっていて、絵を見て文字カードのつづりを選択するというようなゲームができるようになっています。さらにチャンツなども聞くことができます。

次は、教育出版です。答申。児童にとって分かりやすい豊富なインプットとアウトプットにつながる言語活動が設定され、聞くこと・話すことを礎に、段階的に読むこと・書くことを学ぶ構成の教科書である。アレンジしやすいシンプルな紙面で、表現意欲を高める言語活動も配置されている。構成です。表見返しにある1年間の学びのロードマップで、各レッスンで何をするかが示されています。3から4レッスンごとに「Let's Read and Act」であるとか「Let's Look at the World」が配置されています。アレンジしやすいシンプルな構成です。各レッスンの最初に、これはちょっとシンプルなので、もうちょっと言ったほうがいいと思いますので、そのレッスンの中身のお話をしますが、レッスンの最初に、まず学習ゴールが示されて、レッスンの最後には三つから四つの項目、これらは、評価の観点の「知識・技能」「思考・判断・表現」、この二つの観点に対応するような項目で振り返りができるようになっています。単元の構成は次のとおりです。「Let's Watch」でまずは映像を視聴して、どんなことを話しているのかを考えながら見ます。次に「Let's Say it Together」で、言ってみよう。そして「Let's Listen」で、さらに聞いてみよう。「Let's Sing」で、さらに歌ってみよう。そして「Activity」で、実際にやりとりなどの活動をしようということになっています。そのあと「Let's Read」「Let's Write」、そして「Final Activity」では、子供たちが自分の考えや思いを伝え合うということを行います。そして「Sounds and Letters」で、音や文字の特徴を確認する、そしてレッスンを振り返るという形で、一つの単元が進んでいきます。5年生の最初に、3、4年生で学習した外国語活動の学習内容を振り返る「Let's Start Together」というのがあります。5年生と6年生の表現については、まとめているようなものは見当たりませんでした。二次元コンテンツに関しては、150以上のコンテンツがあります。中身は、活動モデルの動画、口慣らし・歌、会話・発表などの音声、資料などです。そして、ワードブックが巻末に付いています。二次元コードから音声がかかるようになっています。この教科書に関しては、アレンジしやすいシンプルな紙面なんですけど、巻末の付録が非常に豊富に付いています。

次は光村図書です。答申。学習を通して何ができるようになるかを、児童がよく理解して学習が進められるように、単元のゴールまでの流れが見える構成の教科書である。既習表現の活用を促す工夫と、楽しいストーリーと豊かな話題を通して、学ぶ工夫がされている。内容です。まず構成ですが、ユニットのストーリー、これは短いお話ですが、それを中心に、学年の目標を達成できるよう、各学年をそれぞれ三つに分けてテーマを設定しています。例えば5年生は自分のこと、身近な人のこと、地域のこと、6年生は日本のこと、世界のこと、将来のことというふうに分かれています。それぞれのテーマの学習が終わったあとは、年3回ですが、まとめのページがあって、「世界の友達」「You can do it!」というページがあります。ここでは、学んだ表現を使って理解、そして発信する場面が設定されていて、パフォーマンス課題が配置されています。そして各ユニットには、5領域、これは外国語科では「聞く」「話す・発表」「話す・やりとり」「読む」「書く」という、この5領域が設定されていますが、そのなかの重点化領域として、二つ、三つぐらいの領域を特に重点的に学習するように示されていて、テーマごとに少なくとも1回は、各領域の評価の場面が示されていて、バランスの取れた指導と評価ができる設計になっています。巻末には、これも特徴的でしたが、「All About Me」というシートがあって、ユニットの学習が終わるごとに自分のことを書き込んで、学年の最後には自己紹介として使えるシートが完成されるようになっています。そして5年生の教科書は、3、4年生の学習内容を振り返る「Let's Start」のページがあります。ピクチャーディクショナリーのなかにも、学習する表現のまとめのページがあります。5年生は、外国語活動、3、4年生の部分と、5年生で学習する表現が載っています。6年生では、5年生と6年生の表現が載っています。いずれも二次元コードで音声聞くことができます。そして二次元コンテンツですが、5、6年生で合計611掲載があります。中身はアニメーション、実写動画、音声、画像、PDFなどです。そして、ピクチャーディクショナリーが学年ごとに各1冊ずつあって、これは教科書のなかで取り外しができるようになっています。二次元コードから、こちらも音声聞けるようになっています。

最後に啓林館です。答申。学びの見通しが持てるように、単元のゴールと、それにつながるめあてが明確に示され、スモールステップで語句や表現を使いながら身に付け、コミュニケーションを楽しむことができるような構成の教科書である。英語を学ぶ活動を通して、考えることを促す仕掛けや、豊富なデジタルコンテンツがある。教科書の構成です。各学年、一つのプレユニット、8つのユニット、そして三つのレビューで構成されています。レビューでは「Try」という、パフォーマンステストに使うことを想定して、評価の参考になるようなコミュニケーションのポイントが示されたパフォーマンス課題と、「Challenge」という、掲示物だとか広告、グラフなどを見ながら、音声を聞いて質問に答えるというもので構成されています。5年生のプレユニットでは、3、4年生で学習した語句や表現に触れられるようになっています。6年生のプレユニットは、5年生の学習を振り返ることと、特徴的ですが、英語の語順について知ることがゴールの設定になっています。デジタルコンテンツは、合計で320コンテンツが入っています。中身ですが、こちらもすごく豊富で、リスニング問題の音声、ジングルという、文字の音を学習していくものですが、ジングルそして単語クイズ、これも音声を聞いてイラストを選ぶというクイズ形式のものが入っています。そして、世界の子供たちが自分のことについて話す映像、言語材料の使用場面が分かるアニメーション、チャンツと、「Hints」という、これも特徴的ですが、語彙リストから選択して英文を完成させて再生ボタンを押すと、文を最初から最後まで音声化して読んでくれるというコンテンツがあります。そして、単元末の活動のパフォーマンスの例という動画もあります。



巻末ですけれども、各教科書の巻末に「Word List」というのがありまして、そこの二次元コードからは音声がかかるようになってます。以上です。

#### 横町選定委員長

ありがとうございます。外国語の答申案について、お気付きのこと、ご意見等ございませんか。

#### 尾上選定委員

私からご相談があるのですが、各教科書のその答申の一番下のところに、デジタル教科書のことについて書いているのですが、これはこんな書き方でよろしいでしょうか。というか、あまり差がない上に見本版なので一部しか載っていないので、でも何か書いたほうがいいかなと思って書いたんですが、どうでしょうか。

#### 横町選定委員長

たぶん、この会の最初のころにまだデジタル教科書が届いていなくて、それで教育研究所長からは一応紙面を想定してということだったと思うんですけども、それを書いていただいているので、こういう記述でどうかなというご質問なんですけども。

#### 竹内教育研究所長

そうですね。委員も言われたように、見本版なのでどの学年でも内容や分量を比べて見るということができなかったのが、特徴に差がなければ。

#### 尾上選定委員

別にもうちょっと入れたいこともあったので。

#### 竹内教育研究所長

そうですね、そちらのほうを優先していただいて、より特徴的なことのほうを載せていただくほうがよろしいかと。

#### 尾上選定委員

そうですね。じゃあ、あまり差がないので、もうちょっと特徴的なことを入れ込むということで。

#### 横町選定委員長

他、ございませんか。それでは、ただいまの皆様の意見をまとめて、答申案に加筆修正していただき、外国語の答申として教育委員会に提出してよろしいですか。それでは、外国語についての選定委員会答申および答申資料として、議決します。

— 道徳 —

横町選定委員長

それでは最後は道徳です。三宅委員より答申案を基に、当該教科書を使用することで、児童がどのような学習を進めることができるかと考えるか、あるいは教員がどのような授業を展開できると考えるか、といった点について、ご説明をお願いします。

### 三宅選定委員

まず、東京書籍です。答申。各学年の教科書では、自己を見つめ、他人を思い、社会と関わり、生命や自然を尊ぶことができる心の力を育むため、三つの方針で構成しています。学習の流れを、導入教材で学習の進め方と授業の様子を具体的に示すことで、授業にスムーズに接続することができる教科書である。また、読み物教材とは異なった形式の教材を開発し、さまざまな活動のなかで議論させることを促し、児童の多様な考えを引き出すよう工夫されている。内容です。道徳の学習で扱う教材を要として、他教科の学習や、地域、家庭での活動を意識したコラム「つながる・広がる」を有機的に組み合わせ、現代的な課題に取り組む五つのユニット「安心・安全」「情報モラル」「いじめ（いじめの防止）」「命、生命尊重」「じぶん、自己肯定感」により、道徳的価値に迫ることを通して、いじめをしない・許さない心などを育て、心の力持ちになる工夫がされています。2年生以上の学年では、巻頭の折り込みページの「どうとくの学しゅうをはじめよう」のページで、学習活動を紹介し、授業のイメージや学習意欲が膨らむようにしている。また「ちょっと話し合ってみよう」では、ショートストーリーを読んで話し合うことで、授業の流れや様子を分かりやすく示し、児童が道徳授業のイメージを持って、主体的に学習できるよう工夫されています。各教材とも、冒頭に教材のタイトルとともに学習のテーマを示し、児童が何を学習するかという見通しを持って、学習に臨めるよう工夫されています。低学年では、導入として活用できる投げ掛けの言葉「はじめに」が掲載されています。また、挿絵や写真が引き立ち、児童にとっては、自我関与して思考を深めやすくなっています。教材末にねらいに迫るための中心発問を示す「考えよう◎」と、学んだことを今後の生き方に生かしていくための発問例、価値の一般化や自分ごととして考えるための発問ですが、「考えよう○」の二つの発問例が示されており、児童にとっては、自ら考えを進めやすく、教師にとっても、柔軟に事業展開を考えることができるよう工夫されています。中心発問例は、主人公の心情を問う発問が中心であり、中心場面とも合っています。学びを広げるために、全ての教材に多彩な二次元コンテンツが設けられています。個別最適な学びを支援するための「ろうどく」「スライドショー」、協働的な学びを広げるための「デジタルノート」を活用することができます。巻末には考えるためのツール「こころのメーター」「心情スケール」「心の地図」が3例載っています。自分の考えを可視化できる「こころのメーター」を活用することで、友達の考えと比較し、自分の心を深く見つめることができるよう工夫されています。さまざまな活動のなかで積極的に議論することを促し、児童の多様な考えを引き出せるよう、クイズ、学級新聞、漫画など、これまでの読み物教材とは異なった形式の、さまざまな活動のなかで議論できる教材を全学年で取り上げ、考え、議論する道徳をさらに具体的に進めています。情報モラル教材は、全学年で配置されています。また、防災教育については、2年生と5年生に1教材ずつ配置されています。本県の教材は、掲載されていません。

続いて、教育出版です。答申。道徳で学習する課題のなかから、いじめをなくす、生命を尊重する、情報と向き合うなど、重点テーマとして位置付けています。教材ごとに、幾つかの発問で構成した学びの手引きを設け、児童に問題解決的な学習や体験的な学習を促すことにより、主体的に考え、議論しながら、道徳的価値についての学びを深められるよう工夫された教科書である。内容ですが、いじめ問題

は、直接的な教材だけではなく、集団や社会との関わりを考える間接的な教材で、発達段階に応じてスパイラルに学習することによって、考えを深めていけるようになっていきます。生命を尊重する教材として、児童と同じ年齢の実話や詩、物語など、多様な教材で命のさまざまな側面を考えられるよう構成されています。情報と向き合う教材として、電話や学級新聞、メールなどを題材にした、多様な情報モラル教材を全学年に掲載しています。教科書の巻頭に、学びのガイダンスとして「道徳で学習すること」「道徳ではこんな学び方をするよ」「道徳の学習をもっと広げよう」を設け、道徳の学習方法が示されています。また、巻末には「学習をふり返ろう」というものと「1年間の学習をふり返ろう」を設け、自分の成長を感じることができるよう工夫されています。教材の冒頭に、その教材で扱う内容項目を児童に分かりやすい言葉で示した学習のテーマと、キャラクターによる導入で、活用できる言葉、導入の問い掛け、同じテーマで連続して学習する教材名を示しています。また、内容項目ごとに色や絵柄で区別して表現されているので、学習の視点が分かりやすくなっています。教材末に設けた「考えよう」「やってみよう」「深めよう」「つなげよう」で構成された学びの手引きにより、問題解決的な学習や体験的な学習を促し、児童が道徳的な課題について、多面的・多角的に考えることができるよう工夫されています。学びの手引きは、丁寧で発問例が多いので、教師にとっては参考になります。「考えよう」では、授業の展開段階で活用できる発問例二つ設けています。そのなかで、道徳的価値に深く関わる中心発問、星印です。特に考えてほしい発問となっています。行為について問う発問が多いです。問題解決的な学習に適した教材には、教材の前に導入ページを設け、児童自身が道徳的価値に気づき、問いを持ちながら学習に取り組むことができます。各教材末には自己評価欄が付いています。「考えよう」や、モラルスキル教材のなかに設けられた「やってみよう」や、教材の前に位置付けた導入ページでは、書いたり、話し合ったり、演じたり、いわゆる動作化や役割演技などの体験活動といった言語活動が充実するよう工夫されています。SDGsの資料や二次元コンテンツも多彩です。本県の教材としては、5年生「稲むらの火」があります。防災教育として、福島地震や東日本大震災も取り上げられています。

続いて、光村図書です。答申。全学年とも、年間を三つのまとまりに分け、内容項目AからDの四つの視点がまとまりごとに重点を置いて配置されています。現代的な課題については、いじめ問題、情報モラル、環境、共生の四つのテーマを取り上げ、二つの教材とコラムを組み合わせたユニットを形成して位置付けられ、確かな学習経験となるよう配置された教科書である。内容としては、最初にそのポツに書いているんですが、年間を三つのまとまりに分け、内容項目のなかで重点を置いた教材が配置されています。内容項目とは別に、まとまりごとにテーマを設定しており、大きな単元学習ともなっています。年間4箇所、低学年は2箇所ですが、位置付けられたコラムには、いじめ問題や情報モラル等の現代的な課題について、教材と組み合わせて考える内容が取り上げられ、課題を自分ごととして受け止め、自己の生き方について考えられるよう工夫されています。第3学年以上の巻頭には「道徳の学び方」が設けられ、学習方法、考え方と学習内容が示されています。学習方法は、読むときには「考えたいことに気づく」、話し合ったり書いたりするときには「よりよい生き方について考える」そして「学んだことをつなげる」と示されています。全学年の教材の冒頭には、教材タイトルとともに、主題とキャラクターによる児童への呼び掛けの言葉が示され、児童の経験や考えを引き出すことで、主体的に学習に取り組むことができるよう配置されています。全学年通して、教材末の学習の手引きには「考えよう・話し合おう」が設けられ、教材を通して何を学ぶか意識できるよう、太字になっているんですが、めあてが示されています。その上で、自分や日常生活に結び付けたり、問題を解決するためにどうすればよい

のか考えたりする発問例が二つから三つ置かれ、一つには二重丸が付けられています。どうしてといった行為に対する理由と発問が多く見られます。また「つなげよう」が設けられ、教科で学習する内容との関連付けや、関連する図書の紹介などが示されています。全学年を通して、体験的な学習「演じて考えよう」が設けられており、役割演技を通して、児童が実感を持って道徳的価値について考えが深められるよう工夫されています。自己評価の記録を残す「学びの記録」が全学年3箇所位置付けられ、シールを使ったり書く活動を通して、自己の変容や成長を振り返ることができる工夫がされています。読み物教材だけではなく、視覚的に児童の興味・関心を喚起する漫画形式の教材や、見開きの1枚目や写真からなる多様な教材が位置付けられており、児童を教材に引き込み、自ら考えることができるよう、工夫されています。巻末の「学びの工具箱」として、児童の学習意欲を喚起し、道徳性を培う助けとなる資料、役割演技、カードを使った交流などを取り上げ、対話から生まれる気付きを楽しむ学習活動に配慮しています。防災としては、阪神淡路大震災、東日本大震災、また、思考を広げ深める二次元コンテンツも多彩です。文字の大きさ、配置、写真の色使いなど、ユニバーサルデザインの観点からも見て、配置されています。本県に関する教材は、6年生「エルトゥール号—友好の始まり」が掲載されています。

続いて、日本文教出版です。本冊と別冊、道徳ノートの2分冊構成であり、教材冒頭には主題名、導入発問例、あらすじ、主な登場人物と絵と名前が掲載され、教材内容が理解しやすい教科書である。和歌山県の郷土資料が多く、平和学習や防災学習等に付しやすい教材が多いです。別冊として、教材ごとに作成された「道徳ノート」には、その巻頭において使い方が示され、授業中の各活動や振り返りに活用できるよう工夫されています。内容です。全て見開き単位となっておって、児童が集中しやすい構成です。現代的な課題として、人との関わり、安全な暮らし、情報モラル、持続可能な社会については、発達段階に応じて各学年3回、学習できるよう配慮されています。個人の価値を尊重するという観点から、人との関わりを重点テーマの一つとして捉え、いじめを直接的に扱う教材、そして間接的に扱う教材、いじめ防止に関するコラム、これは「心のベンチ」というところで、そういったものを組み合わせたいじめ防止ユニットとして設けられています。いじめに関する1年間の教材数は、各学年7から8。教材に関連するコラム「心のベンチ」というページが挿入され、テーマに合わせて活動したり、多面的・多角的に考えたりすることで、自己肯定感を高め、より深い学びへと思考を進めることができるよう配慮されています。巻頭のオリエンテーションのページでは「道徳のとびら」や「道徳の学び方」があって、そこでは、学習内容やそのねらいと学習方法が、写真とともに解説され、考える道徳、議論する道徳が視覚的に捉えられるよう工夫されています。冒頭には、主題名が明示し、児童が道徳的価値と関連付けて思考を進めることができるよう配慮されています。また、各教材とも挿絵が鮮明で、効果的に児童の思考を助けていることになってます。一つの教材に「導入の発問例」、そして「考えてみよう」思いや考えを問う中心発問例、「見つめよう・生かそう」の三つの発問例が簡潔に示されているため、指導構想に柔軟に生かすことができ、児童が自ら考えを進められるよう工夫されています。問題解決的な学習や、体験的な学習に適している教材には「ぐっと深める」が新設され、主体的・対話的で深い学びの手立てとして、役割演技や動作化の写真を提示し、児童の配置や小道具、配慮事項などが具体的に示されているため、授業展開に参考になります。全教材に二次元コンテンツがあり、偉人や伝統、文化、国際理解等には、動画やスライドショー、他にも心情メーター、思考ツール、朗読音声、ワークシートの活用できます。別冊「道徳ノート」は、1教材1ページの構成で使いやすいです。また、教材ごとに本冊

「考えてみよう」の記入欄と自由記述欄があり、書くことを通して、多面的・多角的に思考を深めることができるようになっていきます。災害としては、阪神淡路大震災、東日本大震災。本県に関わる教材としては、3年生「やさしさのバトン」、4年生「お父さんのじまん」「稲むらの火」6年生「エルトゥール号—日本とトルコのつながり—」が取り上げられています。

続いて、光文書院です。答申。各教材の冒頭に「導入」末尾に「まとめる」「広げる」を設置し、1時間の授業の目的や流れを明確に示しています。児童の思いや考えが素直に引き出されるよう「みんなでやってみよう!」「へこんでも立ち直る」といった体験的な活動を取り入れている。児童が経験や生活のなかから問いを持って、道徳的価値を理解し、実生活へ生かそうとする意欲を引き出すことができるよう配慮された教科書である。内容です。学習指導要領の重点的な指導を必要とする事柄について、発達段階に応じて連続的に扱うことで、より効果が得られる教材を重点主題として、ユニットを形成しています。重点主題、各学年3主題があるんですが、その重点主題の三つのなかでも「いじめを生まない心」「命をかがやかせる」については、6年間の見通しを持って、全学年が取り組むという工夫がされています。いじめ問題や生命の尊さについての教材数が多いです。いじめ防止について、児童がその場面をイメージして、自身の問題として捉えるような教材を配置しています。日次において「みんなでやってみよう!」「情報モラル」「へこんでも立ち直る」「SDGs」など、教材と組み合わせて活用できるさまざまなコラムが示されています。全学年冒頭のオリエンテーションのページとしては「ゆたかな心」というページから始まって、「道徳の時間はこんな時間です」「いろいろなやり方で考えてみよう」「話合ってみよう」「まとめよう・ふりかえろう」が設けられ、道徳の学習内容、学習方法、家庭・地域とのつながりが示されています。また、道徳ノート例も示されています。問題解決的な学習を企図し、教材の冒頭には教材タイトルとともに、主題と導入活用できる問いを設定し、目的意識を明確にした上で学習に取り組めるよう、工夫されています。教材内の登場人物を分かりやすくするため、教材の冒頭に整理して表示されています。また、キャラクターを設定し、考えるためのポイントや、考えを広めるための見方など、さまざまな問い掛けを行えるよう配慮されています。教材末には「まとめよう」として、その時間に学習した内容を振り返る活動が示されています。また「ひろげよう」として、考えたことを他教材や学校での活動、家庭生活、地域社会につながりを持たせていくポイントや、言語活動との関連も踏まえ、教材と関連する本を読む読書活動や、考えたことを書いて言語化する活動が示されています。児童一人一人が、自らの学習状況を確認する手立ての一つとして、巻末に自己評価シート「学びの足あと」と、児童に贈る言葉として、相田みつをさんの書「ことばのたからもの」が掲載されています。情報化への対応についても、コラムと組み合わせ、各学年1教材ずつ配置されています。災害についても、1、2教材配置されています。本県の教材としては、那智勝浦町のシンボルマーク、濱口梧陵が紹介されています。

次は Gakken です。答申。児童が主体的に課題を発見し、多様な考え方や感じ方に触れながら、自己の考えを深めていけるよう、教材の文章と挿絵、写真を中心に、すっきりと工夫されています。各学年とも、内容項目の異なる2教材を連続して学ぶ「いのち」「多様性」「キャリア」の三つのユニット教材として組み合わせることで、多様な学びの展開ができる教科書であります。全学年「いのち」の教育を最重点テーマとして、複数教材を連続して学習することで、広い観点で多面的・多角的に深く学ぶことができる構成になっています。内容です。「いのち」の教育を最重点テーマとして全学年に位置付け、多様性を受け入れながら、他者とともによりよく生きることについて考え、いじめを生まない力を育むこ

とができる構成であります。「つなぐから考える自分の命、みんなの命」によって、自分の成長と未来を考える工夫がされています。異なる内容項目の複数教材を用いて、確かな学びを実現できるよう工夫されています。内容項目の異なる2教材を連続して学ぶ「いのち」「多様性」「キャリア」の三つのユニット教材として組み合わせて展開することで、多面的・多角的工夫されています。巻頭に道徳の学び方を紹介するページ「道徳の学習が始まるよ」と、学びの全体像をつかむページを掲載し、学習方法や学習内容を示し、1年間の見通しを持って学習できる、児童の学びやすさに配慮しています。教材冒頭には、内容項目の視点と教材タイトルを記載しています。また、児童の問い、問題意識を大切にするため、本文中に主題名を記載しない構成展開になっています。各学年の巻頭に「自分のことを書いてみよう」、巻末に「つなげよう 広げよう」を設け、児童が自身の成長を振り返り、課題や目標を見つけることができるようにしています。教材末の「考えよう」のコーナーを設け、自己を見つめるきっかけとなる投げ掛けや、行為についての考えや理由を問う二つの発問例が示されています。教師にとっては柔軟に授業構想を考えやすい。道徳的価値について多面的・多角的に学べるよう「深めよう」が教材の随所に積極的に取り入れられています。各学年とも、学び方のページ「心のパスポート」において、役割演技など、体験的な活動が図られるよう工夫されています。明日香と未来という同じ主人公が成長していく連載教材を掲載しています。現代的な課題としてのSDGsや情報モラルについての教材もあって、児童の発達や成長に合わせた教材を取り上げています。防災教育として、東日本大震災、新潟中越地震に関連した教材が掲載されています。本県の教材は掲載されていません。以上です。

#### 横町選定委員長

ありがとうございました。道徳の答申案について、お気づきのこと、ご意見等ございますか。

#### 市川選定委員

東京書籍の答申に、自己を見つめ、他人を思い、社会と関わり、命や自然を尊ぶことができる心の力を育むためって書いてますね。これって、東京書籍の大切にしていることですよね。他のところ見たら、そんな書き方していない。例えば、教育出版だったら、それに近いのは、道徳的価値について学び、とか、光村図書だったら、確かな学習経験、とか、何かその学ぶ中身のことを、一般的に道徳の学習ってということで書いてある。それで見えていくと、何か東京書籍のそれは確かにそうなんだろうけど、ちょっと他とは違う表現かなって思うのと、日本文教出版のところを見たら、そういう中身があまりない。結局何を書いているかといったら、教材内容が理解しやすいって書いてある。その道徳的価値とか、心の教育のことが触れられてないように感じました。

#### 岡部選定委員

光村図書の下から、5行目の防災として、阪神淡路大震災一つ、東日本大震災二つっていう、この二つの防災教育の教材が全学年を通して、一つ取り上げられているってということなのか、コラム的なもので取り上げられているから、教材っていうふうに、書かなかったのか。

#### 三宅選定委員

これは教材ですね。

### 岡部選定委員

例えば、教育出版だと防災教育として、2年生の福島っていうふうな書き方をされてて、今の光村図書はそのとおりで、日本文教出版については、災害を題材にしたと書いていて、これも防災なのか。光文書院も、震災に関する教材は、3から6年生で1、2教材ってことは、これは各学年1、2教材ってことなのか、3から6年生の間に、何か一つか二つ取り上げられているのかっていうのが、ちょっとややこしいなと思いました。Gakkenも防災教育としてはと書かれているので、このあたり統一していただいたほうが分かりよいかと思います。

### 貴志選定委員

Gakkenの答申の2行目なんですけども、ちょっと教えてください。各学年とも、内容項目の異なる2教材を連続して学ぶ、命、多様性、キャリアの三つのユニット教材としてって書いているんですけども、内容項目の異なる2教材を連続して学ぶって、内容項目っていうのは、個性の伸長であったり、思いやり、親切とかですよ。

### 三宅選定委員

例えば、命と思いやりをセット、違う教材を二つセットにして、コラムと組み合わせて、例えば、命を考える、単元構想とか、そういう形になってるみたいです。

### 貴志選定委員

なるほど。分かりました。ありがとうございます。

### 梅本選定委員

普通連続して学ぶっていったら、同じ内容のものを、連続して学ぶっていう書き方かなと思って、異なる2教材の場合は、連続して学ぶという表現でいいのかなというのが気になったんで。

### 三宅選定委員

そうですね。教材は別なんですけど、内容項目がそれぞれ違う、それをセットに組み合わせて、一つのテーマとして考えさせるような、そういうやり方みたいです。

### 貴志選定委員

委員が使われている学習のテーマというのと、主題というのと、委員は同じ意味で使ってるのかなと思いますけども、私は主題かなと思うのですが、教科書によって、学習のテーマという言葉で使っているのでしょうか。

### 三宅選定委員

使っていたのもあります。

#### 貴志選定委員

使っていたんですか。内容項目を児童に分かりやすい言葉で示しているのは主題ですよ。

#### 三宅選定委員

そうですね、本題、主題。

#### 貴志選定委員

だから1社目と2社目は、学習のテーマっていう言葉を使っていて、光村図書は主題、日本文教出版も主題、光文書院も主題と使っていて、東京書籍と教育出版は学習のテーマという言葉と捉えてよろしいですね。

#### 三宅選定委員

ちょっと記憶が、あまりないんですが、たぶん、学習テーマとか書いている教科書もあったかと。書いていたのは、書いていたんですけどね。意味は同じことです。

#### 宮本選定委員

光文書院なんですけども、答申で、みんなでやってみよう、へこんでも立ち直るといった、体験的っていう体験的と、Gakkenの役割演技の体験的っていう言葉の意味がちょっと違うみたいなので、そのあたりまた言葉変えたほうがいいのかなと思います。

#### 三宅選定委員

授業で扱う場合は、体験的な活動というのは、動作化であったり、役割演技であったり、そういうものを、示しているものになっています。

#### 横町選定委員長

他、ございませんか。それでは、ただいまの皆様の意見をまとめて、答申案に加筆修正していただき、道徳の答申として教育委員会に提出してよろしいですか。道徳についての選定委員会答申および答申資料として、議決します。先ほど、梅本委員のほうから改めて最後に、皆さんにとということがありましたのでどうぞ。

#### 梅本選定委員

算数の日本文教出版で、答申のところ、段落やっぱり変えたいと思いますので、その分、行が増えてしまうので、一番最初の内容の5学年と6学年は1冊でってこのしおりひもが付いているっていう部分と、2行目の言語活動のなかに、算数的要素を取り入れることができるっていう文を削除して、その文を入れたいと思います。

#### 横町選定委員長

梅本委員が、言っていたように、再度自分で見直して、ここでは今気が付いていないことで、



気が付くことはあると思いますので、それはまた修正していただいて、教育委員会のほうに提出していただくということをお願いします。他、ございますか。それでは、これで全ての教科種目の答申および答申資料について議決いただきましたので、次の内容にて答申したいと思います。ご確認ください。

和歌山市教育委員会

教育長 阿形 博司 様

令和6年度に和歌山市立小学校および義務教育学校前期課程で使用する教科用図書の選定について（答申）

令和5年5月8日付和教研第100号において、和歌山市教育委員会、阿形博司教育長から、令和6年度に和歌山市立小学校および義務教育学校前期課程で使用する教科用図書の選定についての諮問がありました。

これを受け、和歌山市立小学校中学校および義務教育学校教科用図書選定委員会は、教科・種目ごとの全ての教科書について調査研究を進め、同月8日から5回にわたり審議を重ねてきました。

ついては、ここに、審議結果を「令和5年度和歌山市立小学校中学校および義務教育学校教科用図書選定委員会答申」として取りまとめ「令和5年度和歌山市立小学校中学校および義務教育学校教科用図書選定委員会答申資料」を添えて、答申します。

こちらに本日の審議内容を受けて、加筆修正していただいた答申および答申資料を添えて、7月11日の教育委員会に提出いたします。ご承認いただけますか。

選定委員一同

はい。

横町選定委員長

教育長より、諮問を受諾した第1回選定委員会以来、長期にわたり慎重な調査審議を重ねてまいりました。委員の皆様には、ご多忙の中、多くの教科・種目の教科書について、詳細な調査研究を行っていただきました。また何度も委員会にご出席いただき、活発に協議していただきました。おかげをもちまして、委員会としての答申をまとめることができました。委員長として感謝申し上げます。

これをもちまして、第5回選定委員会を終了します。なお、皆様の選定委員としての任期は、8月31日までです。会議は本日で終了となりますが、今後ともよろしく願いいたします。